

298



14. 5-380



1200501216723

5

500

九年八月二十日發行

日本製鐵參考資料

(第壹號)

日本製鐵株式會社監理部



始



例言

- 一、本冊子ハ監理部ニ於テ抄譯シタル外字新聞若クハ雜誌中掲載ノ事項及ヒ其他ノ調査資料ニ付キ參考トナルヘキモノヲ撰ミ關係社員ニ頒タンカタメ謄寫ニ代ヘ印刷スルモノトス
- 二、本冊子ハ當務ノ參考ニ供スルヲ以テ目的トシ文字ノ彫琢編纂ノ體裁ニ於テ缺クル所少ナカラサルヘシ讀者之ヲ諒セヨ

日本製鐵株式會社監理部

日本製鐵參考資料第壹號目次

一、昭和八年本邦鐵鋼業概況……………(1)

二、昭和八年世界鐵鋼業概況……………(20)

 獨逸合同製鋼株式會社の沿革と將來……………(61)

 英印鐵鋼貿易とこれを巡る歐洲諸國の競争……………(75)

 獨逸カールル組織の概況と其の經驗に照せる……………(75)

 合衆國産業復興法の施行……………(75)

 雜報及統計……………(75)

 佛國に於ける鐵鋼業……………(106)

 一九三三年十二月及同年中佛蘭西鐵鋼生産高……………(112)

 一九三三年十一月、十二月及全年中白耳義の鐵鋼生産高……………(113)

 一九三三年十二月及全年中ルクセンブルクの鐵鋼生産高……………(114)

 一九三三年十二月及全年のザール鐵鋼生産高……………(114)

 一九三三年十二月及全年の獨逸鐵鋼生産高……………(115)

 一九三三年十二月及全年の合衆國鐵鋼生産高……………(116)

 一九三三年瑞典の鐵鋼材生産高並輸出統計……………(117)

 一九三三年ルクセンブルクの鐵鋼石生産高……………(119)

 一九三三年合衆國鐵鋼石生産高……………(119)

 一九三三年西班牙の鐵鋼石生産、消費、輸出高……………(120)

 一九三三年チエコスロバキヤの鐵鋼生産高……………(120)

 一九三三年亞米利加諸製鋼會社の財政結果……………(121)

 一九三三年洪牙利の鐵鋼及石炭生産高……………(122)

 一九三三年印度の銑鐵輸出高と鐵鋼製品輸入高……………(122)

 一九三四年一月ルクセンブルクの鐵鋼生産高……………(123)



14.5-380.

昭和八年本邦鐵鋼業概況

目次

第一章	概説	(2)
第二章	鐵鋼業	(3)
第三章	鐵鋼需給	(5)
第一節	鋼材	(5)
第二節	銅塊	(13)
第三節	銑鐵及屑鐵	(14)
第四節	鐵鑛	(16)
第四章	外國鐵鋼業	(16)
第五章	鐵鋼市價	(17)
第六章	結言	(19)

附 表

- 一九三四年一月ザールの鐵鋼生産高……一二二
 - 一九三四年一月獨逸の鐵鋼生産高……一二二
 - 一九三四年一月獨逸の壓延鋼材生産高……一二四
 - 中華民國鋼材輸入額……一二五
- 一、日本製鐵株式會社並其他會社の鐵鋼生産高月別表
- 一、各國鉄鋼月別生産統計
- 一、昭和八年本邦鐵鋼材輸出入表
- 一、昭和八年英國鐵鋼材輸出入表
- 一、昭和八年佛蘭西鐵鋼材輸出入表
- 一、昭和八年白耳義及ルクセンブルク鐵鋼材輸出入表
- 一、昭和八年獨逸鐵鋼材輸出入表
- 一、昭和八年合衆國鐵鋼材輸出入表
- 一、昭和八年獨佛鋼材品目別生産高
- 一、世界主要國鐵鑛石需要調
- 一、世界國別鐵鑛石産額調
- 一、世界國別石炭産額調
- 一、世界のマンガン及ニッケル國別生産高調
- 一、昭和七年本邦鐵鋼材用途別品目別販賣數量調表
- 一、昭和七年本邦鐵鋼材用途別品目別販賣數量割合表

第一章 概 說

昭和八年の我國鐵鋼界を概観するに、前年來軍需品製造の増加及時局匡救施設等の影響により非常なる活氣を呈し、鋼材の需要高は我國に於ける從來の記録である昭和四年の最高峰を越えて遂に約二百八十八萬噸に達した。輸出も約二十七萬噸あつたのである。之を兩三年來の需要高と比較すれば昭和四年の記録二百八十八萬噸から五年及六年には毎年約五十萬噸宛を減じ、昭和六年は二百萬噸臺を割つて僅に百八十六萬噸に過ぎなくなり此數字のみから見た同年の鐵鋼界は正に十年の昔に轉落した觀があつた。然し昭和七年は遂に三十七萬噸を増して二百二十一萬噸となり八年は更に約六十六萬噸を増加して最大記録を示したのである。

加し市價騰貴は日甚しき最も好い年は其の供給は案外尠く其翌年が増加するもので、近い例が昭和三年の好況の翌年である同四年は過去に於ける我國鐵鋼供給の最高峰を示したやうに昭和七年の我國鐵鋼界は歐洲大戰に亞ぐ好景氣であつたので、昨八年の供給は當然の増加を豫想されたが、豫期に反せず昭和四年の供給を遙かに突破して、新記録を現出した。然も昭和三年が非常に短期の好調に止まつたのに反して、今回のそれは消費の背景に力強いものがあるため比較的持久力に富み、昨八年中も概観して反動安の現象は見られず寧ろ益々強き消費力を伴つて強含みの保合状態を續けると云ふ稀有の現象を出現して居るのであるから、昭和九年に於ては更に新記録を劃し得るのではあるまいか。世界主要國に於ける鐵鋼界は財界の不況に基く底入状態からやつと脱却の芽萌を示したとは言ひながら、昨八年の産額を昭和四年の最大記録と比較すれば後に述ぶるが如く各國共非常な減産を行ひ、世界の全産額は僅かに五割六分、即約二分の一の産額に過ぎなかつたのに、我國が幸に年々増産を行ひ斯界を賑はして居るのは前述の様に政府事業の増加と爲替安とに伴

8
10
35
29
4

ふ事業界の復活による需要の擡頭が全面的に好影響を與へた結果と考へられるのである。

第二章 鐵 鋼 業

我國の鐵鋼業は兩三年前大減産を行ひ或は事業を中止したのもあつたが、昨八年に於ては各製鐵所共専ら増産を行ひ、從來製鐵業のみを營んだものが製鋼業を復活し、或は壓延業者が製鋼業を加ふる外、更に新規事業を計畫或は實施したのもあるが、其内最も目星しいものは八幡製鐵所に於ける七百噸鑄鐵爐の火入及鉄力板工場の増設や、昭和鋼管會社の作業開始の外滿洲國鞍山に於ける昭和製鋼所の建設着手等である。而して昨八年中鐵鋼の生産を行った工場の内主要なるものを掲ぐれば次の通りであつて、之等各製鐵所中鉄鋼一貫作業を行ったものは八幡、釜石及鶴見のみであつて、朝鮮兼二浦は鉄鋼一貫設備を持ちながら從來製鐵業のみを行つて居たが、昨八年製鋼作業を復活し壓延作業も亦復活の計畫は立てたが八年中には完了するに至らなかつた。尙鉄鋼一貫設備を目論んで居る所もあるが未だ工場建設の期に達して居ない。

第一表 本邦主要製鐵所一覽表 (昭和七年生産高鉄鐵、鋼、鋼材中何レカ一萬噸以上ニ達シタルモノノミヲ掲グ)

事業者名	所在地	生産品名
東洋製鐵會社	八幡市	鉄 鋼 鋼材
九州製鐵會社	八幡市	鉄 鋼 鋼材
同所 借入	八幡市	鉄 鋼 鋼材
輪西製鐵會社	八幡市	鉄 鋼 鋼材

釜石鐵山會社	岩手縣釜石町	銑鐵	鋼材
日本製鋼所	室蘭市及廣島市	銑鐵	鋼材
東京製鋼會社	東京市及福島縣日橋村	銑鐵	鋼材
吾嬬製鋼所	東京市	銑鐵	鋼材
日本鋼管會社	川崎	銑鐵	鋼材
富士製鋼會社	川崎	銑鐵	鋼材
淺野造船會社	橫濱	銑鐵	鋼材
大阪製鐵會社	大阪	銑鐵	鋼材
住友製鋼所	同	銑鐵	鋼材
中山製鋼所	同	銑鐵	鋼材
住友伸銅管會社	同	銑鐵	鋼材
神戶製鋼所	神戶	銑鐵	鋼材
川崎造船會社	神戶	銑鐵	鋼材
德山製板會社	山口縣大華村	銑鐵	鋼材
淺野小倉製鋼所	小倉	銑鐵	鋼材
東海製鋼會社	若松	銑鐵	鋼材
日本鋼業會社	福岡縣八屋町	銑鐵	鋼材
三菱製鐵會社	朝鮮兼二浦	銑鐵	鋼材
昭和製鋼所	滿洲本溪湖	銑鐵	鋼材
本溪湖煤鐵公司	滿洲本溪湖	銑鐵	鋼材

第三章 鐵鋼需給

第一節 鋼材

昭和八年の鋼材需給の内譯に付て國內産額二百七十五萬噸の外に輸入總額が約四十萬噸輸出總額が約二十萬噸あつたから約十三萬噸が輸入超過となり、全需要高は前述の通り約二百八十八萬噸に達し前年に比し六十六萬噸即ち約三割の需要増加となつて居る。此の需要の激増に對し國內生産高は前年の二百一十一萬噸に比し六十三萬噸を増し之も丁度三割の増産を示して居る。而して鋼材輸出高に於ても昭和七年は十三萬噸であつたが八年は其の倍額二十七萬噸に上つた。今我國鋼材の需給状態を覗くため、昭和七年の分を八年の夫に比較すれば第二表の通りである。

第二表 本邦鋼材需給調 (單位噸)

種別	年次	昭和七年		同八年		比較増減 (%)
		數量	百分比	數量	百分比	
製鐵所	計	八三二、九六九	三七	一、〇六三、〇〇〇	三六	二三〇、〇三一
生産高	民間	一、二八〇、六七八	五八	一、六八五、〇〇〇	五九	四〇四、三二二
製鐵所より民間に右壓延鋼材原料として販賣する半製品生産高	計	二、一一三、六四七	九五	二、七四八、〇〇〇	九五	六三四、三五三
輸入高	内地	二二九、六三四	一〇	四〇〇、〇〇〇	一四	一七〇、三六六
輸入高	朝鮮	八七〇	一	一、〇〇〇	一	一三〇
輸入高	臺灣	三、八四五	一	二、〇〇〇	一	△一、八四五
計		二三四、三四九	一〇	四〇三、〇〇〇	一四	一六八、六五一

今鉄鐵、鋼塊及鋼材の産額を八幡製鐵所と其他の工場とに分けて示せば第三表の通りである。

第三表 昭和八年本邦鐵鋼生産高概算調 (單位吨)

種別	鉄		鋼		鋼材	
	数量	百分比	数量	百分比	数量	百分比
八幡製鐵所	一、〇一三、〇〇〇	六三%	一、五五二、〇〇〇	四九%	一、〇六三、〇〇〇	三九%
民間	五八五、〇〇〇	三七	一、六一〇、〇〇〇	五一	一、六八五、〇〇〇	六一
計	一、五九八、〇〇〇	一〇〇	三、一六二、〇〇〇	一〇〇	二、七四八、〇〇〇	一〇〇

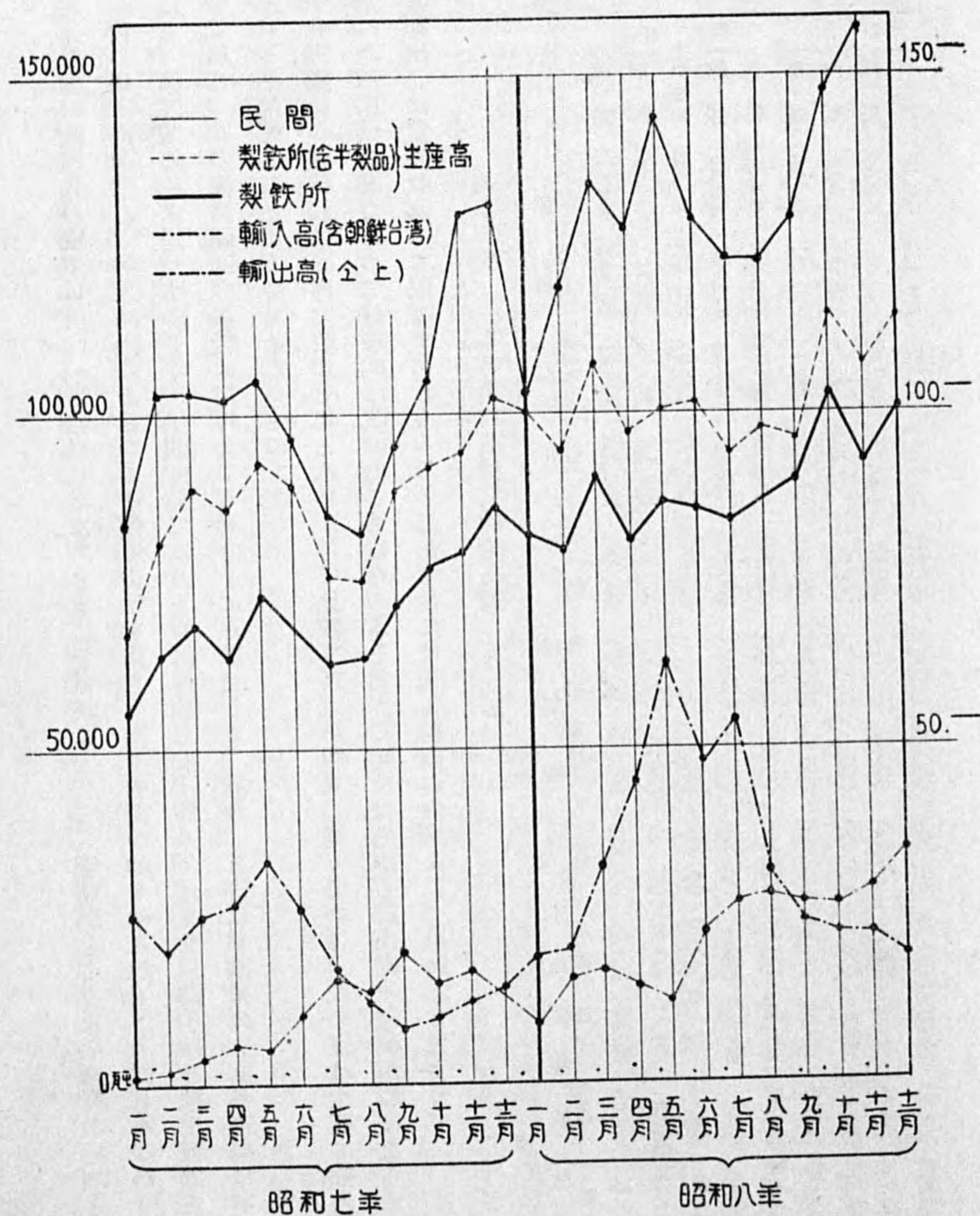
(註) 昭和八年滿洲鉄産額四三四、〇〇〇吨は本表中には含まず。

此の表で明なやうに八幡の製鐵所の鉄鐵は六割餘を産し、鋼塊は約半分を産出して居る。

鋼材の數量の比較的少ないのは前掲第二表に示した如く、八幡から民間へ約十七萬吨のピレットとかシートとか云ふ様な半製品を供給し、夫を民間で製品として出して居ると、八幡の製品の内には加工程度の複雑な規格品が多く、従つて歩止り一般品程高くないものがあるからである。

我國鋼材の需給關係に付て大正十三年迄は國産品より輸入品が多かつたが、再來輸入高は漸減し昨八年の産額は輸入高の約七倍に達し、多額の輸出も行つたため、全需要高に對する輸入超過高の割合は僅かに五%に過ぎなくなつた。扱て輸入丈けに付て見るに、約十年前の大正十三年には百十五萬吨にも達したものが、昭和七年には二十三萬吨となり一方輸出が十三萬吨もあつて差引十萬吨しか海外への支拂が無かつた勘定になつたのである位輸入防遏が着々進捗して來て昨八年の如く需要激増して來ても輸入高は僅かに約四十萬吨で而かも一方輸出が二十七萬吨もあつたから差引海外への支拂は鋼材として約十四萬吨分に過ぎなかつたのである。

本邦鋼材月別需給高圖表 (第二圖)



じてまだ一景氣のよい年は五、六萬噸も足りぬ様なことがあるであらふ。

條鋼類に於て需要増加の著しいものは棒鋼であつて、三割八分即ち二十二萬噸増加の八十萬噸となつて居るが、八幡で三割六分の四萬噸、民間で三割四分の十五萬噸を増産したため、輸入高は僅かに二萬噸餘の増加に喰止めることが出来た。

形鋼の需要高も棒鋼と相似て三割四分即九萬噸増加に依る三十七萬噸となつて居るが、八幡にて三割八分の六萬噸を増産し、民間にて二割の約二萬噸を増産したため輸入高の増加は僅か一萬五千噸に過ぎなかつた。軌條類は滿洲への輸出がふえて一割六分即四萬噸を増して二十八萬噸に達したが、之が生産は全く八幡獨占のものであつて、民間輕軌條の産額や特殊品の輸入高は取るに足らぬ數量である。

上述の條鋼類即棒鋼、形鋼及軌條類を寸法別に區分すれば、大形物の需要高約四十四萬噸は前年に比し九萬噸即二割六分の増加であり、中形物二十九萬噸は十一萬噸即六割を増加し、小形物七十萬噸は二割七分即十五萬噸の需要増加となつて居る。

線材の全需要高は三十二萬噸に達し三割即約七萬噸の増加であつたが其の大部分は民間の増産であつた。鋼管の需要高は約十二萬噸であつて前年に比し二割即約二萬噸を増加した。元來鋼管は官業では一噸も造つて居ないのだが、民間では更に昭和鋼管會社が出来て九月に新製品を出す様になつた。

帶鐵、外輪其の他のものは三割七分即約三萬噸を増して十二萬噸に達したが、其の大半は帶鐵類である。

其の輸入高は七割即三萬五千噸を増加して八萬八千噸に達し各種輸入品中第一位を占めて居る。元來帶鐵の類は其の品種寸法別に種類極めて多く單種多産を行ひ難いものではあるが、何とかして之に打勝ち安い生産費で産出することにして輸入防遏に努めねばなるまい。普通鋼々材中鍛鋼及鑄鋼品の需要高は七割即五萬

噸を増加して十二萬六千噸に達した。

前表の合金鋼々材需要高五萬噸餘中には銻素鋼板約一萬六千噸を含んで居るが、其の他の高級鋼材は約四萬噸にして、増産の大部分は民間特殊鋼工場に於て生産したものである。

而して普通鋼及合金鋼の鍛鋼及鑄鋼品其の他を含む高級鋼材需要高は最近約十萬噸であつて、昭和四年の最高記録に於ても約十萬噸に過ぎなかつたが、昨八年に於て約十六萬噸に達した事は是正に軍需關係に基く精密工業の旺盛を物語るものであつて、前年に比し約八萬噸の増加は主として民間工場に於て之が増産を行つて居る。

我國に於ける普通鋼材の製造に就て、夫に要する鋼塊は後段特に述ぶる事として單に壓延能力だけを見ると、製品の種類と其の統一とにより著しき差異もあるが、現在程度の種別であるとすれば伸鐵工場をも加へ大體三百八十萬噸と見る事が出来る。尤も其の中には歐洲大戰中急に増設された造船用厚鋼板や大形條鋼等の設備が過剩となり現に休業して居るものもあり、一方には鋳力板及帶鐵等の設備は不足のため、アメリカ、ドイツ、イギリス及ベルギー等から輸入せねばならぬ状態である。

第二節 鋼塊

鋼材生産に對する直接材料である鋼塊の産額は昭和七年の二百四十萬噸に對し、昨八年は約三百十六萬噸を産し七十六萬噸の増産を行つたが、尙別にシートバー其の他の塊及錠の輸入があつて其の需給状態は次の通りである。

第五表 本邦銅塊需給高調 (單位噸)

銅塊生產 塊及錠輸入 全需	昭和七年		同八年概算		比較增加
	數量	百分比	數量	百分比	
生產高	二、三九八、二八二	九九%	三、一六二、〇〇〇	九七%	七六三、七一八
輸入高	二五、五四七	一	一〇五、〇〇〇	三	七九、四五三
需高	二、四二三、八二九	一〇〇	三、二六七、〇〇〇	一〇〇	八四三、一七一

我國に於ける製鋼設備としては現在専ら平爐のみを操業し其の數九十六基を算し、一基の能力としては二十五噸程度のもの最も多く全國の製鋼能力は屑鐵の輸入量が假りに昨年約百萬噸以上にも登り得るとせば約三百四十四萬噸に達し居るが昭和九年以降の需要高に對しては之でも足りないものと見做される。而して今後新設の製鋼設備としては爐の大きさも漸次大きくなる傾向で現に八幡の製鐵所に於ては百噸傾注式平爐を四基、昭和製鋼所に於ても同様の大型傾斜式平爐を建設中である。

第三節 銑鐵及屑鐵

製鋼原料の主體である銑鐵の需要高を考へる時には製鋼用に供せらるゝ銑鐵をも考へねばならぬ。而して鑄物用銑鐵の需要高はつきりした統計はないが、昨八年に於ては約四十萬噸に達したものと考へられる。昭和八年の製鋼用銑鐵の需要高は未だ正確なる統計が完成しないが鮮滿を含む全產額は昭和七年の百五十萬噸から昨八年は二百三萬噸に増加し、印度銑鐵其の他の輸入高は七年の十二萬噸から昨八年は十九萬噸に増加して居る。斯の如き銑鐵の増産及輸入増加は鋼材の需要激増に基くものである、八年の分には推定を加へて其の需給状態を示せば次の通りである。

第六表 本邦銑鐵需給高調 (單位噸)

種別	昭和七年		同八年概算		比較增加
	生產高	輸入高	生產高	輸入高	
内地朝鮮	一、一七二、七〇一		一、五九八、〇〇〇		四二五、二九九
滿洲	三六八、一八一		四三四、〇〇〇		六五、八一九
計	一、五四〇、八八二		二、〇三二、〇〇〇		四九一、一一八
印度	一一七、八六二		一七二、〇〇〇		五四、一三八
其他	四、〇八七		一三、〇〇〇		八、九一三
計	一二一、九四九		一八五、〇〇〇		六三、〇五一
需高	一、六六二、八三一		二、二一七、〇〇〇		五五四、一六九

屑鐵の國內產額は統計がないため判明しないが大體三十五萬噸と見做されて居る。輸入高は昭和七年の五十六萬噸に對し昨八年は殆んど倍額の百一萬噸に達して居る。而して各工場に於ける循環屑鐵は鋼塊使用高の約一割八分位であるから昨八年の鋼塊使用高三百二十七萬噸に對しては約五十九萬噸を生じたこととなり、屑鐵の全供給高は百九十五萬噸に達し、此内伸鐵工場の鋼材製造用に供したものを十五萬噸とせば製鋼用屑鐵の量は約百八十萬噸となる。

而して前表に示す銑鐵全供給高二百二十二萬噸中鑄物用に供したものを四十萬噸とせば製鋼用銑鐵の量は百八十二萬噸となり、昨八年に於ては我國に於ける鐵鋼の著しき需要増加と市價の騰貴とによつて屑鐵の輸入が容易であつたため、製鋼原料としては珍らしくも銑鐵と屑鐵を半々に使用したことと思はれるのである。我國に於ける現在の製鐵設備能力は滿洲に於ける鞍山及本溪湖の分を加へ約二百七十萬噸であるが、昨八年に於ける銑鐵の需要高は約二百二十萬噸に過ぎず、然も價格の關係等にて印度銑鐵其の他を輸入したもの

もあつて能力は過剰となり、休んだものもあつたが今日では八幡、戸畑、鞍山に於て鑄鐵爐一基宛休業中のものもある丈で之等も今後層鐵の輸入如何によつては何時でも火を入れる用意があるものと見られて居る。

第四節 鐵 鑛

製鐵業の主要原料である鐵鑛の産額は内地は僅かに二十數萬噸で之に朝鮮の約五十萬噸を加ふるも七十萬噸程度に過ぎない。一方滿洲に於ては貧鑛を主とした約百萬噸の鑛石が採掘されて居るが、これは同地の鞍山及本溪湖の兩製鐵所のみで使用せられ部外に關係がないから之を除外し、内地及朝鮮の鉄鐵生産約百萬噸に對し隨當一・五五噸の鐵鑛を使つたものとして計算すると約二百四十八萬噸となり、此の外平爐の製鋼用約二十五萬噸を加算せば總計二百七十三萬噸の鐵鑛が使用されたこととなる。

之丈の需要に對して内地及朝鮮の鐵鑛産額は合計七十萬噸であるから、全需要高に對しては約二百萬噸の不足となり、之丈輸入せねばならぬこととなるが、昨八年の輸入高は約百六十萬噸であるから約四十萬噸の不足となり、之丈けものは平素の貯鑛から補給された筈である。

第四章 外國鐵鋼業

外國鐵鋼業の状態を比較するに一番わかり易いのは各國にて一箇年に製造した鋼塊及鋼鑄物の産額を對照するのが普通であるから、竝にもそれに倣つて左に最近のものを掲げることとしよう。

世界主要國鋼塊及鋼鑄物産額調

(單位千噸)

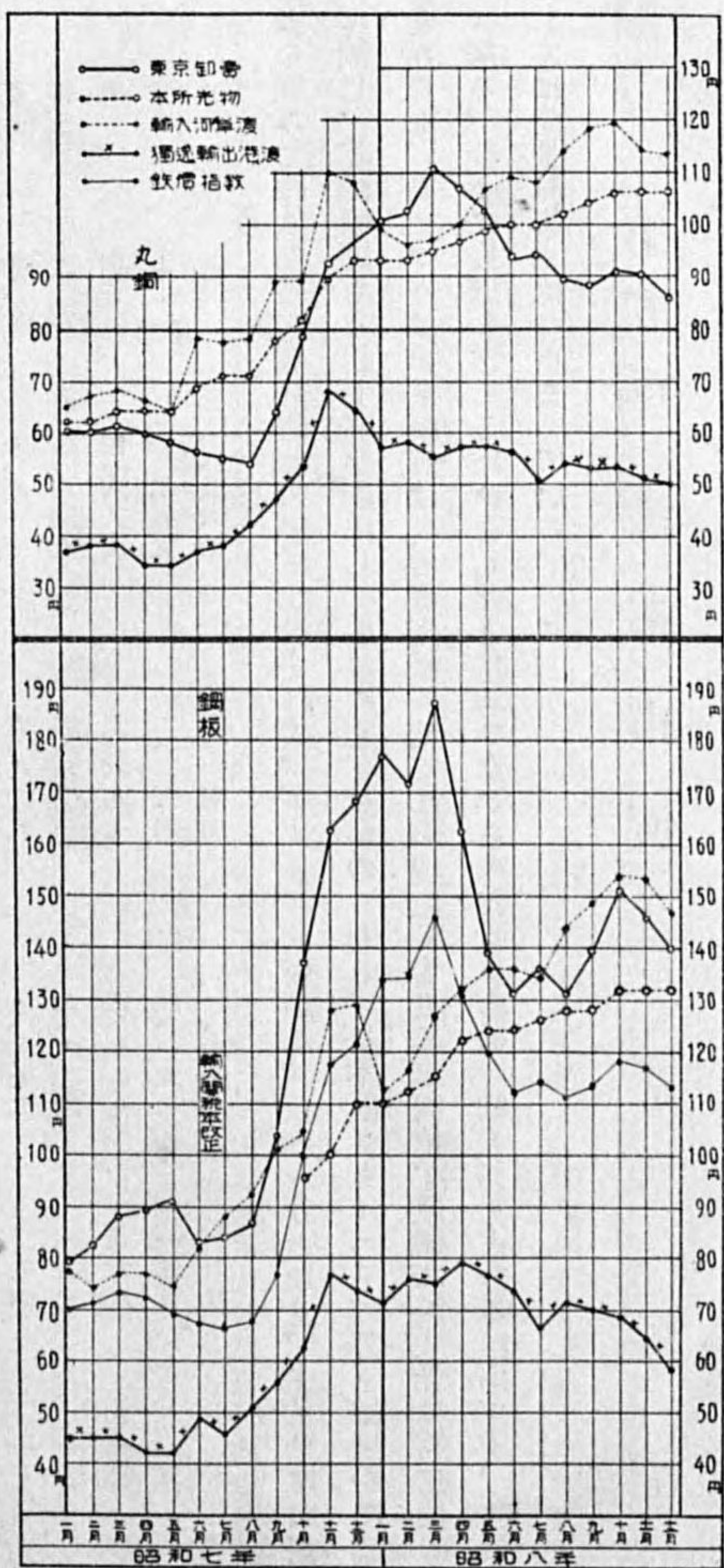
全 世 界	大正二年	昭和四年	同 八 年	同四年對 八年割合	同八年 各國割合
米 國	七六、六〇二	一一九、八四八	六七、二六五	五六%	一〇〇%
獨 逸	三一、八〇二	五六、五四〇	二三、四四六	四一	三五
英 國	一八、九二九	一六、二四二	七、五五九	四七	一一
露 國	七、七八七	九、八〇九	七、〇七二	七二	一一
佛 國	四、八三六	四、九〇一	六、六〇四	一三五	一〇
日 本	四、六八八	九、六九七	六、五八九	六八	一〇
白 耳 義	二、四六七	二、二九四	三、一六三	一三八	五
		四、一四三	二、六九八	六五	四

前表を顧みて昨八年の産額を昭和四年に比較すれば、アメリカは僅かに其四割一分となり、ドイツは四割七分に減じ、英佛兩國も亦約七割を産出して居るに過ぎないのに對し、日本とソヴィエト聯邦とは反對に三割餘を増産し、殊にソヴィエト聯邦は其の實産額に就ては鋼塊に於て世界第四位、鉄鐵に於て世界第二位になつて居る。我國は最近非常なる増産をしたとは云ひながら未だ世界産額の約5%を占むるに過ぎず、其順位としては尙世界第六位に止まつて居る。

第五章 鐵 鋼 市 價

世界的財界不況のため、昭和五年以來特に暴落を重ねて居た鐵鋼市價は、昭和六年末に於ける金輸出再禁止による爲替下落のため、輸入鋼材市價の昂騰に伴ひ國內相場も稍活氣を呈し、更に同七年六月從量關稅を三割五分に引上げられるや茲に市況好轉の契機を作り、且インフレーションの進展に伴ふ事業界の復活及軍

鋼材相場比較圖表 (第三圖)



るから、先物値段も之に平行して高値を唱へ、八年下半期の市價は大體に於て同一の値段を持続して居ると第三圖表に示す通りである。

需品製造の増加等により鐵價は更に昂騰し、昨八年三月中に於ける鐵價指數は昭和六年の二倍餘に達した。然し思惑等の關係もあつて四月以降の市價は幾分下落したが、輸入品河岸渡の相場は逐月上昇する許りであ

第六章 結 言

昭和八年に於ける我國の鐵鋼界は未曾有の盛況を呈し、鐵鋼の産額は昭和六年以降逐年増加を見、鋼材供給高は昭和四年の最高峰を超えて生産高及輸入高の合計は遂に三百十五萬噸の新記録を作つた。而して昨八年は滿洲國其他に對し二十七萬噸の鋼材輸出をも行つて居るのは誠に結構であるが、一方輸入の方を見るに鋼材が四十萬噸に達し、鉄鐵、合金鐵並塊及錠等の輸入高(滿洲鉄四十五萬噸の輸入を除く)が約三十萬噸に及び、之等鐵鋼の全輸入高七十萬噸の價格は八千萬圓餘に達して居る。

屑鐵及鐵礦石の輸入は別として尙以上の外に鐵鋼を材料とする各種機械類其他製品の輸入價格が六千八百萬圓に及んで居る事は見逃す事が出来ない。

我國の鐵鋼業は逐年進歩の跡目覺しく紡績業が羊毛綿花を輸入する如く鐵鋼丈けの輸入は止むを得ずとして今や殆んど自給自足の域に到達せんとして居るが、一步退いて考ふれば保護關稅、獎勵金及諸稅免除等政府の斯業助成に關する恩惠の下に輸入品に拮抗して居る状態である。

更に國內生産設備に就て觀れば需要の種類内容に對して過不足あり、國內の生産及販賣統制は輸入に對抗するものとしては尙遺憾の點がないではない。

於茲政府は官民諸製鐵鋼所を合同し先づ其經濟的基礎を鞏固ならしめ、設備の改善を行ひ、經營の合理化による生産費の切下げを行ひ且統制の全きを得るならば、遠からず政府の保護的恩澤を離れても斯業の確固たる發展の下に容易に輸入を防過し更に進んで少くとも東洋方面は我國の輸出市場たらしめ得る確信を以つて昭和九年一月二十九日日本製鐵株式會社が創立せられ、製鐵所、輪西製鐵株式會社、釜石鑛山株式會社、

富士製鋼株式會社、九州製鋼株式會社及三菱製鐵株式會社の合同を行ひ、更に東洋製鐵株式會社をも合併して各社の現物出資に依る資本金約三億六千萬圓を以て本邦鐵鋼業史上に劃期的一大會社を組織する事になつたのである。其成績の如何は直ちに我國製鐵事業の盛衰に關係するもので之に當る諸員の責任實に重大と云はねばならぬ。

昭和八年世界鐵鋼業概觀

目次

「スチール」一九三四年一月一日所載記事抄譯

一、總說	(22)
世界鋼塊及鋼鑄物生産高表	同鉄鐵生産高表
主要國鐵鋼輸出入表	
二、歐洲諸邦の概況	(27)
(イ) 總說	(27)
關稅並通貨政策の英國製鋼業に對する寄與	スチールアンタラント及コンムトアの大陸製鐵業統制上に及ぼせる好果
(ロ) 英國	(30)

(ハ) 獨逸	(35)
進行中の大計畫	最低記録の輸出貿易
經濟事情の變化	獨逸製鐵業業勢一覽
(ニ) 佛蘭西	(41)
市場の孤立	小賣統制の企
外國貿易の不況	佛蘭西製鐵業業勢一覽
(ホ) 白耳義	(46)
競爭の激甚	國際販賣シンヂケートと其の弱點
白耳義及ルクセンブルク製鐵業業勢一覽	
(ヘ) 伊太利	(50)
一層嚴格なる管理下に來らんとする製鐵業	シンヂケートの自發的組織
(ト) 中歐諸國	(53)
チエコスロバキヤ	波蘭
奧太利	洪牙利
三、合衆國	(54)
自動車工業の活況	斯業復活の一要素たるビール
造船業と海軍契約	鋼材輸出の増加
建築其他建設工業の不振	イーストマン氏對軌條製作者
鋼材消費の三大工業	刺戟された先物買
積荷の激増	鋼材價格八・六%増加
自然的刺戟に對する人為的刺戟	銑鐵生産五二%増加
屑鋼價格の變動	

附表

- 一、昭和八年歐洲鐵鋼輸出價格表
- 二、〃 歐洲鐵鋼國內價格表
- 三、〃 合衆國鐵鋼國內價格表

一、總說

(鋼は三一%、鉄鐵は二三%の増産)

昨一九三三年の世界鐵鋼生産高は前年の衰頹を盛り返して一九二三年のレベルに復歸した。主たる原因は合衆國の急速なる復活と英、佛、獨、露の増産とである。昨年の鋼塊及び鑄物の世界産額は六五、二八一、〇〇〇噸に達し一九三二年の四九、八三六、〇〇〇噸に比し三一%の増加を示したが、一九二九年の記録的生産高なる一一七、九八〇、〇〇〇噸に比較すれば尙多大の遜色を免れない。一方鉄鐵の生産高は四八、〇八三、〇〇〇噸(一九三二年、三九、二四四、〇〇〇噸、一九二九年、九六、七二九、〇〇〇噸)を算し、鋼生産高の七三%に過ぎなかつた。合衆國の生産高は相變らず各國をリードし、昨年の鋼塊及び鑄物の生産高は二三、〇七六、〇〇〇噸に達し一九三二年の一三、五〇〇、〇〇〇噸より多きこと七一%に達した、鉄鐵は二三、〇八三、〇〇〇噸を算し前年より五八%の増産を示したのである。昨年世界生産高合計に對する合衆國の生産比率は鋼に於て三五%、鉄鐵に於て二七%であつた。換言すれば世界鋼生産高の三分の一強は合衆國の平爐及び轉爐から生産されて居る。

一方歐洲諸國に就いて見るに獨、英、佛の進歩著しく前二者は約三〇%、佛蘭西は二〇%の増産を示した。噸數から見れば、獨逸は再び七、四三〇、〇〇〇噸の製鋼高を以て世界第二位を獲得した、第三位は英國の六、九八〇、〇〇〇噸、第四位は佛蘭西の六、四八五、〇〇〇噸である。然し一方に於て露西亞は急速なる進歩をなし、一九三三年に於ける鋼塊及び鑄物の生産高は遂に佛蘭西を凌いで六、五〇〇、〇〇〇噸に達し、獨、英に一籌を輸すと雖も、鉄鐵に於ては合衆國の半以上を生産し克く歐洲の王座を獲得した。即ち露西亞、七、〇〇〇、〇〇〇噸、佛蘭西六、二六五、〇〇〇噸、獨逸五、二二五、〇〇〇噸、英國四、一〇〇、〇〇〇噸の順位を示すに至つた。

歐洲の小國中波蘭の進歩最も著しく其の鋼塊の生産高は約五〇%の増産を示して八二〇、〇〇〇噸に達し前年に於ける減産の大部分を償つた。伊太利の製鋼高は約二八%を、ザールは一七%を、チェコスロバキヤは一三%を増加した。然るに白耳義に於ける昨年の製鋼高は前年よりも約十萬噸を減じルクセンブルクも亦六・二%を減じた。右二國の減産は輸出貿易の減退と、歐洲鋼カルテルの兩國に及ぼせる統制とに起因する。一九三三年に於けるカルテル會員五ヶ國の製鋼高合計は前年の一七、三五七、〇〇〇噸に對し二〇、〇六〇、〇〇〇噸に達した。

歐米兩大陸外の諸國に於ては、日本の増産を筆頭とし、印度及び濠洲も亦若干の増産を示した。

附表の輸出入表は昨年に於ける鐵鋼材の貿易が前年と殆んど變化無きを示す、昨年に於ける五大國の輸出高は合計一〇、一三〇、〇〇〇噸にして前年に比し僅に一千噸の増加に過ぎない、因に一九三二年は一三、九二二、〇〇〇噸、一九一三年は一六、〇〇七、〇〇〇噸であつた。一方輸入は昨年迄四ヶ年間引續き減少し、五大國昨年の輸入合計は一九三二年の三、一七五、〇〇〇噸に對し二、八二〇、〇〇〇噸を計上したるに過ぎな

国名	一九三三年	一九三二年	一九三一年	一九三〇年	一九二九年	一九一三年
洪牙利	1,350,000	1,370,000	1,100,000	1,300,000	1,500,000	1,400,000
露西亞	6,500,000	5,700,000	5,300,000	5,500,000	4,200,000	4,100,000
日本	3,000,000	2,100,000	1,200,000	1,100,000	1,100,000	1,000,000
印度	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000	—
濠洲	700,000	800,000	900,000	1,000,000	1,100,000	—
其 他	300,000	400,000	500,000	600,000	700,000	—
世界合計	16,550,000	14,870,000	11,500,000	11,700,000	10,700,000	7,900,000

備考 一九一三年の獨逸の生産數字は戰前領域の分
一九一三年の埃太利の生産數字にはチエロソロバキヤ及洪牙利の大部分を含む
日本の生産數字には滿鮮の分を含む

第二表 世界鐵鋼生産高 (單位英屯)

5。
屑鋼は結局鐵鋼の形に於て再現するものであるから屑鋼の數量を除外して考へる事が鐵鋼の眞の消費高をより確かに捕捉する事になるのは申す迄もない。昨年における屑鋼の最大購入者は日本、伊太利及び波蘭であつて主に亞米利加市場より購入せるものである。

第一表 世界鋼塊及鑄物生産高 (單位英屯)

国名	一九三三年	一九三二年	一九三一年	一九三〇年	一九二九年	一九一三年
合衆國	3,000,000	1,350,000	2,300,000	2,000,000	2,500,000	3,100,000
加 奈 陀	3,700,000	3,000,000	2,700,000	2,500,000	2,300,000	1,700,000
英 國	6,200,000	5,500,000	5,100,000	5,000,000	4,800,000	4,000,000
佛 國	6,200,000	5,500,000	5,100,000	5,000,000	4,800,000	4,000,000
白 耳 義	2,200,000	2,000,000	1,800,000	1,700,000	1,600,000	1,500,000
伊 太 利	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	—
ス ー ー ン	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	—
瑞 典	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	—
獨 逸	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	—
埃 太 利	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	—
チエロソロバキヤ	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	—
波 蘭	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	—

第三表 主要國鐵鋼輸出入 (單位英屯、屑鋼を除く)

輸出入	一九三三年	一九三二年	一九三一年	一九三〇年	一九二九年
スウェーデン	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
ドイツ	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
瑞典	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
獨逸	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
埃太利	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
チエコスロバキヤ	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
波蘭	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
洪牙利	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
露亞	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
日本	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
印度	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
濠洲	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
ザル	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
其他	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
世界合計	110,000	120,000	120,000	140,000	150,000
備考	一九一三年の獨乙の數字は戰前領域の分 一九一三年の埃太利の數字にはチエコスロバキヤ及洪牙利の大部分を含む 日本の數字には滿鮮の分を含む				

輸出入	一九三三年	一九三二年	一九三一年	一九三〇年	一九二九年
英國	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
獨逸	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
佛羅倫	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
白耳義	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
ルクセンブルク	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
合衆國	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
備考	一九一三年の獨乙の數字にはザール及びルクセンブルクの分を含む 一九一三年の白耳義及ルクセンブルクの數字は白耳義の分のみ 佛國の數字には一九一三年を除きザールの分を含む (以上輸出入共)				

二、歐洲諸邦の概況

(イ) 總說

昨年歐洲に於ては殆んど各國共製鋼高並國內消費高は一九三二年に比して増加し又大抵の場合國內、輸出

價格共強氣を呈した。一方鐵鋼の輸出入より測定せる外國貿易高は再度低減せるも其の割合は一九三二年の場合に比し少きを得たのである。故に昨年は、夏期中豫期せるが如く満足なる状態から稍々離れて越年せる國もあつたが然し一般的より見た歐洲の斯業は復活の緒に着いたものと云へる。就中英國は殆んど凡ゆる商工業に互りて復活著しく、多くの點に於て英國の更生は其の他の國に對し獎勵と教訓とを與ふるものである。復活の種は一九三一年の後半に蒔かれ英國國民の甘受せる多大の犠牲に依つて此の收獲を得たのである。當時の展望は頗る暗憚たるもので國の財政は危機状態に在つた。夥しき増税と各政治機關の財政緊縮とを以て漸やく豫算を釣合はしめ英國の信用を回復し得たのであつた。

關稅並通貨政策の英國製鋼業に對する寄與

磅の金本位離脱に依り英國内に惹起された衝擊は暫時にして止み間もなく英國國民は此の危機を乗り切るべき自信と力量とを内外に明示した。これにより一九三二年の深刻なる不景氣も年末には既に暗雲散じて黎明の曙光を認むるに至り、斯くて僻かしき希望の下に一九三三年を迎へたのであつた。一九三二年に制定された關稅政策が商工業者に與へた効果は特に鐵鋼業者に好影響を齎し其の結果輸入は四割を減じ輸出は一九三二年のレベルを持續し年末に於ては増大の傾向さへ見るに至つた。

磅の下落も亦之を助長したが然し其の成果は通貨の下落を來した。又は其他の制限手段を講じた諸國からの輸入品に對し制定された特別關稅の爲め一部減殺されたのであつた。

スチールアンタメント及コンムトアの大陸製鐵業

統制上に及ぼせる好果

一九三三年中大陸の主要鋼生産諸國に於ては種々なる組織の改造並一般費の低減に依つて製鐵業に關し各國夫々の地位を鞏固ならしめたのである。佛蘭西は努力を國內市場に集中して其の生産高を増加した。獨逸、伊太利に於ても亦國內市場に一層の力を注いだ。白耳義、ルクセンブルクの如く主として輸出貿易に依頼する國又は比較的輸出に力を注ぐチェコスロバキヤ、波蘭の如き諸國に於ては困難なる事態に當面したが然し前年に比すればいくらか事態の改善に成功したと云へる。一般的に云へば大陸の國內價格は底固く昨年下半年に於ては値上り傾向を示したのであつた。

昨年の顯著な出來事はスチールアンタメント(大陸鋼カルテル)の再建と國際販賣シンヂケートの組織とであつた。此れが爲め大陸鋼生産國間に密接なる協力を齎らし又輸出價格を高きレベルに維持することを得た尤も其の直接の結果として輸出貿易を擴大し得たと云へない。さりながら全體より見れば是等の組合は斯業に對し概して裨益する所ありと云へる。シンヂケート組織後も解決すべき多くの難件に當面し今尙征伏すべき幾多の障礙に直面しつゝある然し一般に良結果が見越されてゐる。

英國は大陸鋼カルテルの會員ではない、英國のカルテル不参加は常習的に参加を嫌厭する爲ではなく、製鋼業の指導者が學國的に斯業の組織改造を見る迄は参加の時期尙到らずと看做すからである、實際、組織改造計畫の勞作は年間を通じ慎重に續行せられた而して本誌一九三三年四月十七日所載の一般方針に基き樹立さるべき完全な計畫が近く斯業の前に提示せらるゝであらう。其の時期が到來すれば英國製鋼業者は英國斯

業の狀況と將來とを考慮し公平なる基礎に於て大陸鋼カルテルと協力的交渉を開始し得るものと見られて居る。新年に入つても尙世界の通商貿易上には幾多の危険帯が認められる、然しながら若しも重大なる障礙が解消せられ人爲的城壁がたとへ一部分でも除去せらるゝならば斯業の生産並に貿易状態は漸次復活に向ふであらう。有效なる方法と自然力の働きとに依つて齎らさるゝ漸進的復活は人爲的方法それは却つて屢々本來の目的を破壊せんとするがさうした方法に依る急激なる復活よりも一層確實に世界の繁榮を招來するであらう。

(ロ) 英國

一九三三年の最初三箇月間に於ける英國の鐵鋼業は些の進展を示す所無かりしが四月以降は遅緩なりとは云へ復活の傾向を辿り始め第三及び第四四半期に於て一層其の傾向を強むるに至つた。

最近の記録を示した一九二九年の製鋼高は九、五〇〇、〇〇〇噸を越へた。同年の生産高に對する百分比を以てすれば一九三〇年の其は七六％に、一九三一年は五四％に減じ一九三二年も五四％を保持したが一九三三年末に於ては六六％に増加した。鉄鐵の生産高に於ても鋼とほぼ同一の上向傾向を示し十月末現在の操業高爐數は年初の六〇基に對し七四基を算し、生産高は一月の二八六、六〇〇噸から十月には三七三、三〇〇噸に増加した。

保護關稅による輸入制限

保護政策採用の齎らせる利益は外國貿易の數字に於て明かに認むることが出来る。一九三三年第三四半期

に於ける鐵鋼の輸入高は第二四半期の二二四、八五七噸及び第一四半期の二四四、三九四噸に比し二二三、四八六噸に減じた。一月より十月迄十箇月間の輸入高は前年同期の一、四六一、六〇三噸及び一九三一年同期の二、二〇五、六九四噸に比し七八九、一四三噸に減じた。

輸出は輸入減に逆比例的に増加するものと思はれたが事實はそうでなかつた、然し一九二九年以來漸次濃化し來つた衰退氣配は明らかに喰止められたのである、一九三一年以來昨年迄輸出は毎年一、九〇〇、〇〇〇噸臺を持続し來つた。換言すれば輸入關稅は一九三二年以來の輸入を阻止したが輸出には少しも反響する所がなかつた。尤も斯業の組織改造計畫が今正に實行されんとしつゝあるから一九三四年に於ける英國の輸出貿易は恐らく振興するものと見て大差なからう。

重要視すべき運動の一はビレット及びシートバーの生産高を少くとも年三〇〇、〇〇〇噸増加する計畫である。これは一九三三年に於ける貿易の振興上必要とせる手段で British (Guest Keen Baldwins) Iron and Steel Co. Ltd 即ち英國鐵鋼株式會社がこの衝に當つてゐる。本會社は一九三〇年に於て Guest, Keen & Nettie fold Ltd, 及び Baldwins Ltd. 鐵鋼會社の合同せるものである。

一方に於ては Cardiff-Dowlais 製鋼所の二箇年改造計畫が進められてゐるが完成の曉には直接千五百人の製鋼職工を使役し間接に多數の坑夫、鐵道夫、ドック労働者、石炭採石夫等を雇役する筈になつてゐる。三三％の輸入關稅が賦課せられた時英國には外國から輸入されたビレット及びバーの多量のストックがあつた、是等のストックは、英國市場を確保せんが爲め無理な廉價で品物が外國から提供せられた關係上暫らくは減らなかつたが結局永續はしなかつた。

英國の價格は現在に於ては更新されたカルテルの手に依つて取扱はるゝ佛、白、獨の價格とかなり有利に

拮抗し得る事態に在る。

價格の安定は斯業に強味を與ふ

英國鐵鋼業の堅實さを表徴する要素の一は過去三、四年を通じ各部門に於ける製品價格の安定である。製鋼業者組合に於て一九二九年十二月に標準價格を設定したが爾來僅かの變更を見た外此の標準はその儘不動である。薄板製造業者は最近組合を革新し十二箇月の間に輸出顧客に對し二五志の値上を行つた。之に對し大陸の競争者は製品價格の引下を爲し得ると同時に尙ビーム及び類似の品物に對して英國の價格を下廻り得る地位に在る。英國の製造業者は價格の統制を堅持する爲には相當の犠牲を餘儀なくされた従つて株主は大戦以來殆んど配當を得て居らない。

鉄鐵は斯業の復活に對し大いに貢獻する所があつた、これは主として輕鑄物並類似品を大量に消化する建築業の活況持續に刺戟された輕鑄物工場の活動に負ふ所大である。年初鑄鐵爐の生産高は（操業爐數僅に六〇基）市場の需要を越へたがやがて需要は漸次生産高に追ひ付きたるのみならず、大量のストックも漸減するに至つた。鋼の取引に於けると同様價格の統制は嚴格に行はれた。例へばサウス・スタツフオードン地方に於ては、フォーチ及び鑄物鉄は一九三一年五月以來同一價格を持續した。一方サウスウエルス及び西インクランドに於ては輸入關稅の設置以後に起つた外國の競争に應ずる爲め價格の統制は一時中止の止むなきに至つた。

一〇%から三三%への鉄關稅の増率は半製品並に製品取引の損失を埋合はさんとする佛、白生産業者の企を完全に打ちこはしたのである。取引協定に依り特別の便宜が與へられた瑞典及び印度からの鉄鐵を除き外國鉄の輸入は殆んど跡を斷つに至つた。最も好ましき事象の一は「ロンドン、エンド、ノース、イースタン鐵道會社」が二百三十萬磅に達する擴張計畫を實行しつゝあることである。本計畫には機關車、客車、貨車の建造及び橋梁、軌道の取換等を含んで居る。

國家的計畫

斯業の堅實化に對する國家的計畫の要綱は未だ公表されないが將來の事態に應ずる爲め的手段は著しき進歩を呈してゐる。鹽基性ベセマー法に依りノーザンプトンシャーの鑛石を鋼に轉換せんとするステワード、エンド、ロイド會社の偉大なる製鋼事業は既に着手されてゐるがこれは自國品を以て外國よりの輸入品に取つて代る爲めの重要な階段である。ノーザンプトンシャーは世界に於ける最大鐵鑛床地帯の一であつて本會社は約五億噸に達する資源を管理してゐる。計畫の一部としてチューブ製造工場が製鋼工場と同一敷地内に建設せらるべく、これは鑛石からチューブまで悉く英國の原料を用ひ一貫作業工程を實現せんとするもので豫算總額は三百萬磅である。

一九三一年に於ける英國の亞鉛引薄板の輸出は二八八、七九五噸に達したが一九三二年には二七八、三八〇噸に減じ、一九三三年の十月迄の合計は二二八、三六五噸であつた。ウエールスの鋳力板業は外國爲替の制限と信用の凍結とに依つて大いに妨げられた。然し輸出取引は損失を示すと雖國內の鋳力板消費は著しく増加し一九三二年の消費高は一九三三年の一九六、〇〇〇噸に對し二六九、〇〇〇噸であつた、これは主として英國に於ける罐詰工業の急速なる發達に因るものである。

英國鐵鋼業の將來に就て見るに既に或る方面に現出せる復活更生の波紋は漸次全面的に擴大するであらう。

と信すべき多くの理由がある。一九三三年は不景氣のドン底から一轉機を劃した年と見て誤がなからう。

英國鐵鋼業の趨勢一覽 (單位千噸)

年次月平均	生		高		輸		入		輸		出	
	石	炭	鐵銑及鐵合金	爐數	鑄物	鐵銑石	鐵銑及鐵合金	鋼	散炭	鐵銑及鐵合金	鋼	
一九一三年	二二、九五	一八、五五	三三八	六三九	六〇三	一八〇	一六八	—	九三・七	三二〇	—	—
一九三〇年	二〇、三一	一五、一六	七六	六一〇	三四五	二六〇	二一六	—	二二九	二六・四	—	—
一九三一年	一八、三四	一三、一四	七〇	四三三	一七七	二五・五	二二二	—	一一八	一六・八	—	—
一九三二年	一七、四三	二九、八	六〇	四三八	一五〇	一三・一	一一〇	—	一一四	一〇・七	—	—
一九三三年一月	一八、七九	二八、七	六二	四四四	一六四	九・九	五九	—	一四二	六・九	—	—
二月	一七、八二	二七、一	六三	四八三	二一一	五・八	七二	—	一一五	五・八	—	—
三月	一九、五一	三三、二	七〇	五七八	二一八	七・〇	九〇	—	八八	九・五	—	—
四月	一五、四一	三二、五	六九	五一〇	二四五	一〇・五	六〇	—	四八	七・三	—	—
五月	一七、三八	三四、〇	七二	六〇〇	二四二	一一・二	七三	—	七二	一二・六	—	—
六月	一五、二八	三四、六	七二	五六九	二一四	八・一	六一	—	一一八	七・三	—	—
七月	一五、〇八	三四、四	六九	五六七	二二九	九・六	五四	—	一一六	一一・一	—	—
八月	一五、四二	三六、三	七三	五五一	二二七	一七・三	六二	—	一六二	九・三	—	—
九月	一六、五八	三六、〇	七四	六六九	二二七	六・九	七三	—	一六九	八・四	—	—
十月	一八、一四	三七、三	七四	六六八	二五一	九・九	七九	—	一五六	八・二	—	—
十一月	一八、八九	三七、四	—	六九五	二五七	一三・一	七九	—	—	一四・四	—	—
十二月	一八、六五	三七、四	—	六六九	二四五	一一・三	八〇	—	—	一一・四	—	—

月平均 一七、二四九 三四一 七四 五八四 二二八 一〇・一 七〇 一一九 九・四 一五二

備考

- 一、輸出入の鋼には鐵鑄物を含み層を除く
- 一、操業高處數は一九一三年の分は年平均
- 一、其の他は年末又は月末現在數
- 一、一九三三年十一月、十二月及月平均數字は譯者に於て記入又は訂正せるもの

(ハ) 獨逸

業界の危機打破に努力

獨逸の鐵鋼生産高は昨一九三三年に於て一九二九年以來初めて増産を示した、前年の不況時に於ける鉄鐵の産額は一九二九年の約二九%粗鋼のそれは三五%に低減したのであつた。

一九三二年九月時の政府の緊縮政策撤廢決議に際し定められた改善の基礎は一九三三年に着手され、一九三三年一月末に實施された國家社會主義政府の政策に依つて更に鞏固にされた。新政府は失業對策に力を集中した。

進行中の大計畫

總豫算約三十八億七千萬馬克に達する巨大なる計畫が此の目的(失業對策)の爲めに計上せられ而して年末迄に於て既に八億馬克が費消された。官邊發表の數字に依れば政府は一九三三年九月に終る十二ヶ月間に於て給料生活者の數を約八%産業生産を價額に於て約二%増加することに成功した。

斯の如き事態の改善は鐵鋼業の活動に反映した。一九三三年十月迄の十ヶ月間に於て鉄鐵及び粗鋼の生産高は前年の平均に比し何れも二八%を又壓延鋼材の生産高は二四%を増加した。主要會社の賣上高も亦増進し例へば合同鐵鋼會社の賣上高は五二〇、九〇〇、〇〇〇馬克から五六五、七〇〇、〇〇〇馬克に増加した。因に會社の一九二九年の賣上高は一、四四五、〇〇〇、〇〇〇馬克であつた。尙ほ會社の國內賣上高は會計年度中三一六、七〇〇、〇〇〇馬克から三七〇、一〇〇、〇〇〇馬克に増加したが輸出賣上は前年に引續き二〇四、二〇〇、〇〇〇馬克から一九五、六〇〇、〇〇〇馬克に減少せることを記して置く。斯の如き發展は獨逸の最大會社たる本合同會社のみに限られたものでなく獨逸工業界全般の表徴であつた。重工業會社の財政状態は好轉し其或者は僅少ながら利益を示す事が出来た、これは主として負債減少の齎らせる帳簿上の利益に起因するものであつた。此れに關聯して一言の要あるは獨逸の工業が、通貨の下落に因つて外國の負債を減じ、これが爲め將來に對する財政的基礎の建直を爲す上に有利の地位に置かれたことである。

然し斯くの如き利益のみを以てしては尙不十分で合同製鋼會社は遂に其の組織を根本的に改革するの止むなきに至つた、組織改造は昨年末に行はれ、本會社は其の發起會社たるフェニツク、ファン・デル、チイペン及びゲルゼンキルヘン鑛山會社と合同するに至つた、而してゲルゼンキルヘン會社は前記三社の財産全部を引受け合同製鋼會社の名稱を繼承したのである。此の新合同會社は從來の如く獨逸鋼産額の約半量を管理し五億六千萬馬克の株式資本を有し尙十三の獨立生産會社を保有し其の株式を持つて居る。

最低記録の輸出貿易

輸出貿易は馬克の下落を利用して海外に於ける獨逸の競争力を助長する爲めに各種の方法が講ぜられたに

も係らず依然不振であつた。外國の關稅障壁、爲替制限、増大する日本の競争及び磅の下落等は最も重大な障壁であつた。一方弗の下落は南米、特にブラジル、アルゼンチンに關するものを除き獨逸の鋼貿易には不利な結果を齎らす事はなかつた。一九三三年最初の九ヶ月間に於ける獨逸の鐵鋼輸出は(屑鋼を除く)更に減少し即ち前年同期の一、八六七、九二七噸及び一九三〇年の三、七四九、四〇八噸に比し一、五四九、六一九噸に過ぎなかつた。然し八月及び九月の輸出高は同年中初めて前年中の記録を突破した。これは、前年多量の外國品を輸入した露西亞が昨年は同じ様に買付をしなかつた點に鑑みると寧ろ驚異に値する事柄である。

一九三三年に於ける獨逸の鐵鋼輸出高は生産高の約二割乃至二割五分に相當したが一九三二年は三割四分、一九三一年は四割に相當した。國際鋼輸出組合の設立は未だ輸出貿易上に有利な結果を示さないが今後事態の好轉に貢獻すべきは疑のない處である。

斯の如き事態に鑑み生産業者は専ら努力を國內市場に集中した。秋季中斯業の作業率は能力の約五〇%に及び(一九三二年九月は二八%)尙失業對策の結果は年の後半に至つて表はれ始め製鋼業の活動は増加一方であつた、又月額鋼材四萬噸に達する鐵道關係方面との取引契約は製鋼所に取つて歓迎すべき成行であつた。然し需要の好轉にも係らず、從來引續いて世界市場のレベルを著しく上廻つて居つた國內價格は年間を通じて上向く事がなかつた。

外國鋼の輸入は前年に比し著しく増大し最初九ヶ月間の合計は前年同期の五四九、四四七噸に對し九六〇、五七四噸を算した、然し屑鋼の輸入を除く時には五〇五、九四〇噸から六九八、三八〇噸に増加したに過ぎなかつた、此の増加は主としてザール地方からマーチャントバー、ビーム、フープ、バンド、レール及び

ワイヤー等を大量に輸入せる結果であつた。最初九ヶ月間中に於ける屑鋼の輸入は前年の四二、五〇七噸から二六二、一九〇噸に増大したが一方其の輸出は一九六、一八六噸から一一一、六八八噸に減少し前年の出超一五二、六六一噸に對し昨年は一五〇、五〇二噸の入超を示した。

昨年は獨逸船の解體から餘分の屑鋼を生産したるにも係らず斯くの如き事態を現出したのであつた。屑鋼の價格は一九三三年九月に於て一年前の相場より四割高であつたが十月末には多少の値下りを見せた。

鐵礦石の輸入は最初九ヶ月間中に於て前年同期の二、五六四、八六四噸、一九三一年の六、一〇一、一五六噸に對し三、四一三、六九五噸を算した。獨逸の製鐵業者は國內の鐵石ストック尙約九百萬噸に達するの故を以て瑞典の鐵石供給契約者との間に引渡し再度延期に關する協定に成功した。

鐵鐵市場は製鋼工場の活動増大に依り幾分の好轉を見せた。十月末現在の操業高爐數は一年前の三二基に比し五〇基を算したが然し一月に於て既に四六基を操業して居つた、因に獨逸の高爐總數は一五七基である。

鉄鐵の價格は變らず、そして一九三二年九月初めて交付された適當り六馬克の割戻は年間を通じて實施された。最初九ヶ月間に於ける鉄鐵の輸入は前年同期の四一、七八七噸に對し五四、三三〇噸に達したが一方輸出も四三、七三三噸から七七、〇四三噸に増加した。鉄鐵組合の壽命は一九三五年一月三十一日迄三年間延長された。

經濟事情の變化

獨逸の經濟及政治上に起つた諸變化は亦各種の獨逸鋼組合の組織に反映する所があつた。四月政府は鐵鋼

生産業者と鐵鋼消費業者間の關係を管理すべき一事務官を任命した。此れに依つて鐵鋼生産業者は彼等の統制する製造工業會社に引渡すと同一の價格で統制外の加工工業會社に鋼材を供給するの保證を與へる事になつた。政府は亦一切の製線工場に對する強制的シンヂケートを樹立した。年末には商人と仲買人との新組合が設立された。即ち多くの現存組合を解散し獨逸鐵商組合として一中央團體が設置されたのであつた。其の目的は價格及び販賣條件を管理するに在るが然し目下の處現在價格を變改せざる事になつて居る。

一九三四年の展望は政治、經濟及び通貨に關する國際的難問題の未解決に依り暗澹として前途頗る逆睹し難きものがある。一九三三年は重大危機を乗り切るべくスタートを切つたのであるが然しながら此の改善は主として今後數年間の國家收入を抵當として融資さるゝ國內事業の復活を基礎とせるものであつた。一九三四年は此の政策を正常化するであらうと見られて居るが其の成果如何は主として世界の取引状態が一般に好轉するや否や或は又獨逸が其の喪失せる世界市場を再び入手し得るや否やに左右せらるゝであらう。

獨逸製鐵業勢一覽 (單位千噸)

年次月平均	生 産		輸 入		輸 出				
	炭 灰	鐵鐵及鐵合金	鋼塊及鑄物	鐵鐵及鐵合金	炭 灰	鐵鐵及鐵合金			
一九一三年	二、六三九	九一〇	二〇四	九九三	一一・〇	四一	五三四	七一	四七〇
一九三〇年	二、七〇五	八〇八	六三	九六二	一四・三	九四	六六四	一九	三八一
一九三一年	一、九三二	五〇五	四七	六九一	九・九	六八	五二八	一六	三四五
一九三二年	一、五九四	三二七	四二	四七九	五・三	六一	四三二	六	二〇一

一九三三年一月	一、七六三	四〇三	四六	五四〇	七・七	七六	四八八	五・三	一四三
二月	一、六一三	三四〇	四五	四六四	五・一	一〇四	四三七	六・一	一二六
三月	一、六九一	四二六	四六	五八八	五・八	一三四	三八九	八・四	一四五
四月	一、五四三	三七四	四三	五三一	四・四	一一三	三三三	六・二	一六〇
五月	一、六八七	四一四	四〇	六四三	三・九	一〇二	三八二	一一・三	一七九
六月	一、七〇四	四二四	四四	六六六	六・九	九八	四〇〇	九・八	一七九
七月	一、七八一	四四〇	四三	六四一	五・七	九一	四二八	一四・一	一七八
八月	一、七九四	四七三	四五	七〇六	七・二	九三	五〇六	九・四	一八七
九月	一、七〇六	四三七	四六	六三二	八・一	九五	五六〇	一一・六	一七〇
十月	一、七八五	四九二	五〇	七一五	五・二	一一二	五三三	一二・二	一八四
十一月	—	五一〇	五〇	七二五	六・〇	一〇九	—	一二・一	一八一
十二月	—	五三四	四八	七三一	九・四	八三	—	八・〇	一七八
平均	一、七〇七	四三九	四六	六三二	六・三	一〇一	四四六	九・五	一六七

備考 一、一九一三年の生産高數字は現在領域の分

一、操業高爐數は年末又は月末現在數

一、一九一三年の輸出入數字は戰前領域の分にしてルクセンブルクを含む

一、輸出入の鋼には鐵鑄物及層鋼を含む

一、一九三三年十一月、十二月及月平均數字は譯者に於て記入又は訂正せるもの

(二) 佛 蘭 西

(製鋼業受難の年)

一九三三年に於ける佛蘭西の製造工業並貿易状態は殆んど改善を示す所なく危機打開の手段も成功する所なかつた。佛蘭西の實業家就中鐵鋼業の領袖は、人間の欲求を満足させると云ふ爲めではなく單に生産の増加は配給の仕事よりも容易であると云ふ理由に依り世界の工業生産高が其の消費力を超ゆることを認めて居る。此の分配問題が解決する迄は生産の統制と市場の氾濫防止とが必要である。

生産業者が如何なる價格に於ても尙信用の相當存在する方面に對し賣り込まんとする欲求は各國をして多數の工場閉鎖を避けんが爲め自國內市場保護の手段を講ぜしむるに至つた、これ即ち佛蘭西政府をして割當制度の維持と出來得る限り之れを嚴格に適用せんとする行動に出でしめた動機である。

佛蘭西市場の孤立

佛蘭西は其の市場を外界と孤立せしむることに努め來つた結果國內價格は輸出價格即ち外國價格と何んの關係をも有せず、輸出價格と國內價格との開きは佛蘭西の關稅より遙に大きい。一方佛蘭西政治從來の特徴たる農業保護政策は商品の價格を高率に持續する結果を齎らし、前記の原因と相俟つて佛蘭西の生活費は高率に保持される事となつた。昨年佛蘭西は失業問題に苦しみ、一月一日現在の失業者は男二二、六七七人、女六四、四五二人、六月一日現在男二二〇、九一五人、女六五、六八二人であつたが十一月一日現在數は男八一、六二二人、女五一、二五八人に減じた。此の數字には部分的短時間作業に従事せる多數の男女労働者を

含んでゐない。實際年間を通じ工場の多數は一週僅に三日或は四日の作業を行つたに過ぎない、昨年中賃銀率の改正は極めて少なく又輕微な程度であつた。
 昨年一月より十月一日迄コンムトアに統制された鋼材の賣上高次の如し。

	國內市場	輸出市場
半製品	四二四、一九〇吨	二四五、四三六吨
マーチャントバー	七二三、八八九タ	二七四、九二六タ
ビーム	二二二、三四八タ	一五五、一三六タ
線材	二〇八、〇一二タ	六一、〇六一タ

佛蘭西の鐵鋼業は目下殆んど完全に組合化されてゐる。：Siderurgique de France”なるコンムトアは諸種の統制機關を合せて其の組織を強むるに至つた。多數のシンヂケート又はコンムトアが昨年組織せられた、其等は従來の大コンムトア程の重大性を持たないが何れも斯様の作業を有利ならしむる上に必要缺くべからざるものである。目下一切の鋼材をシンヂケート化せんとする傾向があるが然しこれには頗る困難ある模様である。又特殊鋼及特殊形鋼のシンヂケート組織に關し協商進行中であるが未だ具體化するに至らない。昨年の出來事中最も重要視すべきものは小賣制度組織の企であつた、殆んど滿場一致の協約が諸種の仲買商人と卸賣商との間に成立したが強ち規則の嚴守を強いてゐない。本組織の主義は次に掲ぐる方針に従ふものであつて其の目的は商人及卸賣商の取扱ふ壓延鋼材を統制せんとするに在る。

小賣統制の企

卸賣店の鋼材價格に運賃及エキストラの爲めの若干の増しを加へたものがコンムトアの價格にならなければならぬ。斯くしてコンムトアに加入せる商社は専らコンムトア又はザール工場、或は又 Comptoir Siderurgique de France との契約に調印せる再壓延業者より鋼材の供給を受けなければならぬ、此の條件に従ふ商人は彼等が注文せる年總噸數につき割戻を受け得る、而して直接彼等の顧客に販賣し、コンミツションを受けるのである。若し此の條件が几帳面に遵守されとせばコンムトアの地位は堅實化され、管である。何となれば若し小賣取引が適當に統制され、場合には生産統制を容易ならしむる上に大いに助けとなるからである。然しながら特にパリ地方に於てはコンムトアの定むる價格は次に掲ぐる事實に見るが如く遵守されていない、即ちコンクリートバーはコンムトア價格の七〇〇フランに對し六〇〇乃至六二〇フランの相場で取引されてゐる。右の如き規則違反の結果製鋼所に於ては折々公認を経ざる割戻を商家に與へ來つたが一方コンムトアの定むる比較的高價格を利用する再壓延業者は大いに活躍し比較的低き價格を以て壓延鋼材を市場に氾濫せしめたのであつた。又製鋼工場自體に於ては新體裁の形物、或はグレイビームの如き統制外の特殊品を製造して以てコンムトアの定むる嚴格なる條件を避けることが出來たのであつた。要するに佛蘭西の生産は組織化されてゐるが然し統制十分なりとは云へない。條件の履行を監視せんとするコンムトアの統制規約は規約違反の防止に不十分であつた、而して此の事態を救済する唯一の方法は管理せんとする製品の販賣を自ら取扱ふシンヂケートを設立するに在りと一般に考察されてゐる。然しながら壓延鋼材に對しては斯の如き計畫の實現を妨ぐる多くの難件がある。

ザール地方工場方面に於ても競争の甚だしきものあるを見る。ザールの工場は佛蘭西工場の價格政策に従ひ且ザール地方佛蘭西冶金組合の統制を受けることになつてゐるが然し彼等は屢々規則違反の行爲に出でつた。線材シンデケート、半製品シンデケート、構造用鋼シンデケートの如き販賣に従事する諸コンムトアの業績は良好であつた、ワイヤー製品シンデケートの一九三三年に於ける業績は前年に比し可もなく不可もなかつた。一般的に言へば佛蘭西の國內價格は強氣を維持し且上向傾向に在つた。二吋ピレットの價格に就て見るに一月の適當り二七〇法は四月に三八五法となり五月には四〇五法と上向き又ビームは年間を通じ五五〇法、線材も七一五法を動かかなかつた。マーチャントバーは一月の五三〇法から五月に五六〇法に値上りを見せ其儘年末まで押し通した。是等の價格は總べて鹽基性轉爐鋼のものである。マーチャントバーの値上は消費者側の強硬なる反對を押し切つて行はれたものであるが然し價格の引上政策は五月と六月に多量の注文があつた爲め説明がついた。夏期後は市場靜穩となり屢々公認されざる割戻が交附される如き事態に在つた。

外國貿易の不況

概して佛蘭西の輸出貿易は不満足なるものであつて一九三三年の損益勘定に於ては多額の缺損を生じ即ち最初九ヶ月間に於ける數字は前年同期の七、五四三、〇〇〇法に對し八、一三五、三四四、〇〇〇法に達したのであつた、右の事態は佛蘭西に於ける經濟狀態の陰鬱なる光景を指示するものである然し少くとも鐵鋼の關する限りに於ては一九三三年の結果は豫期せる程不満足なものとは云ひ得ない。諸工場に於ては漸次困難なる事態に善處し、あらゆる方法により一般費を切下げたのであつた、故に一九三三年の會計年度は餘り多額

の損失を見ずして終り得るであらうと豫期されてゐる。

佛蘭西製鐵業勢一覽 (單位千噸)

年次月平均	鐵石	生鐵	炭	鐵銑	鐵合金	高爐數	鋼塊	輸	鐵銑	鐵合金	鋼	鐵銑	鐵合金	鋼
一九一三年	三、五八八	三三六	七五六	一九五	五八一	二五六	四・二	一一〇	九	一一	二七三	二一	二七三	
一九三〇年	四、〇四八	四二一	八三六	一三七	七八七	三八〇	一四・〇	二一	二一	三六	二五五	二〇	二五五	
一九三一年	三、二一三	三七七	六八三	九〇	六五二	二八三	七・四	二〇	二〇	一七	一八三	一七	一八三	
一九三二年	二、三〇〇	二七七	四六一	八一	四七〇	一六四	三・七	一四	一四	一七	一七五	一七	一七五	
一九三三年一月	二、三四六	三一六	四八八	八一	五〇四	一四二	三・〇	二一	二一	一七	二〇五	一七	二〇五	
二月	二、二六五	二九八	四五二	八二	四九五	一七二	八・〇	一六	一六	一七	二〇九	一七	二〇九	
三月	二、五七二	三二九	五二五	八五	五八六	一六〇	七・〇	一七	一七	一五	二一三	一五	二一三	
四月	二、三七五	三〇〇	五一六	八七	五五四	一九五	一三・〇	一六	一六	一五	二〇九	一五	二〇九	
五月	二、六三四	三〇七	五五五	九一	五九二	一九二	一〇・〇	一九	一九	一五	二三五	一九	二三五	
六月	二、五五五	三〇二	五五一	九二	五八五	二〇〇	五・〇	一九	一九	一六	二二四	一六	二二四	
七月	二、五八一	三二一	五七〇	九二	五八一	二〇八	七・〇	二一	二一	一六	二三四	二一	二三四	
八月	二、六六七	三三二	五六四	九一	五六五	二〇九	八・〇	一七	一七	一五	二〇七	一五	二〇七	
九月	二、六三八	三二九	五三八	九一	五五一	二〇六	一〇・〇	一五	一五	一五	一九四	一五	一九四	
十月	二、五九九	三三九	五三七	九〇	五二七	一九九	一二・〇	一〇	一〇	一五	一九八	一〇	一九八	
十一月	—	—	—	九〇	四八八	—	八・〇	一九	一九	一六	二一七	一九	二一七	
十二月	—	—	—	九〇	四九八	—	六・五	一九	一九	一五	二〇七	一九	二〇七	
平均	二、五二三	三二七	五二七	八九	五四三	一八八	八・一	一七	一七	一五	二〇七	一七	二〇七	

備考 一、一九一三年の生産高數字は現在領域の分

- 一、該炭の生産高は炭山に於ける分。此の外鐵鋼工場に於て毎年約三、五〇〇、〇〇〇噸を生産す
- 一、操業高爐数は年末又は月末現在數
- 一、輸出入の鋼には鋼塊、半製品、一切の壓延鋼材、フォーディング及び屑鋼を含む
- 一、輸出入の數字にはザール地方の分を含む
- 一、一九三三年十一月、十二月及月平均數字は譯者に於て記入又は訂正せるもの

(ホ) 白 耳 義

(年初に比し年末悪化する)

世界的不景氣の一特徴と云ふべき生産と分配との不均衡は一九三三年に於ける白耳義の鐵鋼業に甚大なる影響を及ぼした。

年初の事態は日支間に險惡なる戰爭氣分漲れるが爲め極東との取引比較的活況を呈せる結果可なり満足すべきものがあつたが間もなく日支間の紛擾熾むと共に突如輸出價格の急落を見るに至つた、加之南阿の磅加奈陀の弗に起因して一層輸出市場は混亂状態に陥つたのである。是等の事件發生と共に國際コンムトアを組織せんとする會商は圓滑に進行せず其の結果は消費者側の信用維持に不利の影響を及ぼしたのであつた。事態は亞米利加弗の下落に依つて更に悪化し而して最初此の影響は大して顯著ではなかつたが亞米利加が通貨膨脹論者の政策を採用するであらうと云ふ風評が傳へられた時、大陸の製造業者は亞米利加の競争に對應せんが爲め價格を引下げたのであつた。

競争の激甚

突起附コンクリートバー及びアングル等の鋼材に對し一割の値下げが行はれたが海外市場特に南米に於ては合衆國との競争激甚を極めた、故にコンムトアに於ては製造業者をして極東特に日本に於ける米國との競争を可能ならしむる價格を設定するの止むなきに至つた。然るに又他の方面にも新競争者の現はるゝものあり就中日本は其の尤なるものであつて、間もなく日本の鋼材特に線製品、釘等が歐洲市場に進出するに至つた。此の日本の競争は輸出價格と國內價格とに大差ある獨逸に於て屢々演ぜられたものである。

英國も亦機械、形鋼、橋梁材等に於て戰を挑んだが其の結果白耳義の國有鐵道は英國の商社と機關車、クランク軸の取引契約を締結するに至つた、伊太利も亦重量鋼材を提げて輸出市場に競争する所あつた。

斯の如く海外市場に於ける外國品との激甚なる競争は白耳義の工場をして生産費の切下と生産の合理化とを餘儀なくせしむると同時に輸出販賣シンヂケートの組織に對する多數生産業者の反對を解消せしむるに至つた。

輸出販賣シンヂケートを組織する以前に於て佛蘭西の製鐵組合、獨逸の製鋼組合の如き國內的團體の組織が必要であつた。結局「Cosidol」なる名の下に於て白耳義コンムトアが組織せられ四のシンヂケートに再分せられた、即ち形鋼、マーチャントバー、半製品、及び厚板薄板の四シンヂケートである。之れに亞いで國際販賣シンヂケートが六月一日に組織されたのであつた。

此の國際販賣シンヂケートの組織を概説すれば次の通りである。組織全體を統轄するものは國際鋼アンタントの重役會であつて生産に關する一切の問題に對し最後の決定を成す。シンヂケート其の者は實行委員會に依つて指揮せらるる而して本委員會には各國際團體の代表者各々三人を含み會長は Arbed 會社の Diendonne 氏である。

實行委員會の中央事務所は歐洲鋼アントの本社と同様ルクセンブルクに置かる。實行委員會は價格政策、支拂方法、シンヂケートと輸出商社間の關係、細則の解釋、理事會の構成及び割當等を含む一切の問題を決定す。各シンヂケートは理事會に依つて指導せらる、理事會は實行委員會の指圖に従ひ常務を取扱ふ。各國の團體は自國會員の販賣に對して責任を有す。各國際シンヂケートの文書記録は國際團體の一に依つて保管せらる。佛蘭西の團體は形鋼シンヂケートを、白耳義は半製品シンヂケートを、ルクセンブルクはマーチャントバー、シンヂケートを、獨逸は薄板厚板シンヂケートを擔當す。

各國に對する割當は一九二八年の後期から一九三二年の上半期に至る二十二箇月間のもの基礎として配分された。此の基礎に於て佛蘭西の團體と獨逸の團體とは他の團體に比し若干有利の地位に置かれた爲め此の兩團體はシンヂケート活動の最初二箇年中に於て或る割合を他の團體に委譲すべきことを定められた。

國際販賣シンヂケートと其の弱點

國際販賣シンヂケートの組合員を束縛する本契約の有効期間は一九三五年六月迄であつて尙ザール地方制度の改正を待つて實施されんとする懸案條款がある。販賣は若干の輸出商社並に製鋼所に所屬する販賣代理店の手依り行はる。此れが爲め多數の輸出商社の犠牲を招來せるが、これ即ち本シンヂケート弱點の一である。

販賣シンヂケートの組織に伴ひ統制に屬する鋼材の輸出價格は著しき値上りを見せた。例へば二吋ピレットは年初僅に一磅一九志の相場であつたが六月一日には二磅七志に引上げられ年末まで此のレベルを持續した。マーチャントバーは一月一日には二磅八志であつたが六月一日には三磅となり更に年末には三磅二志六

片に引上げられた。

白耳義及ルクセンブルクの製鐵業勢一覽 (單位千噸)

年次月平均	生 産		高 爐		輸 入		輸 出	
	白 鐵	鐵 鋼	鐵 鋼	鐵 鋼	白 鐵	鐵 鋼	白 鐵	鐵 鋼
一九一三年	二九四	二〇七	二〇六	二二二	四八	二六	一・四	一三〇
一九三〇年	四四七	二八三	二八二	二〇六	三三	二八	九・六	三四三
一九三一年	四一一	二六九	二六〇	一七一	二五	三〇	五・八	三一六
一九三二年	三七三	二三二	二三四	一六三	一七	一八	三・〇	二八五
一九三三年一月	三七九	二四九	二四五	一六六	一八	一七	三・〇	二七一
二月	三六二	二二五	二五八	一六七	一九	一八	二・九	三〇二
三月	三八三	二四六	二三〇	一七七	一八	一八	二・九	三〇二
四月	三六一	二三〇	二七〇	一七〇	一一	一三	三・三	三三四
五月	三八六	二五二	二三二	一七二	一一	一三	三・三	三三四
六月	三七六	二三〇	二三二	一五六	一一	一三	二・一	三一九
七月	四〇六	二二五	二二二	一五四	一一	一三	二・二	三一二
八月	三八五	二二三	二二五	一五四	一一	一三	二・二	三一二
九月	三七六	二〇九	二二二	一四〇	二〇	一〇	五・〇	二七〇
十月	三七七	二二〇	一九四	一四三	一四	一〇	二・三	二七五
十一月	—	二二六	二二二	一四四	一六	一一	三・五	二七〇
十二月	—	二二〇	二〇七	一五四	一二	一八	三・八	二六七
平均	三七九	二二一	二二七	一五七	一八	一六	三・一	二八三

備考 一、一九一三年の輸出入数字は白耳義の分のみ

一、輸出入の鋼には鐵鑄物及屑鋼を含む

一、一九三三年十一月、十二月及月平均数字は譯者に於て記入又は訂正せるもの

(へ) 伊 太 利

(一層嚴格なる管理下に來らんとする製鐵業)

一九三三年に於ける伊太利の鋼生産高は約百八十萬噸に達し前年生産高の約一三〇%、最高記録を印せる一九二九年生産高の約八四%、伊太利製鋼所全生産能力三百萬噸の六〇%に相當した。鉄鐵も増産して約五十五萬噸に達し前年生産高の一〇一%、年生産公稱能力の六八%、一九二九年生産高の七六%に相當した。

鋼生産高の増産に伴ひ壓延鋼材の産額も増加し昨年の生産高は約百四十五萬噸に達すべく即ち前年生産高の一二〇%、一九二九年生産高の七一%に相當した。

鐵合金も亦増加し昨年の生産高は約四萬八千五百噸見當で前年生産高の一七四%、一九二九年の九三%に達した。

鐵鋼の生産増加は屑鋼の使用量を増大し従つて屑鋼の輸入高は前年に比し増加した。最初八箇月間の屑鋼の輸入は前年同期の三一五、〇〇〇噸に對し三七四、八〇〇噸を算した。屑鋼の需要増加は昨年における屑鋼價格に強氣を招來するに至れるが然し著しい値上りは見せなかつた。

昨年最初八箇月間の鉄鐵の輸入は前年同期の三萬噸に對し三萬四千二百六十二噸に増加し鋼材の輸入は前年同期の十一萬噸に對し十三萬噸に達した。

シンデケートの自發的組織

伊太利製鋼業組建値の鋼材價格は前年のレベルと殆んど變る所なくたゞ二、三の鋼材が二乃至三%の値上りを見せたに過ぎなかつた。一九三二年政府の任命せる専門委員會は同年末に於て調査を完了せるが委員會に於ては前記組合の内容更新の必要を指摘すると同時に亦割當設定に關する計畫を提案した、故に本シンデケート即ち組合は一九三三年二月末に於て更新せられ満了期間を一九三七年末迄に變更した。前のシンデケートは強制的に組織されたものであるが新シンデケートの場合はそうではなかつた、然し政府は其の會商を成功せしめんが爲め或る程度の壓迫を試みたのであつた。本シンデケートの細則は未だ決定的に制定されざるが爲め、目下は前シンデケートと同一方針に則つて取扱はれてゐる。本シンデケートの外鋼管、鋼板、鉄力板、特殊薄板等の販賣を取扱ふ多くのシンデケートがあるが最近には又ポルトナットの販賣を取扱ふ新シンデケートも組織された。本年中に於ては伊太利の鐵鋼市場を一層有効に管理せんが爲め多くの合理的手段が講ぜらるゝものと見越されてゐる。多年鐵鋼業は自由競争状態の下に營業せるが最近の危機年間で、業者は、補助金又は關稅保護の形式に於て政府に援助を訴ふるの止むなきに至つた。今や自由競争制度は終りを告げたものと見做さるゝに至つた而して伊太利工業の完全なる改組の監督に政府を介在せしむる企てがある。

結局に於て憲法の改正となり下院に代るべき新機關が設置さるゝ事となるであらうが此の機關には農工商の代表者を含むであらう、本機關の機能の一は國家の生産を取締ることに在る。斯の如き手段は鐵鋼業に關し重大なる意義を有するものと見られてゐる。

(ト) 中 歐 諸 國

一九三〇年以來減産を續け來つた中歐の鐵鋼生産高は昨一九三三年に至り洪牙利を除き下降歩調を止むるに至つた。チエコスロバキヤの生産高増加は僅少であつたが一方波蘭の生産は著しく増加し又奥太利の生産状態は殆んど變る所なかつた。

チエコスロバキヤ

チエコスロバキヤの一九三二年に於ける粗鋼生産高は一九二九年に比し著しき減産を示し一九二九年生産高の三二%に過ぎなかつた、其の理由は世界市場の崩潰に起因して殆んど完全に頓挫を來せる輸出の不振に求め得る。一九二九年に於ける輸出貿易は生産高の殆んど五〇%、又一九三〇年に於ては五〇%以上に達したのであつた。

國內市場は輸出市場程ではなかつたが之れ亦著しく萎縮した。チエコスロバキヤ國內市場に於ける販賣高の減少は建築業活動の著しい減退と鐵鋼を使用する製造諸工業の仕事の缺乏に原因するものであつた。然るに昨一九三三年中に於ては事態好轉し粗鋼の生産高は前年に比し約二割を増加したこれは夏期から年末にかけての増産である。輸出貿易に於ても亦九月以降復活の徴を示した。一九二九年から一九三一年迄の間に於て大量の鐵鋼材を引渡した後殆んど中絶の姿にあつた對露貿易は一九三三年の後半に至り若干復活した、即ち十月迄の鋼材輸出屯數は僅に一萬噸程度に過ぎなかつたが十月から十一月の中旬にかけての露西亞からの注文は「ウイトコウイス」一工場の受けた分のみにて鋼板八、七〇〇噸、ロール六、五〇〇噸に達した。年末の展望は年初よりも更に有望であつた。鐵鋼業及び其他の企業に於ける投資は今尙大いに制限されてゐる。

十一月一日からカルテル管理法が實施されたが其の結果に關して意見を詳述することは今の處不可能である。價格を切下げんとする政府の努力は、購買者側の發注手控を招來してゐる。チエコスロバキヤは今尙一、三の國際カルテルに加入してゐる、即ち IRMA (國際軌條製造業者組合) I W V (國際線材シンヂケイト) IWECO (國際ワイヤー輸出會社) 等の會員である。

波 蘭

波蘭昨年の生産高は著しく増大し前年に比し約五割を増加した。輸出獎勵及び輸出取引に對する國家保證等の形に於て政府の援助を得たが爲め、露西亞からの大量注文に應ずることが出來たのであつた。昨年中頃迄に於て、國內取引の増大を見たるのみならず、輸出高は前年同期に約三倍した。波蘭の製鐵製鋼所は國際カルテルの會員ではないが自國內に於ては聯合してシンヂケイトを組織してゐる。波蘭にはチエコスロバキヤ同様カルテルを管理する法令がある。然しながら今迄の所では一般状態に何等の變化を與へてゐない。

奥 太 利

昨年上半年中奥太利の鑄鐵爐は一時火を消してゐたが其の後作業を開始した、そして月次生産高は夫々前年の同期に比し増加して居つた、然し總體の作業能率としては全能力に對し尙遙に低率であつた。粗鋼の生産高も亦増加した。九月の交事態好轉し鋼の生産高は能力の五〇%位になつた。

洪 牙 利

洪牙利に於ける生産は今尙引續き減少しつゝある、そして世界市場相場が極めて低位にある爲め輸出取引

の活動を制限するの止むなき事態に在る。現在の粗鋼生産高は一九二九年の三〇％に過ぎない。埃太利及び洪牙利は國際鐵鋼諸シンヂケートに加入してゐる。

三、合衆國

一九三二年はドン底不景氣の恐慌時として或は全國的銀行機能の麻痺時として又政府が實業に大いに干渉せる年であつた。然し鐵鋼業に關しては著しい回復の年であつた事も事實である。一九三二年の粗鋼産額は僅に一三、四六四、四〇二噸で一九〇一年以來の最低數字であつたが一九三三年の生産は殆ど二三、〇〇〇、〇〇〇噸に達した。増加割合は七一％で二五、四二九、〇〇〇噸を生産した一九三一年の數字には到達しないが長らく暗愴たる絶望状態に在つた斯業に一縷の光明を與へたのであつた。最悪状態は去つたが尙ほ混亂複雑せる經濟事情の中には危險が潜んで居る、値上りに刺戟された思惑買が生産者の受注噸數を増加せしめたことは言ふ迄も無く。

自動車工業の活況

一方鐵鋼消費者たる容器製造工業の鐵鋼購入は著しき増加を示した。一九三三年は衛生的包裝罐其他容器の生産増加が示す通り鋳力板の當り年であつた、又一九三三年は自動車工業の活況を示せる年であつた。合衆國及び加奈陀に於ける自動車の生産高合計は二、〇四八、〇〇〇臺で一九三二年の合計一、四三一、四九四臺に比し四三％大であつた。

三月に於ける銀行恐慌に對する大統領の鮮かな處理並に恐慌解消に伴ふ業務の復活は多量の購入延期の取

り消しとなり此れが爲め年末迄自動車の生産を繼續することが出來た。小賣商のストック整理並に新型に對する公衆の熱烈なる興味は將來に於ける自動車生産の殷盛を約束するものである。

斯業復活の一要素たるビール

製鋼業は又電氣冷却器其他の家具製造業者の需要増加により利益を得て居る。又禁酒法撤廢に伴ふビールに依る利益は鐵鋼を要する新設備並に新工場を意味するものであつて鋼製樽の製造取引増加を促したる外失はれたる市場を復活せしむるに至つた。

農業は過去に於ては製鋼工場にとりては貧弱な御得意先であつた。農具工場は金本位離脱に伴ふ農産物の價格騰貴に従ひ一時作業に活況を招來したが然し農作物と製作物との價格の懸隔が再び大となつた時再度線短の止むなきに至つた。

一九三三年の後半、農業地方に對する政府の資金配分は農民の線製品及び鐵器類購買高を増加し而して農具製作人は春季取引の好轉を見越し作業豫定表を改正するに至つたのである。

造船業は海軍契約に依り助けらる

昨年中造船業は總噸數一〇〇、〇〇〇噸以上二十一隻の軍艦建造注文に依つて大いに賑つた。海軍省は亦此の外十六隻の軍艦注文を海軍造船所に發した。壓延工場は最後の四半期に於て此等軍艦に對する鋼材の壓延を開始せるが此のプログラムは一九三四年中繼續されるであらう。所要の棒鋼、厚板、形物並に薄板の外比較的多量の不錆鋼もあつた。

鋼材輸出の増加

鐵鋼輸出貿易は弗下落の爲に著しき膨脹を示した。一年前合衆國が他の二、三の國と共に金本位維持國の一つであつた際には輸出は著しく阻止され輸入は増加一方で經濟攪亂の要素であつた。然し乍ら今日の事情は逆轉して以前外國競争者が占めて居た競争上の利益を目下は亞米利加の生産者が享有しつつあるのである。一九三三年最初十ヶ月間の合衆國鐵鋼輸出高は一九三二年同期の四八四、四八二噸に比し一、〇〇八、五〇七噸に増加した。増加の大部分はスクラップの積荷であつて一九三三年の數字は一九三二年の一六八、一六六噸に比し五九四、七六三噸に増加してゐる。鋼製品の輸出増加は屑鋼に比し少額で最初十ヶ月の合計は前年の二五六、六五〇噸に對し三五四、五七一噸であつた。

建築其他建設工業の不振

鐵鋼業の主なる支柱である建築其他の建設工業の一九三三年に於ける活動は前年に比し明らかに退歩した。エフ、タブリユー、ドツチ會社のロッキー山脈東方三十七州の分に關する報告に見る如く一九三三年最初十一ヶ月半の建築計畫の經費は一九三二年中の合計一、三五一、〇〇〇、〇〇〇弗に對し一、一七一、三六六、一〇〇弗であつた。昨年着手された建築の殆ど六〇％は合衆國政府の投資に係はるものであつた。

一般商業の優秀なるパロメーターたると共に運送業者購買力の良指標と見做さるゝ昨年の鐵道荷役は僅かの増加を示したのみである。十二月九日迄の積荷車輛數は合計二七、四二八、三八九輛で一九三二年同期は二六、七六四、三七二輛であつた、尙ほ一九三一年の數は三五、六二六、四五三輛であつた。

豫期されたるが如く昨年鐵道は鐵鋼業に對し殆ど何等の援助を與へなかつた。軌條の生産は一九三二年の

破格の低レベルに比し約三％を増したに過ぎず又貨車の注文數は前年の一九六八及び一九二九年の一一一、二二八臺に對し僅に一九六四臺に過ぎなかつた。尙機關車の購入數は僅に三四臺（一九三二年には一二臺、一九二九年には一二二臺）であつた。

イーストマン氏に對抗する軌條製作者

四大製鋼會社と聯邦輸送調停官たるジョセフ、ビー、イーストマン氏との軌條價格に關する論争は昨年鐵鋼市場に劇的シーンを展開した。

九月中調停官は若し工場が噸當り三五弗以下に値下するならP.M.V.よりの借入金に依る資金で約八〇〇、〇〇〇噸の軌條を注文せんことを製作者側に提案した、此れに對し軌條製作者社は四〇弗から三七弗七五仙に値下せんことを主張したがイーストマン氏の拒絶する所となつた。氏は又製作者側が三五弗で引受くることが出来ないとすれば生産費を明示せんことを求むる所であつた。論争はホワイトハウス會議で解決され噸當り三六弗三七半仙の價格で協定された。

鋼材購入者中の三大工業

鐵道、建設、並に自動車工業は一九二二年より一九三二年に至る間に生産された一切の鋼材の四五％乃至五七・五％を購入せる鋼材購入者中の三大工業である。然し昨年中は右三者の何づれに於ても鋼生産の急激なる増加に匹敵する様な需要の増大を見せなかつた。最近の報道に據れば建築其他建設工事の活動は實際減退し又鐵道側の購入と鐵道の運搬は共に前年に比し僅少の増加を示したに過ぎない。自動車の生産は四三％増加したが鋼塊生産増加率の七一％に比較すれば遙かに少ない。其他油及び瓦斯工業に於ても何等需要の増

大を示す所なく只容器工業並に輸出に於て僅少の増加を示せるのみである。

刺戟された先物買

價格の趨勢、政府の貨幣政策並に製鋼業に對する不正競争防止法の制定は總て先物買付の刺戟となつた。本誌の調査せる鋼材の綜合價格は一九三三年四月十八日に於て封度當り一・八六七仙の低値に達した。三月の銀行恐慌は最初の四半期に於ける回復の芽を摘み取り此れが爲め鋼の日産額は三三、六九九噸に下り僅かに能力の一五・五%に過ぎなかつた。此の能率は一九三二年八月の一日三一、三六〇噸(能力の一四・五%)と云ふ沈滞期の生産高より稍々高かつたのみである。銀行の貸出停止は購買を掣肘し過去の契約に對する引渡しを妨害した。果ては銀行恐慌の解消並に金本位制の離脱と共に政府が通貨膨脹政策を採るであらうと云ふ懸念が一般に抱懷せらるゝに至つた。此の不安は買手の市場を賣手の市場に變形した。生産は急速に増加し又其後製鋼業に於ける不正競争防止法制定の形勢は購買に對しても同様の影響を及ぼした、これは價格のレベルを引上ぐることなくしては賃銀費を増加し得ないことが明かになつたからであつた。不正競争防止法施行前の契約により生産は増加し六月の生産率は能力の四五・九六%に七月は五八・九六%に達したが後者は昨年中の最高記録であつた。

積荷の急激なる増加

不正競争防止法施行前の大量契約は又ユー・エス・スチールコーポレーションの積荷に反影した。即ち三月の積荷は昨年最低數字で二五六、七九三噸であつたが其の後著々増加し七月には七〇一、三三二噸に達し一九三二年五月以來の最高數字を示した。八月の積荷は合計六六八、一五五噸で殆ど七月と同量であつたが

其後の積荷は十一月迄連續減少した。然し十二月の積荷は未だ統計を了らないが十月、十一月の何れよりも慥かに大である。

鋼材價格八・六%増加

鋼材價格に及ぼせる不正競争防止法制定の影響は本誌調査の一九三三年末の綜合價格(封度當り二・〇二八仙)と四月十八日の綜合價格(封度當り一・八六七仙)とを比較すれば大體判るであらう。増加は噸當り三・二二弗で即ち八・六%であつた。價格は騰貴したが生産費も又増加した。實際勞働事情が頗る不安定なる爲め製鋼業が其の賃銀費の増率に先ち其の収益の増加に成功するか否かは疑問である。

自然的刺戟に對する人爲的刺戟

政府保證の下に實施せんとする不正競争防止法其他の非常手段が斯業に與へたる人爲的刺戟は斯る手段を講ぜぬ場合よりも一層生産の増加を斯業に齎らしたか否か疑問である。英國の鋼塊生産高は季節的變化を別にすれば確かに増加した。一九三二年八月の三六一、五〇〇噸なる最低數字以來英國の生産高は増加一方であつた。亞米利加の生産は大増加を示したが寧ろ英國の生産増加の方がより健全であつた。

銑鐵生産増加五二%

一九三三年に於ける銑鐵生産高は鋼塊生産高と併行せず約一三、二〇〇、〇〇〇噸(一九三二年は八、六八六、〇〇〇噸、一九三二年は一八、二七五、〇〇〇噸)に達した。(此等の數字は銑鐵爐製鐵合金を含むも木炭

鐵を含まず)其の増加割合は鋼塊の七二%増加に比較して僅かに五二%に過ぎない。これは恐らく屑鐵消費の増大に起因する。昨年、の鉄鐵生産は三月に於て最低を示し日産僅に一七、四八四噸に過ぎなかつた。最高は八月で日産五九、一四二噸であつた。(鋼塊の生産高は七月に最高數字を示した)鉄鐵の生産は九月、十月、十一月を通じ減少したが十二月には鋼の場合ほど顯著ではなかつたが明らかに幾分増加した。

鉄鐵の価格は鋼材のそれに比較して一層低レベルに落ちたが反撥は鋼材よりも迅速であつた。本誌の鉄鐵綜合価格は第一四半期中、噸當り一三・五六弗で明らかに、バーミンガム地方の分を除き實際生産費以下であつた。大抵の中心地に大量の鉄鐵がストックされ各生産地方に於ける販賣者間の競争は激甚であつた。外國鉄鐵も亦大西洋沿岸地方では安値で提供された。然るに第二四半期に於ける需要の復活と共に鉄鐵の相場は強氣を呼び其後綜合価格は着々昇騰し十二月には噸當り一六・九〇弗に上つた。噸當り三・三四弗即ち二四・六%の増加は鋼材価格に於ける八・六%の増加より遙かに大であつた。

スクラップ價格幅廣く變動す

スクラップ價格は一九三三年中幅廣く變動せるが通例鋼塊生産高の變動に反影してゐる。本誌の綜合屑鋼價格は一月の六・七五弗の安値より八月には噸當り一二・二五弗に騰貴した。然し其の後鋼塊生産高の減少に伴ひ十一月には平均九・九四弗に低下した。同年最後の週には一一・〇八弗に騰貴した。スクラップの販賣人及び製造人はワシントンに於てインフレ政策採用傾向ある爲め最近屑鋼の販賣を一層嫌ふ様になつた。

大西洋沿岸に於ける輸出運動は繼續しつゝあるが此の捌口は常に市場沈滞の惱みの基となるストック防止に大いに役立つた。(合衆國の項一九三四年一月四日アイアンエージ記事抄譯)

昭和八年歐洲輸出價格

F. o. b. Ports of Shipment
British Prices in Pounds Sterling Per Gross Ton
at current rate of exchange

英國

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
PIG IRON												
Foundry, No. 3, Middlesbrough	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6	£ s d 2-18-6
Basic, Middlesbrough	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0	2-14-0
Hematite, East Coast	2-19-0	2-19-0	2-19-0	2-19-0	2-19-0	2-19-0	2-19-0	2-19-0	2-19-0	3- 0-0	3- 0-0	3- 0-0
SEMIFINISHED STEEL												
Billets	4-17-6	5- 0-0	5- 0-0	5- 0-0	5- 0-0	5- 0-0	5- 0-0	5- 0-0	5- 2-6	5- 5-0	5- 7-6	5-10-0
Wire rods	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-10-0	7-16-0
FINISHED STEEL												
Standard rails	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0
Merchant bars	6- 5-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-10-0	6-12-6	6-13-6	6-15-0	6-15-0	6-15-0	6-15-0
Structural shapes	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6	7- 7-6
Plates, ship, bridge and tank	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8- 5-0	8- 5-0	8- 5-0	8- 5-0	8- 5-0	8- 5-0	8- 9-0	8- 0-0
Sheets, black, 24-gage	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-10-0	8-12-6	9- 0-0	9- 0-0	9- 0-0	9- 5-0	9- 5-0	9- 5-0
Sheets, galvanized, 24-gage, corrugated	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-12-6	11- 0-0	11- 0-0	11- 0-0	11- 5-0	11- 5-0	11- 5-0
Hoops and bands	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0	7-15-0
Plain Wire, base	9- 5-0	9- 5-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	8-15-0	9- 0-0	9- 5-0
Galvanized wire, base	11- 0-0	11- 0-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-10-0	10-15-0	11- 0-0
Wire nails, base	11- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0	12- 0-0
Tinplate, base box 108 pounds	0-16-0	0-16-0	0-15-9	0-15-9	0-16-0	0-17-0	0-17-3	0-17-0	0-16-9	0-16-9	0-17-0	0-17-0
Ferromanganese *	\$68	\$68	\$68	\$68	\$68	\$68	\$68	\$82	\$82	\$82	\$82	\$82

* Delivered Atlantic Seaboard duty-paid.

Continental Prices in Gold Pounds Per Metric Ton
F. o. b. Channel or Northern Sea Ports

大陸

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
PIG IRON												
Foundry, Silicon 2.50-3.00	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-14-0	£ s d 1-15-0	£ s d 1-16-6	£ s d 1-16-6
Basic bessemer	1- 7-0	1- 7-0	1- 7-0	1- 8-0	1-10-0	1-10-0	1-10-0	1-10-0	1-10-0	1-10-0	1-10-0	1-10-0
SEMIFINISHED STEEL												
Billets	2- 0-0	2- 1-0	2- 2-0	2- 3-0	2- 5-0	2- 7-0	2- 7-0	2- 7-0	2- 7-0	2- 7-0	2- 7-0	2- 7-0
Wire rods	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0	4-10-0
FINISHED STEEL												
Standard rails	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0	5-10-0
Merchant bars	2- 7-6	2- 8-6	2- 8-6	2-10-0	2-16-0	3- 0-0	3- 0-0	3- 0-0	3- 0-0	3- 0-0	3- 2-6	3- 2-6
Structural shapes	2- 1-0	2- 1-6	2- 2-6	2- 5-0	2-10-0	2-15-0	2-15-0	2-15-0	2-15-0	2-15-0	2-17-6	2-17-6
Plates, 5 millimeters	2-19-0	3- 2-6	3- 5-0	3- 9-0	3-15-0	3-18-6	3-18-6	3-18-6	3-18-6	3-18-6	4- 1-0	4- 1-0
Sheets, black, 24-gage	5-13-6	5-15-6	5-16-6	5-17-6	5-18-0	5-18-0	6- 2-6	6- 1-3	6- 0-0	6- 0-0	6- 0-0	6- 0-0
Sheets, galvanized, 24-gage, corrugated	6-15-0	6-15-0	6-12-6	6-12-6	6-13-9	6-15-0	7- 5-0	7- 5-0	7- 5-0	7- 5-0	7- 5-0	7- 5-0
Hoops and bands	3- 9-6	3- 9-6	3-10-0	3-11-0	3-12-6	3-12-6	3-12-6	3-15-0	3-15-0	3-15-0	3-15-0	3-15-0
Plain wire base	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6	5- 7-6
Galvanized wire, base	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0	6- 6-0
Wire nails, base	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0	5-15-0

スクラップ價格は一九三三年中幅廣く變動せるが通例鋼塊生産高の變動に反影してゐる。本誌の綜合屑鋼價格は一月の六・七五弗の安値より八月には噸當り一二・二五弗に騰貴した。然し其の後鋼塊生産高の減少に伴ひ十一月には平均九・九四弗に低下した。同年最後の週には一一・〇八弗に騰貴した。スクラップの販賣人及び製造人はワシントンに於てインフレ政策採用傾向ある爲め最近屑鋼の販賣を一層嫌ふ様になつた。大西洋沿岸に於ける輸出運動は繼續しつつあるが此の捌口は常に市場沈滞の悩みの基となるストック防止に大いに役立つた。(合衆國の項一九三四年一月四日アイアンエーヂ記事抄譯)

昭和八年合衆國鐵鋼國內價格

Base or furnace, unless otherwise specified.

Scrap is delivered to consumers.

	Jan.	Feb.	March	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.
PITTSBURGH												
Bessemer Pig Iron, delivered	\$15.76	\$15.76	\$15.76	\$16.26	\$16.66	\$17.26	\$17.86	\$18.26	\$19.26	\$19.26	\$19.26	\$19.26
Basic Pig Iron, delivered	14.00	14.00	14.00	14.00	14.40	15.00	15.60	16.00	17.00	17.00	17.00	17.00
No. 2 Foundry Pig Iron, delivered.....	15.76	15.76	15.76	15.76	16.16	16.76	17.76	17.76	18.76	18.76	18.76	18.26
Malleable Pig Iron, delivered	14.50	14.50	14.50	14.50	14.90	15.50	16.10	16.50	17.50	17.50	17.50	17.50
Bessemer Ferrosilicon, 10 per cent (Jackson county base)	20.50	20.50	20.50	20.50	20.50	20.75	22.40	24.65	27.00	27.25	27.25	27.25
Billets, Bessemer and Open-Hearth	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00	\$26.00
Sheet Bars, Bessemer and Open-Hearth	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00
Wire Rods	36.20	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	36.00
Furnace Coke, spot	\$1.75	\$1.75	\$1.75	\$1.75	\$1.75	\$1.86	\$2.40	\$2.75	\$2.50	\$3.25	\$3.75	\$3.75
Foundry Coke, spot	2.50	2.50	2.25	2.25	2.25	2.40	2.85	3.10	3.15	3.85	4.25	4.25
Structural Shapes	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.60c	1.70c	1.70c	1.70c
Plates	1.60	1.60	1.60	1.55	1.50	1.55	1.60	1.60	1.60	1.70	1.70	1.70
Bars	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.75	1.75	1.75
Cold-Finished Steel Bars	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
Strip, Hot-Rolled	1.45	1.45	1.45	1.45	1.55	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.75	1.75
Strip, Cold-Rolled	1.95	1.80	1.85	1.80	1.90	2.00	2.25	2.25	2.30	2.40	2.40	2.40
Steel Pipe, 1 to 3-inch, discount	67½%	67½%	67½%	71%	71%	71%	67½%	67½%	67½%	67½%	67½%	67½%
Standard Spikes	2.40c	2.40c	2.25c	2.25c	2.15c	2.15c	2.40c	2.40c	2.40c	2.40c	2.40c	2.40c
Wire Nails.....	\$1.90	\$1.85	\$1.85	\$1.85	\$1.85	\$1.85	\$2.05	\$2.10	\$2.10	\$2.10	\$2.10	\$2.35
Plain Wire.....	2.15c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.10c	2.20c
Structural Rivets.....	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25	2.35	2.50	2.50	2.50	2.60	2.75	2.75
No. 24 Hot-Rolled Annealed Sheets.....	2.05	2.00	2.00	2.00	2.00	2.10	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25
No. 9-10 Blue Annealed Sheets	1.65	1.60	1.55	1.55	1.55	1.65	1.75	1.65	1.70	1.75	1.75	1.75
No. 24 Galvanized Sheets.....	2.70	2.50	2.60	2.65	2.70	2.70	2.85	2.85	2.85	2.85	2.85	2.85
Tin Plate, base box	\$4.35	\$4.25	\$4.25	\$4.25	\$4.25	\$4.25	\$4.25	\$4.25	\$4.65	\$4.65	\$4.65	\$5.25
Heavy Melting Steel Scrap	\$ 8.35	\$ 8.35	\$ 8.75	\$ 9.90	\$11.65	\$11.65	\$12.70	\$13.75	\$13.00	\$12.45	\$11.65	\$11.50
Low Phosphorus Scrap	10.00	10.25	10.70	11.10	13.55	13.70	14.55	16.00	15.10	14.30	13.50	13.50
No. 1 Cast Scrap	8.55	9.00	9.00	9.00	10.10	10.40	10.65	10.60	10.60	11.20	11.00	11.00
CHICAGO												
No. 2 Foundry and Malleable Pig Iron	\$15.50	\$15.50	\$15.50	\$15.50	\$15.90	\$16.00	\$16.75	\$17.70	\$17.50	\$17.50	\$17.50	\$17.50
Southern No. 2 Pig Iron, Delivered	16.01	16.01	16.01	16.01	16.25	16.50	17.00	17.16	18.16	18.16	18.16	18.16
Lake Superior Charcoal Iron	23.04	23.04	23.04	23.04	23.04	23.04	23.04	23.04	23.54	23.54	23.54	23.54
Bars	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.70c	1.80c	1.80c	1.80c
Plates	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.65	1.75	1.75	1.75
Structural Shapes	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.65	1.75	1.75	1.75
Rail Steel Bars.....	1.50	1.45	1.45	1.45	1.50	1.50	1.50	1.50	1.60	1.70	1.70	1.70
Bar Iron.....	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	* 1.60	1.60	1.60	1.60
No. 24 Hot-Rolled Annealed Sheets.....	2.20	2.10	2.10	2.15	2.15	2.25	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35
Heavy Melting Steel Scrap	\$5.25	\$5.25	\$5.25	\$6.55	\$ 8.70	\$ 8.80	\$10.45	\$10.40	\$ 9.95	\$ 9.35	\$ 8.35	\$ 8.75
No. 1 Railroad Wrought Scrap	5.00	5.00	5.00	5.50	8.10	8.10	10.20	10.35	9.25	9.10	8.10	7.50
Rails for Rolling	8.00	7.75	7.95	8.50	10.25	10.25	11.15	11.25	11.25	11.10	11.25	10.25
Car Wheels, Iron	7.65	8.15	8.35	8.75	9.75	9.75	9.75	9.75	9.75	9.50	9.25	9.75
No. 1 Machinery Cast Scrap	5.95	6.00	6.20	7.15	8.75	8.75	9.90	10.50	9.85	9.25	8.00	8.50

* Beginning September, Terre Haute, Ind., base quoted; freight to Chicago 18 cents.

獨逸合同製鋼株式會社の沿革と將來 (第一報)

地方分權計畫詳報

The Iron and Coal Trades Rev.
December 8 and 15, 1933.

摘要

獨逸合同製鋼會社は一九二六年四月一日ドイツ・ルクサンブルク鑛業會社(以下略してD.I.社)、ゲルセンキルヘン鑛業會社(以下G.N.社)、ボツヒュムフェライン會社(以下B.V.社)、チツセン企業團(以下L企業團)、フェニックス鑛業會社(以下F.H.社)、フアンデル、ツイッペン製鋼會社(以下V.D.Z.社)並ライン製鋼會社(R.社)の出資に依り組織されたるものにして當時の總資本は八億萬麻克にして各社の資本割當は左の通りであつた。

G. K. 社	一、二〇、八〇〇、〇〇〇 麻克
D. I. 社	一、二〇、八〇〇、〇〇〇 ♪
B. V. 社	七、四〇〇、〇〇〇 ♪
L 企業團	二〇八、〇〇〇、〇〇〇 ♪
F. H. 社	一、八九、二〇〇、〇〇〇 ♪
R. 社	六八、〇〇〇、〇〇〇 ♪
V. D. Z. 社	一八、八〇〇、〇〇〇 ♪

當時の使役労働者数は十六萬人。石炭生産能力は三七、二〇〇、〇〇〇 吨、鉄生産能力は九、〇〇〇、〇〇〇 吨粗鋼生産能力は七、九〇〇、〇〇〇 吨であつた、爾來同社は獨逸鐵鋼全生産高の約半數を生産し來つたが

今回合同を更に合理的に改組せんが爲め本合同會社（即ちフェライニグテシュターウエルケ）及び前記の G. K. 社、P. H. 社並 V. D. Z. 社の四社重役會議に於て豫め改革に付協議せる結果、昨年十一月二十九日の總會に於て左の如く決定を見た、即ち前記四社の内三社の全財産を G. K. 社へ移動することになった、各社株の交換條件は次の通りである。

合同製鋼會社の一般株主は同社株の額面價格三千麻克に對し G. K. 株二千麻克を受け、P. H. 社の一一般株主は同社株五千麻克の額面價格に對し四千麻克の G. K. 株を受け、V. D. Z. の社外株主は同社株額面價格三千麻克に對し五千麻克の G. K. 株を受けることになった。

G. K. 鑛山會社は合同後、以前の合同會社の名稱を繼承し其の所在地をデュツテルドルフ市に移し、舊株二億五千萬麻克及優先株千三百萬麻克より成れる從來の資本金を他三社の全財産引受の爲め増資することになった。

新合同會社の全資本は五億六千萬麻克に減資せられ之に公稱積立金七千六百萬麻克を加へる筈である。尙合同會社所屬各社を集團的に分離する事に就ても諒解が成立し、幹部は是等の會社を企業會社の形式を有し法律上獨立せる諸社に分すべき權能を附與せられた。

新合同會社は、(一)主體企業と有機的に結合せる關係事業、(二)販賣諸會社、(三)其他の傍系事業及び(四)企業會社より成立つて居る。

新合同會社には配當權票決權を有する資本として定めたる五億六千萬麻克の外にゲルセンベルグ對米借款擔保としての合同製鋼會社株一億二千萬麻克がある。これは新合同會社の收益勘定より除外され豫備株として存在し責任期間經過後は自然回收せらるゝ筈である。

總括的に見れば從來公稱資本總計十二億麻克に達し約一億八千萬麻克の積立金を有せる本大會社は組織改革に依り其の資本を約四五%に切下げ積立金も亦約一億麻克以上の減額を見ることになった、而も資本切下にも拘らず優秀なる新企業設備を併有する事となる爲め責任資本に對する収益能力の改善程度は三對二、或は二對一の資金切捨に相當するものと考へられて居る。尙販賣高は最近増加し新合同會社の資本金は一ヶ年に一回轉し得るものと見られて居る。企業設備の平均利用率は新規設備を除外して三五乃至四〇%と發表せられ更に増率を續けつゝある。要するに新形式の本合同會社は一持株會社と一連の工場團體より成立し從來の中央集權制度を地方分權制度に變改せんとするもので旺盛ならんとする景氣に向つて一步を先んじたるものと見られて居る。

以上は次に示す譯文の閲讀に便せんが爲め補筆として他の資料に依り附記せるものなり(譯者)

一九三三年十一月二十九日獨逸合同製鋼會社 (Vereinigte Stahlwerke) は會社の組織改造計畫承認の爲めエツセンに於て臨時總會を開催した。開會に當り議長 Dr. A. Vogler 氏は合同製鋼會社創立の事情並に歴史を述べて組織改造計畫概要の序言とした。

同會社は資本の缺乏、内國貿易の著しき縮小及び輸出貿易に發生せる激甚なる競争の結果獨逸の主なる製鋼會社が直面せる經濟上の困難打開の爲め一九二六年に創立されたものである。當時の新會社を構成せる製鋼所は T 企業團 (Thyssen Group) P. H. 社及び V. D. Z. 製鋼所並に G. K. 社、D. L. 社、B. V. 社並に製鋼所であつた。本合同會社は R. 社の鑛山關係事業及 G. K. 社のモノポール炭坑並に其他若干の炭坑及び鑛石、ポタン鑛山の採掘利權を除き構成會社の一切の製鐵製鋼所の管理を引繼いだ。新會社には十二の獨立會社を包含した。此れより先き關係諸事業は頗る困難なる事態に當面して居つた。此の事態は合同製鋼

會社の生産數字に據り看取することが出来る即ち一九二六年最初の數ヶ月間合同會社所屬の炭坑は一日當り平均六七、〇〇〇噸の生産を示したが一方鋼生産高は一日平均一、〇〇〇噸乃至一、〇〇〇噸であつた。其の後の繁榮期たる一九二八年——一九二九年の石炭の平均一日の生産高は一〇〇、〇〇〇噸の平均はより以上に悪化し經濟竝に産業組織に及ぼせる影響は豫想以上に重大なるものがあつた。最悪月の石炭生産高は一日四〇、〇〇〇噸鋼生産高は僅に五、四〇〇噸に減退した。

斯の如き比較的短期間に於ける作業状態の顯著なる變動竝に一九二五年——二六年の恐慌時に續く一九二八年——三〇年の一時的回復、これに續く一九三一及一九三二年の記録的不景氣は自然合同製鋼會社の設立と共に着手された廣汎なる合理化計畫の遂行を甚敷困難ならしめた。五年乃至十年の期間に於て組織の漸進的合理化、參加諸工場製品の標準化及び重複工場の廢止等遂行せんとする計畫が企圖せられ同時に個々の工場の經濟的、地理的及び技術的相互の關係に就て細心の注意が拂はれたのである。合同に依り多數の炭坑は四八より二五に又製鐵鋼工場は一四五より六六に漸次減少された。一九二六年より一九三三年に至る期間に遂行された集中程度の詳細は第一表に示す通りであつて本計畫に依り齎らされたる根本的變化を明瞭に示す。

第一表 自一九二六年至一九三三年合同製鋼會社製産單位の集中

製産單位	單位數		會社數	單位數		會社數
	立	當		一九三	三	
錳鑛爐工場	二三	八	八	九	五	
平爐工場	二〇	八	八	八	六	
棒鋼及形鋼工場	一七	八	八	一〇	六	

フープ工場	七	五	三	三	三
線材工場	七	四	四	二	三
薄板工場	一三	六	六	六	二
チニュープ工場	八	四	四	三	一
鍛鋼工場	八	六	六	四	三
鐵鑄物工場	一一	六	六	六	一
鋼鑄物工場	一〇	六	四	四	一
製線工場	九	五	三	四	一
鋸力板工場	三	三	三	一	一
車輛其他工場	六	五	三	一	一
機械工場	三	三	三	三	一

本合理化計畫は出來得る限り工場の廢止に必然的に伴ふ解雇を最小限度に止むる様加減された従つて廢止された若干工場の爲め新活動が案出されたのであつた。

管理上の組織方面に就て見るに組織の單位は合同體の管理を單純ならしめる様に構成された。即ち總ての炭坑はエツセンに於ける中央管理の下に四團に分たれた。錳鑛爐工場や製鋼工場は數團に組織され各國は適當なる地方的中心より統制された。例へば製線工場はハムより管理され又ジールランド錳鑛爐及び薄板工場はジーンより管理された。比較的大工場の中央集權竝に組織改造に關し特長として見るべきものは熟練者の維持及び老朽者に代る新補充者の完全なる訓練に對する考慮である。これは近來工場の作業及び管理の兩方面に就き特に複雑な問題が伴ひ勝なので従來適當と考へられて居た技術及び管理上の訓練を以てしては最早不十分で今後は餘程の専門的訓練が必要とされて來たからである。

中央管理は或程度の利點を持つ事を示し得たが然し新地方分權計畫に於ては構成工場の各主腦者に全責任

を與へることになつて居る何となれば各工場主は斷定を行ふに最も都合よき地位に在り同時に各自の工場の特性に就き十分なる考慮を與へ得るからである。前述の地方分権の利益即ち各構成工場の特性の維持、各工場主に對する行動上の全責任に對する制限並に移讓及び熟練者の保持等は別として今回考案された地方分権計畫には同じ程度に重要な他の利益がある。經驗上中央集権は各特殊地方の自然の事情に叶つた健全なる經濟的並に産業的發展を妨ぐるものである。中央集権當事者の到達せる決論は屢々關係地方の利益と相反し時としては地方管理と極めて重大なる撞着を來したものがあつた。此等の困難は將來地方管理機關（其の活動は該地方のみに限定されるであらう）に依り團體を統制する事によりいくらか救済されるであらう。選定されたる中心地は Düsseldorf, Duisburg-Hamborn, Mülheim-Ruhr, Essen, Bochum, Witten, Dortmund, Ham 及び Siegen である。

組織改造計畫

將來の合同製鋼會社は單に一持株會社と多數の工場團體より成立する事にならう。持株會社の職務は各團體間の協同動作を促進し全般的の經濟政策を統制し且つ工場の經營を統一すると共に凡ての一般的財政問題を検討し又は調査の結果を吟味し必要に應じて之を適用し或は又一切の課税並に輸送問題を處理すると同時に原價計算及び統計事務に従事し又新工場の建設並に現在工場の擴張を統轄することに在るであらう尙原料供給の統制特に從來の如く鐵鑛石の購入を統制するであらう。持株會社の有する上記の一般的權力を別にすれば構成團體の各々は完全なる法的獨立體として組織されるであらう。此等團體間の作業上の聯絡に關する豫備的協商は既に順調に進行して居る。新合同製鋼會社構成諸團體の名稱、資本、能力及び産額を示せば第二表の通りである。（諸團體の名稱には僅少の變化があつた。）

會社名	1933年10月	
	年	日現在
	中期	人員
Gelsenkirchen BerBau A.-G.	41.4	44,000
Aug. Thyssen-Hütte A.-G.	32.9	12,000
Dortmund-Hoerder Hüttenverein A.-G.	47.2	10,000
Bochumer Ver. für Gussstahlfabr. A.-G.	41.2	9,000
Deutsche Eisenwerke A.-G.	31.0	7,500
Deutsche Röhrenwerke A.-G.	39.2	7,500
Hüttenwerke Siegerland A.-G.	61.0	8,000
Westf. Union A.-G. für Eisen u. Draht	44.0	2,700
Bandeisenwalzwerke A.-G.	63.3	900
“Wurag” Eisen u. Stahlwerke A.-G.	74.7	1,000
Siegener Eisenbahnbedarf A.-G.	15.4	300
Dortmunder Union Brückenbau A.-G.	27.0	600

將來の合同製鋼會社は單に一持株會社と多數の工場團體より成立する事にならう。持株會社の職務は各團體間の協同動作を促進し全般的の經濟政策を統制し且つ工場の經營を統一すると共に凡ての一般的財政問題を檢討し又は調査の結果を吟味し必要に應じて之を適用し或は又一切の課税並に輸送問題を處理すると同時に原價計算及び統計事務に従事し又新工場の建設並に現在工場の擴張を統轄することに在るであらう尙原料供給の統制特に従來の如く鐵鑛石の購入を統制するであらう。持株會社の有する上記の一般的權力を別にすれば構成團體の各々は完全なる法的獨立體として組織されるであらう。此等團體間の作業上の聯絡に關する豫備的協商は既に順調に進行して居る。新合同製鋼會社構成諸團體の名稱、資本、能力及び産額を示せば第二表の通りである。(諸團體の名稱には僅少の變化があつた。)

第二表 改造された合同製鋼會社の地方分権團體一覽表

會社名	資本金合計 (單位1,000,000馬克)	株式資本 (單位1,000,000馬克)	借入資本 (單位1,000,000馬克)	生産可能額 (單位百万馬克)	生産高		作業能率 %				1933年10月 1日現在 人員		
					1931年—32年		1932年—33年		1931年—32年			1932年—33年	
					上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期		上半期	下半期
Gelsenkirchen BerBau A.-G.	451	255	195	石炭 36 (シンデケート當)	14,300,000	15,300,000	41.5	37.8	43.8	41.4	44,000		
Ang. Thyssen-Hütte A.-G.	197	117	80	鋼	1,060,000	1,248,000	31.7	21.4	29.6	32.9	12,000		
Dortmund-Hoerder Hüttenverein A.-G.	83	48	35	鋼	689,000	902,000	31.3	37.6	43.1	47.2	10,000		
Bochumer Ver. für Gussstahlfabr. A.-G.	62	37	25	鋼	366,000	431,000	27.3	33.7	30.6	41.2	9,000		
Deutsche Eisenwerke A.-G.	45	27	18	銑鐵	251,000	248,000	31.0	31.8	31.1	31.0	7,500		
Deutsche Röhrenwerke A.-G.	90	54	36	チューブ	137,000	176,000	24.6	30.0	31.4	39.2	7,500		
Hüttenwerke Siegerland A.-G.	47	28	19	薄板	193,000	282,000	30.4	46.8	51.6	61.0	8,000		
Westf. Union A.-G. für Eisen u. Drahtind.	14	8	6	ワイヤー	102,000	109,000	42.0	39.6	43.2	44.0	2,700		
Bandeisenwalzwerke A.-G.	7	4	3	フープ	48,000	70,000	36.7	42.5	54.2	63.3	900		
“Wurag” Eisen u. Stahlwerke A.-G.	3	2	1	一期ノ總賣上高 馬克 20,000,000	8,800,000	12,000,000	36.5	51.4	44.9	74.7	1,000		
Siegener Eisenbahnbedarf A.-G.	2.5	2	0	馬克 15,000,000	2,100,000	1,600,000	13.7	13.7	6.3	15.4	300		
Dortmunder Union Brückenbau A.-G.	1	2	—	馬克 14,000,000	2,400,000	3,700,000	17.4	17.5	26.4	27.0	600		

最大團體は鑄鐵爐に附隨の炭坑をも所有し中央事務所をエッセンに置き Gelsenkirchener Bergwerks, A.-G. の名稱を繼承する。本會社はライン・ウエストフリア石炭シンヂケートより三六、〇〇〇、〇〇〇噸の配給即ち全割當の約二二%を受けて居る。其の資本合計は四五一、〇〇〇、〇〇〇馬克に上るべく内二五五、〇〇〇、〇〇〇馬克は株式資本にして残りは合同製鋼會社長期弗借入金の中本會社に充當さるゝ部分に依りて支辨さるゝであらう。

在ドルトムント鑛石及び原料株式會社たるシユタールユニオン(“Stahlunion,” Erz und Rohstoffbetriebsgesellschaft m. b. h.) は石炭以外の一切の原料供給を取扱ふ。此等二團體は三つの鑄鐵爐會社を伴ふ。三社とは即ち August Thyssenhütte A.-G. (名稱不變) 舊 Hoerder Poenix works 及び Dortmunder Union の主要工場を含む所の Dortmund-Hoerder Hüttenverein A.-G. 及び鋼鑄物製造に従事する Aktiengesellschaft Bochumer Verein である。

ンボルンの August Thyssenhütte A.-G. はライン流域に於ける一切の工場即ち元の Thyssen 工場 Ruhrort-Meiderich 工場 (目下休業) Niederrheinische Hütte, Vulkan 製鐵所及び Meiderich 鑄鐵爐を包括する。此等五工場は新團體の製鋼能力を年間四、〇〇〇、〇〇〇噸迄引上げるであらう。(一九二七年——二八年の繁榮期に於ける實產高) 本團體の資本は約二〇〇、〇〇〇、〇〇〇馬克で推定能力に於ける鋼一噸當り五〇馬克に相當するが此の割合は無論此の大きさの新式製鋼工場の建設に對しては低率に過ぎる。然し製鋼高一、二〇〇、〇〇〇噸(能力の三〇%)と云ふ昨年の惡結果を考慮する時には其資本は生産高及び總賣上高に對し合理的な割合にある事が了解されるであらう。

Dortmund-Hoerder Hüttenverein A.-G. は鋼一、〇〇〇、〇〇〇噸の生産能力を有し又 Bochumer Verein

は年間一、二〇〇、〇〇〇噸の生産能力を有する。

前記製鋼所生産品の最大消費者は Düsseldorf, Mülheim Ruhr, Bochum 及び Dinslaken に於けるチューブ工場を含む所の在ツェツセルドルフ獨逸チューブ會社 (Deutsche Röhrenwerke A.G.) とジーゲン地方に於ける一切の合同會社所屬の製鋼工場並に壓延工場を含む在ジーゲン Hüttenwerke Siegerland A.G. 及び Hamm, Lippstadt, Iburg に於ける製線工場を包括するハムのウエストフリア鐵、線製品製造會社 (Westfälische Union A.G. für Eisen und Drahtindustrie) の三者である。不景氣期間と雖も右の三大會社は年間五〇〇、〇〇〇乃至六〇〇、〇〇〇噸の半製品を要求した。各社の資本金は不景氣中と雖も資本金に對する配當を支拂ひ得る程度に決定されてゐる。

次の團體即ち Mülheim の獨逸製鐵會社 (Deutsche Eisenwerke A.G.) は鑄鐵及鑄物工場の兩者を包含して居るので特殊の地位を占めて居る。高級鋼製造用の鉄鐵は別として此の團體はあらゆる種類の鑄物鉄及び鑄物を製作す。本會社は又平時に於て鉄鐵合計八〇〇、〇〇〇噸の生産能力ある Friedrich Wilhelm-Hütte 及び Schalker Verein を包含する。

最後の第四團體は製品工場より成り立ちフーフ二一〇、〇〇〇噸の生産能力を有するフーフ製造會社 (Bandisenwalzwerke A.G.) 及びフーフより各種のチューブを製造し昨年二一〇、〇〇〇噸馬克の賣上高を示せる資本金三、〇〇〇、〇〇〇馬克の在 Hohenlimburg ウラン鐵鋼所 (Wurag Eisen und Stahlwerke) を包含す。又ジーゲンのジーゲン鐵道材料製造會社 (Siegener Eisenbahnbedr. A.G.) は主として鐵道材料及び貨車を製造し一方ドルトムンドのドルトムンド合同橋梁架設會社 (Dortmunder Union Brückenbau A.G.) は橋梁架設作業に従事するであらう。

此の團體を造るに際して各單位の組織は一定の生産計畫に基き作業し且各團體間の競争を最少ならしむるやう極めて嚴重なる境界が定められてゐる。競争が全く除去し得られぬ處では生じ得る競争の原因を最少ならしめて居る。此等の生産單位の外に尙ほ Ruhrgas A.G. Ruhrchemie A.G. 及び諸鑛山、石山、並に他の製鋼所、壓延工場等の如き團體外の會社との提携に當るべき一團體が組織せらるべきであらう而して此團體は生産單位團體の生産品を販賣する販賣機關であつてカールスルーヘの Raab Karcher G. m. b. H., ドルトムンドの H/A. Schulte, Eisen A.G., ヴァンノの Thyssen Eisen und Stahl A.G. 及びフランクフルト・アム・マインに於ける Thyssen-Rhein Stahl A.G. の如き石炭及び鐵販賣機關を含む。此の外提携を行ふべきものとしては住宅及び建築組合、重なる地地利鐵鋼所並にデュイスブルクのデマーク機械會社等がある。元の合同製鋼會社の資本組織が頗る複雑せる爲め新親會社及び獨立工場團體の構成に必要な資本改造の極めて錯雜なるは亦已むを得ない就中舊會社の重なる構成會社が互に株を保有し尙最近合同製鋼會社が親會社の任務として新團體及び會社に當然割當てねばならぬ多額の借款契約を締結せる關係上特に然りである。資本改造の内容は次の通りである。

合同製鋼會社の元の株式資本は約八〇〇、〇〇〇、〇〇〇馬克で内 V. D. Z. 社は二・五五%の株式を P. H. 團體は二四・九%を G. K. 社は三三・〇六%を保持し残りの三九・四九% (三〇五、七二五、〇〇〇馬克) は外部會社の持株である。合計一六、二〇〇、〇〇〇馬克の V. D. Z. 社の資本は P. H. 團體の所有する一五、〇五八、〇〇〇馬克及び外部の持株一、一四二、〇〇〇馬克 (七・〇五%) より成り一方 P. H. 團體の一、九一、五五四、〇〇〇馬克の資本は G. K. 社 (四七・三二%) と外部株主 (五二・六九%) とに岐たれてゐる。Gelsenberg の資本二五〇、〇〇〇、〇〇〇馬克中には他會社の所有に屬するものはない。

組織改造計畫に基き合同製鋼會社の資本總計は五六〇、〇〇〇、〇〇〇馬克に減少される而して構成會社相互間の所有株式は全く帳消しにされ又外部會社の所有する資本は或る協定制合に引下げられる事になる。此等外部會社の所有する株式交換の基礎は十一月三日の本誌に發表する所あつた。合併後現在の新合同製鋼會社の構成要素たる外部持株の實際保有高は二〇三、八一七、〇〇〇馬克、V. D. N. 團體の分は一、九〇三、〇〇〇馬克、P. H. 社の分は八〇、七四九、〇〇〇馬克又 G. B. 社の分は二五〇、〇〇〇、〇〇〇馬克（合併前と變化なし）となり合計五三六、四六九、〇〇〇馬克となる此の外 G. B. 社の在ベルリン・シーメンス團體の所有する額面價格一三、〇〇〇、〇〇〇馬克の優先株は普通株に變更せらるゝ筈である又他の協定制合に依り一〇、五〇〇、〇〇〇馬克の公稱資本が設けられる斯くして新合同會社の總計公稱資本は五六〇、〇〇〇、〇〇〇馬克となる。

エッセン炭鑛會社

新會社即ちエッセン炭鑛會社 (Essener Steinkohlenbergwerke A. G.) は公稱資本七〇、〇〇〇、〇〇〇馬克（平價換算三、五〇〇、〇〇〇磅）を有する G. K. 社（俗稱ゲルセンベルク（以下 G. B. 社）の純採炭作業を繼承する爲めに設立されたものである。本會社組織の詳細は七月七日、十四日及び十一月三日の本誌に發表する所あつた。本會社の先週發送せる廻文に就いて見るに會社は十一月二十九日より炭坑、骸炭及び副産物工場、ブリケット工場、土地建物、機械、原料品其他の財産を含む處の G. B. 社の採炭事業の全部を繼承せる事と十二月九日には會社登記簿に正式に登記せることを發表して居る。繼承された G. B. 炭坑は Helkules-Katharina, Ver Dahhauser Tiefbau, Ver, Pöttingsiepen, Carl Funke, Gottfried Wilhelm,

Oespel, Dorstfeld I/IV, Dorstfeld II/III, V/VI, Grillo I/II/III 及び Grimberg I/II/III 炭坑及び休坑 Victoria, Centrum IV/VI 及び Johem Deimelsberg を包含する。一切の權利、鑛區、約款、協定は新會社に引繼がれ G. B. 社は純然たる特殊會社となりエッセン會社は炭坑鑛山及び總べての附屬工場を操業し且つ G. B. に代りて以前 G. B. の加入せる一切のシンチケイト並に組合の會員となる。エッセン會社は十二月五日にラインウエストフアリア石炭シンチケイトに加入し其の石炭の販賣割當は八、五四九、〇〇〇噸と定められた而して營業所はエッセン市 Huyssen Allee 92/94, である。

將來の展望

組織改造後の合同製鋼會社將來の展望は昨年中、獨逸に於ける經濟及び産業狀態の著しき進展と本會社を構成する諸會社が昨年十二月月中に於て未拂利子、税金、社會政策諸費、原價銷却費等を殆ど完全に償ひ得たる事實より想像することが出来る。石炭、鋼生産高及び總賣上高は本年中著しき増大を示し炭坑は一九三二年——三三年會計年度の下半期に於ては前年同期に比し一割の高率を以て作業した。一方鐵鋼部門に於ては十月の壓延鋼材生産高は一九三二年の最悪月に於ける生産高の二倍に増加し昨年中工場の作業能率は三五乃至四〇%に増加した。賣上高は生産高の増加に應じて増大し十月の賣上高は一九三二年の最低月に比し約四〇%を増した。組織改造計畫は構成會社の總會に於て討議せられ満場一致を以て承認せらるゝに至つた而して同時に新合同製鋼會社の重役も選任せられたのであつた。

獨逸鑛山の大大合同 (第二報)

過般來交渉中であつたドイツ重工業界の左記四大コンツェルンの合同案は十一月二十九日の開催の四社聯合株主總會に於いて承認可決された。

- △合同製鋼會社 (Vereinigte Stahlwerke A.-G.)
- △ゲルゼンキルヘン鑛山會社 (Gelsenkirchener Bergwerke A.-G.)
- △フェニックス炭坑會社 (Phenix A.-G. für Bergbau und Hüttenbetrieb)
- △ファン・デル・ツイーベン及ウィッセン精鍊會社 (Van der Zypen und Wissen Eisenhütten A.-G.)

組織改造に至る迄ドイツ重工業界に於ては從來合同製鋼が最大のトラストとして重きをなしてゐた。同社は一九二六年五月初に有力大會社を結合し資本金八億マルク(平價約四億圓)を以て設立されたものであるが、この結果石炭、原鑛、動力、機械設備を自給する大組織を完成し縦斷的トラストとして國內市場を左右する有力會社となつてゐた。今回合同することゝなつた他の三社も合同製鋼の參加會社である。然るに一九二六年の結合は事實上合同ではなく參加會社は各々舊組織を解體して合同製鋼に參加したわけではなかつた。

例へばライン製鋼會社は鐵鋼業務に關しては全部合同製鋼に包含されたが、石炭竝にコークスの業務は別のコンツェルンに參加させてゐた。又G.F.社の如きは合同製鋼に參加せる傍ら他の諸會社を合併したりして廣汎な鑛山事業を兼營してゐた。

斯くの如く合同製鋼の組織は不徹底なものであつたので、經營上色々な缺陷が見られた。

先づ各參加會社が別の事業を兼營してゐる結果合同製鋼の事業収益は比較的少額に過ぎなかつた又參加會社の資本關係が錯雜し、P.H.炭坑會社はV.D.N.の株を九三%迄保有し、而もP.H.社の株中約四〇%はG.K.社が握つてゐた。この結果G.F.社が實際上合同製鋼で最も有力なる參加會社となり、合同製鋼の重役もG.F.社の鼻息を窺つて經營する有様であつたし、又不況の深刻化と共に業績も渺々しくなく既に昨年末頃から減資斷行の噂があつたのである。

一方ドイツ政府は昨年春頃から國內の有力大銀行、大企業をその支配下に於いてゐたが、合同製鋼には殆ど政府の支配は行届いてゐなかつた。所が其後政府はG.F.社の株を大部分買収したため俄然合同製鋼の實權を掌握するに至り更に完全に政府の支配下に置くため今回の組織改造及減資を斷行したものと解される。

新資本金 四社の資本金總額は十二億三千二百七十五萬四千マルクであつたが、合同により五億三千六百四十六萬九千マルクニ減資される。この資本金中ドイツ政府は曩にG.F.株買収により現在一億二千七百萬マルクを所有してゐるから凡そ二三%を支配するわけである。然し政府としては將來二六%を支配する積りであると言ふ。

經營大改革 減資と共に他方では經營上の大改革が行はれた。先づ各經營部門が整備され新しい特殊經營會社が設立される。一方鐵鋼業以外の各種企業とも密接な連絡を保ち一大事業合理化を遂げんとするものである。左に新合同製鍊株式會社組織内容を掲げる。

△經營諸會社

- 一、鑛山 ルール合同鑛山會社

- 二、精鍊會社 テイツセン精鍊會社、ドルトムント・ヘルデル精鍊會社、ボヒウム製鋼會社
- 三、製鐵會社 ドイツ製鐵會社、ドイツ鐵管會社、ジーゲルランド精鍊會社、ウエストフアーレン合同鐵鐵線會社
- 四、精製會社

△他の鑛山、原鑛、精鍊諸會社に参加 △商事會社石炭取引會社鉄鐵取引會社 △其他諸住宅會社各種工業會社に参加
(北海道石炭鑛業會報第二三二號所載)

獨逸合同製鋼會社、炭坑の配置 (第三報)

Iron & Coal Trades Rev. Jan. 12, 1934.

合同製鋼會社は去る一月一日より全炭坑並に會社の附屬工場を新 G. K. 社に讓渡せる旨公式に發表した。本社はエッセン市キルドルフストラッセ二番地に置かれた。炭坑事業は次の四團に細分される。

- ドルトムント團體 Adolf von Hansemann, minister Stein, Fürst Hardenberg, Zollen 1/3 及 2/4, Westhausen, Erin, Hansa, Tremonia, Kaiser Friedrich, Glückauf Tiefbau, Wiendahlsbank, Germania 1/4 及 2/3, Hörder Kohlenwerk (Schleswig and Holstein pits), 及 Teutoburgia 炭坑を含む。
- ボヒウム團體 Carolinenglück, Engelsburg, Bruchstrasse, Dannenbaum, Friedlicher Nachbar,

Prinz Regent, Hamburg 及 Franziska 炭坑を含む。

G. K. 團體 Bonifacius, Pluto, Zollverein, Graf Moltke, Holland, Nordstern, Rheinbe and Alma 炭坑及び Engers 骸炭坑を含む。

ハムボルク團體 Friedrich Thyssen 2/5, Friedrich Thyssen 3/7, 及 Wehofen 炭坑を含む。

Friedrich Thyssen 1/6, Friedrich Thyssen 3/7, 及 Wehofen 炭坑を含む
鑛石購買部、屑鋼及び耐火物供給部、鑛滓販賣支部及び製鋼會社の銕鑛爐及び製鋼工場用原料購買部はドルトムントに本店を有する Rohstoffhandel der Vereinigten Stahlwerke G. m. b. H. なる新會社に合併された、加ふるに二基の平爐一基の轉爐並に鑛物工場を有する製鋼所たるライン市エンゲルスの Concordia Hütte は Concordia Hütte G. m. b. H. と稱する獨立會社に變形された。此會社の資本は一〇〇、〇〇〇馬克にして内九九、〇〇〇馬克は合同會社に依り一、〇〇〇馬克は Menden 及び Schwerte 製鐵所に依り所有されて居る。

英印鐵鋼貿易とこれを巡る歐洲諸國の競争

印度及錫蘭に於ける英國一等商務官トーマス、アインスコフ卿の「一九三二——一九三三年英本國の對印度貿易の現狀並に將來」なる報告書中に次の事を指點してゐる。最近三ヶ年間に於ける印度の鐵鋼輸入總額は印度に於ける經濟的不況と購買力減退時に於ける地方産業の取引程度の減少を明かに指示するものであ

る。一九三〇—三一年の印度輸入總額は六一四、二〇六噸一九三二—三三年は三七一、〇三九噸一九三二—三三年三三二、三四五噸であつた其の低減の割合は一九二七—一九二八年の輸入總額が一、一九七、〇〇噸であつたのと比較して計り知られるであらう。昨年にて主として影響を蒙れる品目はビーム、溝形鋼、ガーダー、ビイラー、橋梁材等で此等は二〇、三八二噸を減じた。亞鉛引薄板は一は東ベンガルのツナサ麻植付地方不況の爲一は印度の該品生産増加の爲輸入は一、三七一噸を減じた。軌條、チエアー、繼目板は二、八五九噸を枕木及キーは二、二二二噸を棒鋼は三、三六六噸をアングル、テー及び發條鋼は六、七二四噸を鋳力板は五七〇噸を減じた。鋼材輸入の主として減少せるは一九二八—一九二九年から一九三二—三三年に至る間であつた。而して一九三二—三三年の數字を最低と見做すと同時に今後印度の經濟的地位の改善は鐵鋼の輸入増加に依て窺はるべしと見做しても誤りはないであらう。

タタ製鐵會社

タタ製鐵會社はこの報告書を裏書する信憑すべきステートメントを發表した。即其れにはジャムセドプル工場に於ける一九三三年三月三十一日に終る事業年度の生産其他主要事項の發達を列擧してゐる。一九三三年三月三十一日現在の高爐數五基、出鉄高六七二、〇六九噸、該工場の鉄鐵消費高五七五、二四三噸、工場用に生産せられたる滿掩鐵無し、一九三三年三月三十一日現在酸性轉爐三基、鹽基性平爐一〇基、鋼塊生産高は鹽基性平爐一八六、六五九噸鹽基性合併鋼四〇四、一一九噸、壓延機次の如し。
分塊壓延機二、軌條及大形壓延機二、厚板壓延機一、小形壓延機四、シートバー及びビレット壓延機一、薄板壓延機一二、三五吋粗ローラー、

分塊工場の半製品生産高五一四、七六二噸、シートバー及びビレット工場の生産高ビレット一五二、六四四噸シートバー及スリーパーバー一〇八、一一一噸ティンバー及フラット五六、七四一噸、後の三者は分塊工場で生産されたる鋼片を壓延したものである。

鋼材の生産高次の如し

軌條五〇封度以上三七、六七一噸、軌條三〇封度以下のもの四六二噸、繼目板二、三九四噸、アングル、チヤネル、テー三八、五一噸、ビーム六〇、四五五噸、丸、角、平、八角、タイバー八一、六二二噸、厚板二八、九三一、薄板ト吋以下一二、五〇二噸、亞鉛引板四六、八六六噸、販賣用のブルーム、ビレット二三、八六四噸、枕木七、六二〇噸合計 三四〇、八九八噸此の外販賣用ティンバー、スリーパーバー、シートバー八六、〇七〇噸を加へて總計四二六、九六八噸

舊薄板工場の擴張は一九三三年二月に完成され同月十五日に作業を開始した。其の新生産能力は年額二五、〇〇〇噸と計算されてゐる。また、鑄鑛爐は一九三三年一月二十二日修理の爲に休止された。

前記薄板工場の擴張に加ふるに更に亞鉛引薄板の總生産高を一〇〇、〇〇〇噸以上に増加せしめんとする大擴張の計畫あるは市場進展の今日蓋し當然である。

印度向鐵鋼輸出地

對印鐵鋼の主要なる仕出地別噸數並其の百分比は第一表に示す通りである。

第一表 印度の鐵鋼材輸入高 (單位千噸)

第二表は一九三二—一九三三年度に於ける對印度鐵鋼輸出の主要なる競争品目を示す。

年度	仕出地		獨	乙	白耳義	佛蘭西	輸入總額		
	英國	比較							
一九三二—一九三三年	四〇	四三・〇	二二	六・七	一〇四	三一・九	一二	三・七	三二六
一九三一—一九三二年	一六四	四四・二	二六	七・〇	一一八	三一・八	一六	四・三	三七一
一九三〇—一九三一年	二六九	四三・八	四四	七・二	二〇七	三三・七	二九	四・七	六一四
一九二九—一九三〇年	四八六	四九・九	五八	六・〇	三一二	三二・一	三五	三・六	九七三
一九二八—一九二九年	六五〇	五五・五	七〇	六・〇	三三三	二八・五	五四	四・六	一、一九七
一九二七—一九二八年	六八五	五七・二	七九	六・六	三一六	二六・四	四八	四・〇	一、一九七
一九二六—一九二七年	四〇六	四八・一	七九	九・三	二五七	三〇・四	三三	三・九	八四五
一九二五—一九二六年	四八九	五五・三	六九	七・八	二二九	二五・九	四五	五・一	八八四
一九二四—一九二五年	四三九	五〇・五	八八	一〇・一	二七三	三一・四	一六	一・八	八六九
一九二三—一九二四年	四二九	五六・七	六一	八・〇	二一七	二八・七	五	〇・五	七五六
一九二二—一九二三年	三五九	四八・一	九〇	一二・一	二二九	三〇・七	七	一・〇	七四六
一九二一—一九二二年	二八〇	四五・七	六〇	九・八	一六〇	二六・一	九	一・五	六一三
一九二〇—一九二一年	四九八	七〇・〇	一五	二・一	六九	九・七	二	〇・三	七二二
一九一九—一九二〇年	二六九	六三・〇	一	〇・二	一三	三・一	一	〇・一	四二七
一九一八—一九一九年	六〇九	五九・八	二〇〇	一九・六	一七三	一七・〇	二	〇・一	一、〇一八

種 類
 棒 鋼(鑄鋼ヲ除ク)
 ビーム溝形鋼其他

英國 一、五四七
 白耳義 三、〇〇三
 獨 乙 二、八二五
 佛蘭西 一、一三八

輸入總額
 六九、一六八
 一五、七三九

ボルト、ナット	一、〇三〇	三、二五三	七二八	六、四五二
フープ、ストリップ	七、九七八	一〇、一〇九	二、〇一七	二四、三六七
釘、リベット	三、〇〇四	二、五六四	六二五	一〇、五一二
鑄鐵管及取付品	一、二五七	四六	*	二、〇九六
亜鉛引鋼板	四九、六六七	二一、一〇三	*	七二、六五八
鋳力板	六、九〇六			七、〇二二
鋼板	一九、〇四三	二、六七六		二二、〇八五
鍊鐵管	九、七五三	八三六	三	二三、四六一
ワイヤーロープ	二一三	五、七三九	二、三三五	一三、一九八
ワイヤーロープ	一、六四九			二、〇四九
軌條及び繼目板	一、一五〇	三九		一、七三七
枕木其他の材料	一、九五四	一、四〇八		三、三九五
棚用材	五八九	一、三二一	一、四六四	四、五二四

備考 * 印は別々に計出し得ざるもの

白耳義の競争は磅の爲替下落にもかかわらず痛烈に繼續され殊に棒鋼、建築材料、フープ、ストリップ、枕木、線材、釘等に激甚を極めた。蓋しかゝる品種は價格の低廉が第一義的要素であり又英國標準規格が固執されぬからである。亜鉛引板に關する限り白耳義の對印輸出割合は英本國の其れに比し甚しく小である。併し低廉なる白耳義物薄板の輸入は印度市場に於て其の騰貴を執拗に押へる効果があつた。

ルクセンブルクは棒鋼一七、〇五七噸を輸出した。一方瑞典、諾威は釘、リベット及ワツシヤー等を各々一、二八三噸、一、五二九噸を供給した。

米國は同年印度鐵鋼市場に關しては全然その圏外にあつた。

オッタワ協定は將來數年間に互つて英本國の對印鐵鋼輸出に相當の刺戟をあたへるであらうと期待せらる而して印度關稅法第二附則の第六〇、六一、六二及九七號に依り課稅さるべき一切の鐵鋼に對し一割の特恵が與へられてゐる。此等は關稅の保護を受けぬ鋼をも包含してゐる即その中に鍊鐵管、フープ、ストリップ、高速度鋼其他のセフィールド、特殊鋼の如き價値ある貿易品を列擧し得るのである。

オッタワ協定の鐵鋼に關する最も重要な部分は亞鉛引薄板に關する條項であつて次の如く要約し得る。即印度政府は一九三二年の販賣價格に基き亞鉛引薄板の輸入關稅調節を行ふ事に同意した。

英本國に於て印度のシートバーを原料として製造せる薄板は

噸當り R. S. 30

英本國に於て印度製以外のシートバーを原料として製造せる薄板は

噸當り R. S. 50

英本國の製品にあらざるもの 噸當り R. S. 83

而して英本國製にあらざして印度に輸入せらるゝ薄板の價格が將來更に値引せらるゝ場合には印度政府は其の値引が現實に起つた事を知るや否や關稅局の審査を待つ事なく直にこの新狀態に對して追加税を課する等敏速にして效果ある行動をとるべき事を規定してゐる。

この讓歩の效果如何を評價するは現在では時期尚早きに失する嫌がある。

元來印度の需要高は極めて少なくタタ製鉄會社がその製品を賣却後、輸入の爲にのこされる餘地は至つて僅少である。該協定の究極の結果は印度市場に於ける外國競争を排除し該市場を英本國と印度生産者とのみ

にて分割するに至るべしと期待せらる。

英本國及印度に於ける兩國製鐵業者間のかゝる協力は兩者が印度市場に於て共に當面する問題に對し最も満足なる解決を提供するものと思惟せらる。

印度製鐵業は今後更に發達し取引の範圍を着々増大し行くであらうことは疑なき所である。

(Iron & Coal Trades Rev. Oct, 1933. 所載記事抄譯)

獨逸カルテル組織の概況と其の經驗に

照せる合衆國産業復興法の施行

(合衆國産業會議所記録第八號所載記事抄譯)

目次

一、獨逸カルテルの組織.....	(85)
カルテルの定義と種類.....	(83)
カルテルの經濟的要素.....	(83)

カルテル、自由競争及獨裁的統制……………(86)

カルテルと勞働問題……………(88)

カルテルと政府……………(88)

カルテルの結成と管理上の主要問題……………(91)

カルテルと縱斷的合同……………(92)

不景氣期間に於けるカルテル……………(94)

二、獨逸カルテルの經驗に照して施行された合衆國産業復興法……………(96)

一、序

二、合衆國同業組合にして獨逸カルテルの管理制度を採用せんとする場合に於ける同業組合の諸機關

(イ) 組合員總會……………(99)

(ロ) 理事會……………(100)

(ハ) 實行委員會……………(101)

(ニ) 仲裁々判所……………(102)

(ホ) 各種専門委員會……………(102)

(ヘ) 調査部……………(103)

(ト) 中央同業組合……………(104)

一、獨逸のカルテル組織

過去六十年間に互り獨立企業の協力に依つて産業の中央統制を行へる獨逸の經驗は合衆國産業復興法の施行機關を建設する上に於て同業組合並大實業家に對し貴重なる參考資料を提供するものである。復興法の主旨を體し既に作成されたる不正競争防止法の二三を吟味するに、法の濫用防止、組合員間の争議調停、他産業との協調維持或は又勞資協調の助長等に對する適當なる管理制度の樹立に對しては殆んど無關心のやうである。

慎重に組立てられた管理制度の必要は不正競争防止法が認容せられ而して産業が本法の下に於てその經營せらるゝと共に明かとならう。監督機關並同業組合の聯合機關を設置する爲めには本法の施行に際し起るべき諸問題の性質を知悉し置く必要がある。獨逸のカルテルに起つた多くの難件は恐らく亞米利加同業組合の當面する問題であらう、斯くて獨逸カルテル制度の特徴とカルテル管理上の主要問題とを茲に解説する事は決して徒爾でないと思へる。

カルテルの定義と種類

一、カルテルとは相互の競争を軽減し或は全く無くする目的を以て組織された同種工業經營者間に於ける獨立業者の自發的聯合を云ふ。

カルテル協約は之が勵行に資せんが爲あ成文となし記名調印すべきものである口約即ち紳士協約は法律的に拘束力がない、カルテル協約には通常一定の協定期間を設けてある。此の期間中會員はカルテル裁判

所の認可がなければカルテルを脱會し又は規則を破棄する事は出来ない。
 二、カルテルは或る特殊の目的を達成せんが爲め或は種々の目的を遂行せんが爲めに組織される。目的の如何によつてカルテルを分類すると大體次の六團體になる。

- (1) 原價計算、信用條件、引渡、支拂、荷造其他の事柄につき統制の確立に關する組合
 - (2) 價格統制組合
 - (3) 生産統制組合
 - (4) 契約割當組合
 - (5) 販賣地域割當組合
 - (6) 利益共同計算組合
- 或組合の目的が上記の二以上を包含する時はこれを混合カルテルと稱し單一の目的に對して組織される時は單一カルテルと呼ぶ。

備考

- (一) 石炭及びボタシ工業に於てはカルテルは強制的のものなりとす
- (二) カルテル裁判所及びカルテル法規の内容に就ては國家産業會議局刊行の "Nationalization of German Industry", New York, 1931. を参照せられたし。

競争を抑制せんとするカルテルの目的以外カルテルは業務上適切なる情報を蒐集して之を其の會員に分配し、或は又科學的管理法の採用を提唱し工業上の諸研究を奨励すると共に公共團體に對して全會員を代表するものである、何れのカルテルも其の目的とする所は斯業の經濟的地位を鞏固にし且會員の利益を増進する

ことに存す。カルテルは個々獨立せる生産業者の自發的組合なり、組合員はカルテル組織の恩澤に浴せんが爲め各自の經濟的獨立に就て或る一定の制限を受くることに同意す、若し組合員にして單一價格カルテルに加入するとせばカルテルの定むる價格以下にて其の製品を販賣せざることに同意す尤も其他の點に關しては別に行爲の自由は束縛されない。カルテルが統制せんとする任務の數が多ければ多き程、其のカルテルに屬する組合員の行爲の自由に對する束縛も亦大なり。然れども一切のカルテルに於ては其の會員は獨立せる法人にして別々に經營され又カルテル協約中に禁止せる或る種の競争を除き一切の活動分野に於て相互に競争し得るものである。

組合員間に於ける生産或は價格の統制、又は販賣地、注文割當の協定其他中央販賣機關を通しての組合員生産品の販賣協定等の諸カルテルに於ても各組合員は異なる危険率を負擔し異なる資本組織、異なる能率又は生産費、異なる収益能力、或は異なる信用程度を有する獨立企業體としての特性を失ふ事はない。

カルテル化の經濟的要素

カルテルの効果を利用すべきや否やは工業の本質と國家財政乃至關稅政策に依つて左右せらる。比較的小地域内に存在して原料若しくは半製品を生産し而も國家的に保護されて居る自國內の大市場を引當に操業して居る諸工業は、廣大なる地域に散在し多種多様の製品を生産して激甚なる外國の競争に曝されて居る諸工業に比し一つの中心に統制する事が容易である。又カルテルによる統制の樹立は、比較的業者の數少なく且巨額の資本を必要とする工業とか或は特殊及秘密製法によつて成立つ諸工業の場合が、工場の數が頗る多く且小資本で容易に初められる工業に於けるよりも遙に容易である。

最も進歩したカルテル即ち建値を定め生産割當をなし且組合員の販賣地域を決定するのみならず全組合の生産品を中央販賣機關によつて賣捌き且組合員の必要とする一切の原料並に半製品を中央購買機關によつて購入するカルテルは多種多様の製品を生産し、多數の工場を有する諸工業例へば織物工業、衣服工業及食糧品工業等には之を見出すことが出来ない、國家的カルテルに依る一般的な價格統制並生産管理でさへ此の方面の企業に對しては其の適用が殆んど不可能である。此種工業に於けるカルテルは夥しい數になるが其等は高低原價計算、取引契約及び信用貸借に關する諸條件の統一を目的とする局部的カルテルに過ぎない。効果ある價格の統制、生産管理、並中央機關による販賣及び購買は大規模の生産を行ひ且比較的業者の少なき工業に於てのみ實現が期し得られる。

カルテル、自由競争及獨裁的統制

カルテルは獨立生産業者の自發的組合であつて業者の如何にかゝはらず強制的に組合員たらしむることは出来ないから競争を皆無ならしむることは不可能である。非組合員の數が多ければ多い程カルテルの市場に對する統制力は弱くなる、尤も、カルテルの統制が各組合員の生産、價格、購入及販賣政策に對し如何に完全で且つ斯業に於ける總ての生産業者が中央の統制によく服従するとしても或る種の競争は結局免かるゝ事が出来ない。各生産業者にして若し斯業に於て重要な地位を克ち得んと欲すれば必ずや彼等はたえずあらゆる方法を講じてカルテルに於ける各自の地位を強めんとする。カルテルの組織が不完全なればなる程、内部競争の誘發され易いことは言を俟たない。該競争の目的は大なる市場割當を克ち獲んとするものではない、それは協約の規定に依つて出来ない、故に組合員間の競争は、カルテル協約の更新に際し大なる市場割前を要

求し得る様鞏固なる地位をカルテル内に築き上げる爲めに生産能力を擴大し、弱小な組合員から生産割當を肩代りし、且つ生産能率を改善して行くこと云ふ様な形式を取るのである。簡単なカルテル例へば生産高制限の如き工場的活動の一方面のみに關するカルテルに於ては組合員はカルテルの定むる割當量以上に生産することさへしなければ、それ以外販賣の方法に依り或は買手に一層有利な信用貸の條件を與へることに依り、其他の種々の合法的競争手段に依つていくらでも競争することが出来る。其の協約を實行し其の存在の意義を明確にする爲には中央統制に従ふことに同意する獨立生産業者に對しカルテルは獨裁權を保持せなければならぬ。此の故に非組合員の數は多くてはならない。カルテル協約の威力を發揮せしむる爲めカルテルに依つて統制さるべき生産高の企業者の全生産高に對する割合は工場によつて違ふから一口には言へない。カルテルと獨占的トラストとの相違は、前者が獨立生産業者の自發的協力に依つて市場を管理せんとするに對し後者は一切の競争を無くしこれに依つて確實に市場を獨占せんとする點である。

カルテルは小企業を破滅せしむることなく却つて其等を保護し且其等に獨自性を失はしむることなく大トラスト即ち合同による或利益を與へるものである、例へばカルテルは業者が孤立して居ては引受けられない大口注文も容易に應ずることが出来る。又原料の購入を中央購買機關に集中することに依りカルテルは大量購入に因つて一層有利な條件を克ち得られる。カルテルは仕向地に最寄の工場より製品を引渡し運賃を節減することを得又中央廣告取次所を設け低廉な費用で一層有効な廣告を出すことが出来る。結局カルテルは公共團體や立法、行政關係の諸團體に對し組合員の代表者として行動し又事業主をして、諸團體の代表者との協商に於て共同戦線を構へしむることが可能である。

カルテルと労働問題

カルテルは勞資の協調或は勞働爭議の調停に直接關與するものでない、労働問題はアルバイトデーベルフエルバンデ（傭主組合）として知らるゝ傭主の特殊團體の手に握られて居る。該組合の仕事は獨逸の職工組合に對し獨逸の傭主をして共同戦線を張らしむることである。傭主組合の發達は職工組合主義の發達に伴ふものである。一九世紀の末葉に於て傭主は豊富なる財政的援助の下に傭主を代表し其の共同利益の爲めに闘ふ團體を形成するにあらざれば到底有利に労働者の團體力を拮抗し得ざることを認むるに至つた。斯の如き團體の必要は獨逸の職工組合運動が社會黨と提携し殆んど之れと合流せる時に於て一層痛感せらるゝに至つた。斯の如き事情の下に、カルテル及び傭主組合の全國的團體の發達を見た、前者は價格、生産及び分配に關與し、後者は勞資關係の一切の問題を處理する。カルテルは最低賃銀及び最長作業時間に關して労働者と折衝するものではない、斯の如き問題はカルテル協約中には含まれない、是等の問題は職工組合と傭主組合間の特別な協約に依つて律せられるものである。

カルテルと政府

大戦前獨逸にはカルテル禁止法又はトラスト禁止法はなかつた。ポタシ工業を取締る法律を除き一九一四年前に於てはカルテルに對し政府の干渉した例を見ない。帝政下に在つて保守黨員を以て形成せる獨逸の議會は政府側の寛大なる態度を翼賛したが大戰以後此の事態は全く一變した、社會主義者の政治的勢力は革命後驚くべく増大しマルクス主義の經濟に従ふ國家を創造せんが爲め社會化運動は強烈を極めた、其の計畫は失敗に歸したが然し社會化する事が正當であると云ふ事は聯邦の憲法に於て認められた而してその事は一九

一九九年社會化特別法を施行し政府の嚴正なる管理——強制的カルテル——を石炭及びポタシ工業に對して樹立する事に依つて一部の實施を見たのである。一九二三年迄はカルテル其他の商事組合を取締る一般法の制定を見なかつたと同時にカルテル禁止法、トラスト禁止法等の法律もなかつた。價格の決定、生産の制限、地區の割當其他カルテルの仕事は禁止されて居なかつた。只斯くの如き一切の協約は其の勵行を期する爲め之を法律的に成文となすべきこと、一般の福利を害ひ若しくは個人企業の安全を脅かすが如き協約は實施を避くべきこと、が布告されて居たに過ぎない、カルテル特別裁判所が設立されカルテル法の下に起る諸事件の裁判を取扱つた。

カルテルの實際的管理の點から見るとカルテル法第八條は極めて重要なものである、本條に依りカルテルの各組委員はカルテル裁判所に依りて決定さるゝ重壓を理由にしてカルテルとの契約を破棄することが出来る。法其の者には、カルテルからの脱退が如何なる條件の下に許容せらるゝか明でない、而してカルテル裁判所の法官は自己の判断によつて統一ある合理的の方針を樹立する事になる。一般福利問題は第八條中に含まれて居ない。本條は特に組委員各自が、カルテルの協約中に規定せる事項をカルテルが實行せざることを感じるか或はカルテルが最早其の決定事項を實行せしめ得る力を缺けることを感知するか若しくは或る豫測し難き事態の進展に依り組委員自身のカルテル内に於ける存在が脅かさるゝことを感知する時に各組委員がカルテルに對して持つ苦訴を取扱ふものである。

カルテル裁判所は其の決定を成すに當りては次の二主要事項を考慮する。

- (一) 各組委員は自己企業の特種利益を擁護する爲めには相當の自由行動を附與せらる。
- (二) カルテルは國家經濟の機構上極めて重要な役目を持つて居る、従つてカルテルは容易に崩壊せし

むべきものでない。

カルテルからの脱退は主として次の理由に依りカルテル裁判所より許可される。

一、高価格維持の如き誤れるカルテルの政策に依り組合以外の同業者が著しく増加しカルテル規約の實行を不可能ならしむる場合

二、カルテルが其の組合員に新しき制裁を課せんとする場合例へば價格のみ取扱ひたるカルテルが生産カルテルの機能を取らんとする場合

三、カルテル内部の合同に依り一會員の勢力或は一團體の勢力が不釣合に増大せる場合

四、カルテルが經濟事情の變化に其の政策を適合せしめ得ずかくて組合員の存在を危くする場合

五、カルテル統制力の企及し得ざる事情例へば非組合員の生産高増大に依りカルテルが其の組合員に對し何等の利益をも齎らざる場合

カルテルからの脱退権を認めるカルテル裁判所の決定はカルテル協約の無効を意味するものではない、只單に困難を感じる組合員は最早之れに束縛さるゝ必要なことを意味するものである若し判決後二週間以内に組合員がカルテルを脱退せざる場合は脱退権は無くなる、一般に脱退権は争議が仲裁々判に附託された後に於てのみ許可せらる。

カルテル法第八條の下に起る争議に鑑みると、カルテル協約の目的とカルテル會員の義務とを内規に特に明確に定めて居くことは最も大切な事である。

カルテル組合員は如何なる程度まで又如何なる點に於て行動の自由即獨立性を抛棄しつゝあるやを知らなければならぬ。カルテルによつて新權力を取得する事はカルテル法に依つて協約違反である。

カルテルの結成と管理上の主要問題

カルテルの成立に關連して考ふべき主要な問題は出来るだけ競争者を有効に押へる爲めに相當多數な企業参加者を得ることである。大小各企業者間の意見の相違や紛議はカルテルの目的を示す協約總則の商議に於て表はれる特に規則違反に對する罰則を明示しカルテル組合員の權利義務を決定し又管理並監督部を設置するためカルテル内規制に關する商議に於て起つて來るものである。商議は屢々難關に乗り上げそして長引く。獨立せる生産業者の数が多ければ多い程協約の達成に困難が伴ふ、又各企業の大きさ及び能率に大差ある場合は一層困難が増加する。實力乏しき比較的少數の生産業者も過大な生産割當を主張したり或は又有力なる企業者から見れば消費を極大に増加する事と矛盾するが如き價格を主張することに依り有效なるカルテルの成立を妨害する。斯の如き事情の結果としてカルテルは屢々弱小生産業者の保護、微力企業の生産費を基礎とする價格の決定等を餘義なくせられ斯くして弱點の除去を妨げられ延いて公共の犠牲を増大する。

需要の旺盛にして全カルテル組合員が資本と設備の全能力を擧げて作業するが如き事業界の好景氣時代に於てはカルテル組合員間の協調的關係は容易に維持される、之に反し一朝取引減少し減産を餘儀なくされ之を公平に組合員に配布する事の必要に迫らるゝ際には生産割當に對する適正なる規約の決定は極めて困難な事である。大抵の大企業は種々のカルテルに加盟する、或る企業者は或る一方面の品物の生産に特に力を入れ他の品物の生産は之を第二位に置くものがある例へば鐵鋼業に於ては或る企業は鋼管の生産を専門とし或る者は半製品の生産を主とし又或る者は高速度鋼或は球入軸承鋼等の生産を専門とする、其の特殊の生産分野に於て満足なる割當を獲得せんが爲め大企業者は以前に他の組合員の爲めに差控へた品物に對し新生産設

備計畫を樹てこれによつて脅威を與へんとする。割當に關する大企業者間の紛議は小工場を財的に抑へてその其等の生産割當をシンヂケートの組合員間に配分する所謂肩替りシンヂケート(又は買取シンヂケート)を組織することに依り屢々解決を見ることがある然し此の解決は消費者にとつては不利なるものである何となれば通例極めて高價なる肩替料と肩替りの爲めに閉鎖した小工場の償却費とがカルテルの建てる價格中に含まれるからである。

カルテルと縦斷的トラスト

縦斷的一貫組織會社即ち自己の原料、半製品及び製品までを生産する會社に關する特殊の問題は企業内に消費さるゝ是等生産品の生産高の調節方法である。是等の生産品は大部分カルテルの統制には關係がなく只、市場に賣出すものゝみが、數量と價格とについて制限を受けるのである。這般の實情は大規模なる縦斷的一貫組織會社の結成を刺戟した何となれば彼等は斯くすることに於て原料及び半製品についてはカルテルの定むる價格を支拂ふ事を避け得たからである。此の種會社の成立はカルテル組合員間の合同に依り或は新に生産部門を設くることに依り實現された、カルテル内に起つた斯くの如き工作は、カルテル成立當時に存在して居た勢力のバランスを破り延いては協約更新に際し一大困難を擡頭せしむる基となつた。生産高は舊協約に依り制限され、割當高は協約調印當時定められた通りに企業者の能力を基礎として決定せられた然し組合員間の合同の爲に或る品物の販賣數量は著しく削減せらるゝ如きことが起り得る例へば半製品のみを生産する一企業者が製品を生産する一會社を合同した場合には後者は親會社から必需品の一切を得て市場から半製品の購入を中止する。之と同様の困難がカルテルの協約期間中に各企業者が生産能力を擴大したり或は協約

調印當時生産せなかつた材料の新生産設備を増設する時に起つて来る。例へばカルテルの期間中或る種の生産品が特に有利になる時には此の品物につき生産割當の無い企業者は先づ之が生産に必要な設備を新設し次で協約更新期に際し全生産高中に自分の生産割當を要求することは蓋し自然の數である。

カルテルを造り協約に調印する事は、比較的容易い事であるが眞の難件は協約調印後に起つて来る、カルテルの機能を圓滑に遂行する責任は主としてカルテルの首脳部にある。獨逸は六十年間に互るカルテルの管理經驗に於て「カルテル指導者」と呼ばるゝ一種の産業管理人を造り上げた。此の指導者は單にカルテル管理の各方面に於て専門家たるのみならず又經濟法律の研究者にして人格高潔に實直とされて居る。元よりは等の指導者は實業家ではない。又斯業と財的關係は持たないから營利問題には無關心である、従つて彼等はカルテル管理の諸問題を第三者の立場から又國家經濟の一般的見地より公平に觀察することが出来る。

カルテルの効果と信用とは主としてカルテル指導者の力量と誠實とに俟つものである。是等指導者の職務はカルテルの對内問題並他の工業、労働者、及消費者との關係を研究することに在る。爭議に際し彼等はカルテルの組合員總會に對し或は他のカルテルの行政團體に對し提案並勧告を與へる。彼等は組合員の一切の書類及び記録を閱覽することが出来る従つて彼等の勧告は、個々の企業の状態並に斯業の一般事情に關し十分なる知識を以て成さるゝわけである。

此の外各カルテル組合員の才幹、就中、大企業代表者の器量はカルテルの成功を決定する重要な要素である。適當なる指導に依りカルテルは常に組合員各自を利するのみならず、進んで消費者並一般公衆を利する團體に發達することが出来る。禁令や制限はカルテルの放逸を抑制する上に効果はあるが、然し組合員に協力と奉仕の精神を持たせる上には殆んど價値なきものである。

不景氣期間に於けるカルテル

一九二九年事業界の俄然頹勢に傾くや獨逸カルテルの價格制定政策は各方面から新に攻撃の征矢を蒙つたカルテル反對者は、カルテル價格制定の結果は一方に於ては、製品價格と、農産物及原料の價格との間に懸隔を生ぜしめ、他方に於ては國產原料價格と輸入原料價格との間に不釣合を生ぜしめ且つ之を持続せしむるものであると論難した。一九二四年以來の獨逸の卸賣相場の傾向を調査するに、製品の價格は一般標準物價より一貫して著しく高くカルテルの統制外にある農産物の價格は一般標準物價より著しく低位にあつた、且又海外から輸入される原料従つてカルテルの統制を受けざるもの、卸賣價格と、國內に産出しそしてカルテルの統制を受くる原料の價格とは更に著しき懸隔を示した。

一九三〇年七月二十六日發布の獨逸大統領緊急法令は此の事態に對する不滿を物語るものである、本法に於て大統領は獨逸の經濟復活に必要なりと見做さるゝ諸種の方法につき考慮を加へた、即ち同法第五條は特にカルテル問題を取扱つたもので所謂カルテル緊急法令として知らるゝに至つた。第五條は聯邦政府に左記各項の權限を與へた。

- (一) 價格の決定又は値上に關する規定を含む一切の契約無効の宣言權
- (二) 價格維持、契約轉賣の禁止權
- (三) 價格決定協約の關係者に對し契約破棄の許可權
- (四) 非經濟的價格決定の罪を犯せる諸工業に對し、既得の關稅保護を全然撤廢するか又は保護率を引下ぐるの權

政府の命令に従はざる場合は罰金刑に處せらる(罰金には限度の設け無し)本法に於ては、立法、施行並裁判權が政府に附與せられ其の判決に對しては何事を問はず上告するを得ず。

カルテル緊急法令は事業の國家統制の特例として又一九三〇年の夏に於て聯邦政府が價格決定協約なるものを國家經濟の復興に對し甚しき妨害物と見做した證左として重要視すべきものである。然し本法の實際的價値は別に見るべきものがなかつた。獨逸に於ける高率の國內價格が國內市場の十分なる開拓を妨げたことは容易に諒解し得るが然し如何なる程度迄其の事態がカルテルの價格決定に基因したか或は又價格協約の禁止が如何なる程度まで一般經濟を改善したかを確實に指示することは出来ない。人々の購買力の減退に順應して價格を下げる事は種々の事情就中下げられない工賃、割高な税金、高い社會施設費、高金利、及び資本の缺乏並に莫大な負債等に依つて妨げられた。加ふるに不振なる事業界は何等改善の徴を示さず従つてカルテルは其の組合員に對しカルテル規約の遵守を強ふる事が困難なると同時に價格が事實上自由市場に於て決定せらるゝ事が明となつた。獨逸全國を通じて價格を有効に維持し得たる唯一のカルテルは鐵鋼カルテルのみであつた。過去三ヶ年間に獨逸が經驗したる如き不景氣の期間中に、カルテル價格の維持された期間は極めて短かかつた。此れに反し賃銀は國家に依つて保護されて居つて労働裁判所の認可又は職工組合側の自發的同意を得るにあらざれば之を引下ぐることが出来なかつた。

價格の引下は賃銀を下げなければ不可能であるとする獨逸實業家の見解は一九三〇年獨逸政府の認むる所となり政府指導の下に、傭主組合と職工組合との自發的協力に依つて賃銀と價格とを同時に引下げんとする全國的運動の開始を見るに至つた、此の運動は暫時非常な人氣を呼んだが、勞資間の協商は間もなく行詰りの事態に達し、全般の形勢は經濟的問題と云ふよりも寧ろ政治的問題化するに至つた。當時獨逸の共和政

府は専ら産業労働者の支援に倚頼してゐた關係上、賃銀並生活標準の引下げは頗る困難とする所で、これを實行すれば政府は政府に對する産業労働者の忠勤を失ふの止むなき事態に在つた。勞資間の協力に依つて賃銀及價格の引下を行はんとする政府側の企は失敗に終つたけれども、勞資の中央團體、カルテル及び職工組合が、價格及賃銀の引上に依つて其等會員の經濟的地位の改善に利用せられ得るのみでなく又一般國民の爲めに賃銀及價格の引下にも利用せられ得ることを指示する點から見て興味ある經驗であつたと言はざるを得ない。此の獨逸の失敗は、民主政體の下に於て、産業統制と經濟計畫とは、各種の事業會社が一時的犧牲を餘儀なくせらるゝ如き經濟困難の時代に際しては恐らく不成功に終るであらうことを示すものゝ如くである。

一、獨逸カルテルの經驗に照して施行 されたる合衆國産業復興法

獨逸に於ける産業統制のカルテル組織は政府の強制又は指導を俟たず民間企業者に依つて案出せられ且發達したるものである。本組織は獨立生産業者の自由決議に依り商工業の轉變する事情に適合せしむる如く組立てられたものである、協約は其の勵行を期して法的契約にされてある。

一九二三年に通過せる最初の特別カルテル法に於てはカルテル協約の自由性を強調し又全組合に不満なからしむる爲めカルテルの仕事を指導する事の必要に重きを置いた。カルテルをして不公平なる行爲なからしむるようカルテル裁判所は最強の武器として、各組合員に對しカルテルとの契約破棄の許可權を有つて居る。

本法は何づれの生産業者に對しても斯業の活動を管制せんが爲めに組織された組合に強いて加入せしむることをなさず又何づれの産業に對しても其の競争的行爲を取締るべき組合の結成又は均一な賃銀並作業時間の採用を強制しない。尙ほカルテル協約は其の效力發生前に於て政府に認可を仰ぐ必要はない。

國家産業復興法の通過する迄は合衆國は商務制限に關する協約が法律に依つて禁止されたる唯一の重要産業國であつた。佛、英其他の歐洲諸國に於ては斯の如き協約は禁止されて居ないが其の實行は法律的に強制し得ない。獨逸に於ては此の種の協約は法律的協約の形を取つた。今や合衆國は商務制限に關する一切の協約を全然禁止せる前政策より離れて、同一工業内の全企業者に對し強制的協約を締結せしむる事に乗り出したたとへ斯業全體の利益の爲め或る行爲の除去若しくは或る政策の採用が、過半数の生産業者に依りて同意せられても之に着手したのである、又若し一工業にして何等かの理由に依り自發的に不正競争防止法の採用を怠る時には、合衆國政府は其の工業に對し法を制定し之れに従つて其の活動を調整することを全生産業者に強要する權利を有つて居る。

民主制度の國に於ては産業は民營であるが平常の時代に於て特に強制に重きを置く N. R. A の如き大規模な産業統制組織が政府によつて企てられたることは未だ曾てない。不正競争防止法の立案は斯業自體に於て爲さるべきものである。而して國家産業復興局の意嚮に徴すれば、政府は認可權を有する外、強制權をも有し且少数反對者に服従を強要せんとして居ることは事實であるが、然し行政上勞資何れの團體をも強要する事は政府の本旨でない。

多数に依りて採用されたる規程は、獨逸のカルテル組織中に全然見られない強制的要素を産業組織中に注

註 (1) 前述の通り石炭及ポタツシ工業に於けるカルテル組織は強制的のものである

入する事となつた。不正競争防止法の施行は亞米利加式のやり方に於てはズット簡單にならう、何となれば政府は一工業内の一切の企業者に對し實際の代議制組合に依つて採用された法令中に規定せる公平なる競争標準に準じて彼等の活動を規律するやうに強制して居るからである。企業者が何づれかの團體へ加盟することを強要せられず或は活動の中央統制に従ふことを強要されて居ない獨逸に於ける諸カルテルは、カルテル自身の經濟力を使用して非組合員をして餘義なく不正競争行爲を差控へるようにする。カルテルに加はらない企業者に對しカルテルの及ぼす壓迫は偉大なものである、之れが爲め企業者は破滅を招き、或はカルテル参加を餘儀なくせられ又少くともカルテルの支配に従ふの止むなきに至るであらう。國家産業復興法の下に於て、法令に依つて認可された不正競争防止法の違反を看破し矯正する仕事は政府に於て之を行ひ其の執行手續は聯邦地方裁判所を利用する。然し該防止法の違反を看破し矯正する仕事は斯業自身之を成すにあらざれば、一大管理機關の設置なくして政府が其の任に當ることは到底不可能と思惟される。本制度の實施を効果あらしむるか否かは主として、斯業自體を管制し又會員の活動を監督し、且つ同業組合の機關に對し爭議の解決を自發的に委任しこれに依り規則違反を防止し得る斯業の實力に依つて定まるのである。

各生産業者が他の生産業者の動靜を探る所の産業探偵制度の發達を避けんが爲めには各産業は慎重に計畫されたる適當の管理並監督機關を設置する必要がある管理機關の様態は不正競争防止法に依りて採用される、統制の様式に従ひ産業毎に異なるであらう、中央の統制並監督を受くべき任務の數多き程管理制度は一層入念でなくてはならない。若し價格、生産、乃至は組合員の割當制度を管理する同業組合にして獨進カルテルの管理制度を採用するとせば、其等の組合は次の諸機關を設置するであらう。即

- (一) 組合員總會、(二) 理事會、(三) 實行委員會、(四) 黨色なき仲裁審判所、(五) 黨色を帯びざる各種専門

委員會、(六) 調査部、これである、是等各機關の任務次の如し。

(イ) 組合員總會

組合員總會は一切の組合に於ける最も權力ある機關である、組合内規の制定に際し次の諸事項を明確に定むることを肝要とする、即ち (イ) 定例及び特別總會の召集期日と其の方法 (ロ) 大、中、小企業者間に投票權の配分法、(ハ) 多數決、三分の二決、四分の三決、又は満場一致の決議方法。

會議に於て審議に附せらるべき問題の重要性に従ひ是等の方法の何づれをも用ひ得る。生産高、價格等の如き根本政策の改變は満場一致を必須とはせないが全參加企業の殆んど全部に近き多數決を必要とする。然し組合員數極めて多數にして且急速の議決を必要とする場合には是等の權利を理事會に委任し總會に事後承諾を求め得る。

國家産業復興法が小企業の保護を強調せる點に鑑み組合の内規に於ては、大生産業者の投票權を制限し依つて以て小企業の權利を保護する旨を明記して置かなければならぬ。若し投票權が各組合員の生産能力に依つて決定せらるゝ場合には、内規に於てスライディングスケールの投票を規定するか若しくは何れの企業者も或一定の最高投票數以上を行使し得ざることを規定し得る。例へば一、〇〇〇屯以上一〇、〇〇〇屯の生産能力を有するものは一、〇〇〇屯毎に一票、それ以上二〇、〇〇〇迄は每一、〇〇〇屯に半票を與へ、更にそれ以上五〇、〇〇〇屯迄は每一、〇〇〇屯に一票を與へるが如くに規定し或は又何づれの企業者も一定の投票數若しくは、總投票數の一定割合以上を保持し得ざる旨を規定しよつて以て大企業の投票權を制限し得る。

斯の如き規定により組合は小數の大企業者に依つて支配さるゝことを免れ得たのみならず合同即ち産業結

合の主因の一を除去するを得た。獨逸カルテル管理上の葛藤は往々にして、カルテル内に合同を誘致し又は小企業の買収及び閉鎖を餘儀なくした。斯の如き合同が生産能率又は配給能率の改善を望む爲めと云ふよりも寧ろカルテル内に於ける自己勢力の増加を欲する大企業者の野心に基因するものなる限り合同なるものは公益とならず却つて一般社會に對し負擔を増加せしむる傾向を持つて居る。此の種の産業結合は、全生産高を管理し、會員の生産割當を定むるカルテル内に特に現はるゝものである。合同若しくは財的管理の獲得に依る各カルテル組合員の對立的勢力の變化は協約調印當時に於ける勢力のバランスを破壊し且、斯くしてカルテル内に於ける勢力を著しく減ぜられたる企業者がカルテルの規則を尙守るべきものなるや否やの問題を惹起するものである。合衆國に於ても亦、若し大企業者の投票數を制限し以て同業組合の政策に對し支配的勢力を取得せんとする慾望から起る合同結成の動機を減殺する事に注意を向くるにあらざれば同様の困難に遭遇するであらう。

(ロ) 理事會

各同業組合は總會に依つて選舉せられ一定期間の任期を有する組合員より成る理事會を設置するを得。理事會の權利義務は組合の内規に於て明かに限定し置くを要す。又少數の大企業者に依る獨裁を避けんが爲め理事會の大きさ及び組織を前以て決定し之を内規に明記し置くを要す。例へば、内規に於て理事會は總會に於て四分の三の過半数に依り選舉せらるべき七人乃至九人の組合員を以て之を組織し又少くとも其の一員は組合に於て最小の投票權を有する企業者十五人の代表者中より之を選出すべきことを明記して置く、斯の如き規程は、最小の企業者に對し理事會に於ける代表權を與ふると同時に國家産業復興法の字義並精神を實行

する事になるのである。

理事會は斯業の盛衰に影響を及ぼす一切の事項に關し指導、監督機關として並同業組合の主なる代表者として任務を遂行するものである。理事會は、組合の特別委員及び調査部より報告を受け之に基き斯業並他工業に於ける經濟的技術的其他の諸變化、並國內及び海外に於ける政治經濟事情の變化を考慮して組合の方針及び規則の改變を總會に提議する。抑も産業たるや動的生命を有するものなるを以て、理事會の任務は、斯業をして時勢と併進せしむるに必要なりと思惟せらるゝ不正競争防止法並に組合規則の改變を總會及び政府に提案しよつて以て中央統制制度の硬化を防止する事に在りと思料せらる。

(ハ) 實行委員會

實行委員會は組合員又は組合に屬する何づれの企業にも財的に關係なき無黨色専門家の何づれかを以て組織することを得。實行委員の權利義務及び選出方法は之を内規に明記し置くを要す。若し實行委員會が組合員より成立する場合は、大會社の獨裁を防止する爲め委員會に小企業の代表者を置くの規程を内規に設けて置く、又若し實行委員にして組合の被備者即ち前記の専門家より選出さるゝ場合は選舉方法及び任期を内規に明記し置くを要す。

實行委員の職務は委員會が組合員に依つて成立するか或は又無黨色の専門家を以て成立するかによつて大に異なるが兎に角委員會は組合内の主なる實行機關で理事會に對し責任を負ふべきものである。無黨色の委員會と組合員を以て成立する委員會との相違の主眼は前者は即ち一方に於ては組合員が組合の諸規則を遵守しつゝあるや否やを他方に於ては現存の諸規則が斯業に有利なるや否やを判別する爲めに各組合員の帳簿、記

録等を検査する権利を有する公平なる監理機關の格式をも與へられて居る事である。

(一) 仲裁審判所

審判所に送局せらるゝ争議の數を減ぜんが爲め従つて政府の費用を省かんが爲め、又は各企業間の協調的關係を促進せんが爲め、各組合は争議を公開することなく組合内に於て之を解決せしむる制度の樹立を有利とする、組合は一以上の仲裁審判所を設置することを得。組合員は争議を總會に訴願するの権利と共に之を理事會に附託し、又は特に選定されたる常置仲裁審判所に附託する條規を設け得る。此の仲裁審判所の構成と設置方法とは之を組合内規に明記し置くを要す、常置仲裁審判所の外即ち之に代はるものとして事件突發に際しては特別仲裁審判員の選任規程を内規に設くることを得。争議の當事者は双方共、組合員中より各々一名の仲裁者を選任することを得斯くして選ばれたる二人の仲裁人は、議長の任に當るべき而して組合に屬する何づれの企業にも財的關係を有せざる第三者の仲裁員を選出する、此の中立仲裁員は實際斯業に従事せざる人物たるべきことを内規に規定するか若しくは裁判官の職に在る人物に限り(恐らく高等法院の裁判長)之の任に選出さるべきことを明記し置くを可なりとす。

(ホ) 各種専門委員會

各組合員の帳簿及び會計検査は之を組合の無黨色備員より成立する特別管理委員會に委託することを得。検査の完全さは組合の種類如何に依つて左右される、若し組合にして價格の制定、生産統制、販賣地域の配分、中央販賣機關に依る全組合員生産品の販賣、一定貨銀の仕拂、作業時間の規定等を取扱ふものであるならば、組合検査員は、各組合員の殆んど全部の帳簿並記録の検査に従事せなければならぬ、検査員は、機密事

項に屬する仕事に従事するものなるを以て其選出には深甚の注意を拂はなければならぬ。彼等の雇傭は契約を以て成すを要す。又組合員は、元管理委員たりし者を、或一定期間を経過する迄は、及び理事會の許可無くしては之を自己の企業に傭請すべからずと内規に規定し置くを可とす比較的小にして且比轉的複雑ならざる組合に於ては、無黨色専門家より成る實行委員會に對し監督並統制任務を委任することを得。

無黨色専門家より成る特別委員會は、公平なる價格及び生産政策に關し總會或は理事會に對する勸告機關として之を構成することを得、例へば最高生産高の設定並生産總高を或る割當基礎に於て會員に配分せんとする同業組合に於ては、總會は三人以上の専門家より成る無黨色委員會を選定し彼等をして各會員の生産能力を審査せしめ、且生産總高を會員間に配分すべき一範式を提案せしむることを得、同様に價格制定組合に於ては、一定の原價計算方法に基き組合員の平均生産費を決定して公平なる最低價格を提案せしむる爲め無黨色の専門委員を任命することを得。斯の如き専門委員の重要な仕事は終始市場状態を調査し以て組合の根本政策に對し變改を提案するに在りと思料やらる。

(ヘ) 調査部

調査部の大きさ及び任務は組合の性質に依つて決定される。組合の仕事が多ければ多き程調査部の設備も大にして且完備せなければならぬ。部員は斯業の状態並一般經濟界に密接なる關係を有する方面の事情に關し一切の凱切なる實際的報道を蒐集し且之れに解釋を加へなければならぬ。然し、各同業組合の調査部員が一切の産業に關する一般的性質の報道を蒐集することは成る可く避くる方がよい。此の種報道の蒐集と解釋とは仕事の重複と不必要なる費用を除く爲め又同時に價格、貨銀、所得、作業時間、生産、分配、公私の

財政、外國貿易、世界事情並法的及政治的方面の商事等に關する一般經濟資料の蒐集と頒布とに於て劃一と公平を期する爲め之を亞米利加產業中央調査機關の手に委ねるを可とする。

(ト) 中央同業組合

同業組合は一商品又はこれと密接なる關係を有する商品を生産する獨立企業者の横斷的組合である。縱斷的一貫作業を行ふ大企業は通例一以上の同業組合に所屬し又或る工業は其の生産する商品の種類の多少に依り其の所屬する組合數も亦増減する、多數の組合を有する諸工業に於ては各組合の活動を調和する爲め且又斯業全般の諸問題に關する情報交換所たるべき中央組合の組織を必要とする、此の中央組合は個々の同業組合と同様の管理機關即ち總會、理事會、實行委員會、仲裁審判所、各種無黨色専門委員會、調査部等を設置することを得。

全産業に關する一切の同業組合の活動は斯業全般を代表する中央組合に於て之が調和に當らなければならぬ、本組合の仕事は、各組合より茲に送致せらるゝ統計其他の情報を綜合し斯業の状態、進歩に關して公平なる諸報告を刊行し、或は又其の調査に基き斯業の一般問題、各工業の國家經濟界に於ける地位、立法、財政、勞働事情並諸外國に於ける發達等を綜合檢討の目的を以て、同業組合實行委員及首腦部の機密會合を開催することである。此の中央機關はよく完備し熟練せる調査部たらしめなければならぬ而して斯業の信用を失ふ事なきようにすべきは言を俟たざる所であるが就中、一般公衆並新聞紙に好評を博し信用ある調査機關として認めらるゝを必要とし單に宣傳者又は黨色的報道機關として認められざるやう努めなければならぬ。

本中央機關は産業統制に關係ある一切の問題に關する報道の手形交換所たる職務を取るべきものである。本機關は便利且簡單なる方式に於て次の如き資料を提供するものたるを要する。

- (一) 賃銀、作業時間、收益、生活費、勞資關係、生産並價格に關する完全なる資料
 - (二) 不正競争防止法の實施勵行に關聯して生ずる管理上の諸問題に關する調査資料
 - (三) 産業復興法に依る裁判所の判例と行政判決の最新報告
- 斯の如き情報を基礎として業務執行者は復興法施行狀態の大體を觀察するを得ると同時に斯界に於ける最善の經驗に基き不正競争防止法並其の施行方法の改正を考究する事が出来る。因に中央機關に於ても亦組合間の爭議解決に對する仲裁審判所、中央計畫並諮問専門家委員會等を設置する事が出来る。

雜報及統計

佛國に於ける鐵鋼業(一九三二年中狀況報告)

佛蘭西製鐵委員會公報第四二三四號として發行されたる佛國鐵鑛產地ムールト、エ、モゼルの狀況に關する鑛山監督局長の年報は前數年と比較せる一九三二年中の採鑛業事情に就て次の如く詳細なる摘要を與へて居る。當地方に於ける鑛山は六八八軒平方五七ヘクタールの面積に亘り一一七の鑛區を包括し地理的に二個の集團に分割さる。即ち其の一はナンシーを中心とする地方其の二はロンヂイ地方を含むブリエー周域である。事業の趨勢を示さんが爲め前數年の數字を掲げ以て一九三二年の鐵鑛生産高、採掘鑛石の處分高並びに當該事業に於ける備役狀態の要略を示せば左記の通りである。

鐵鑛石生産高

ムールト、エ、モゼル地方に於ける鐵鑛石の生産高を示せば第一表の如し

第一表 ムールト、エ、モゼルの鐵鑛石生産高 一九一三—一九三二

年 度	生 産 高	一九一三年の生産高ニ對スル比率
一九一三年	一九,九七八,九三七	一〇〇%
一九一九年	一、五〇四、六二二	七

第二表 一九一三年及一九二四年から一九三二年に至る鐵鑛石處分高

年 度	處分高合計	佛 蘭 西	バ ル ギ ー	ザ ー ル	獨 逸	ル ク セ ン	輸 出 高 合 計
一九一三年	一九,三九六,〇〇〇	一,一八三,九六四	四,六七二,六四四	八,一四四,九	一,六三三,〇〇〇	一,一〇一,一五二	八,一〇三,三三三
一九二四年	一五,五四四,五三〇	九,六六二,一七	四,五〇二,五二	八,九八八,〇〇	三,五九六,八	二,二二,六三	五,九八八,〇〇〇
一九二五年	一七,六四〇,〇〇〇	一一,九一,八七	四,一五三,六四	一,一七,四五	一,六九,七	五,四〇,三五	六,三三六,一
一九二六年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七
一九二七年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七
一九二八年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七
一九二九年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七
一九三〇年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七
一九三一年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七
一九三二年	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三,七七八,七	四,〇〇〇,〇〇〇	一,七七八,七	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	七,七七八,七

一九二九年	二六六〇、六六三	一九三〇年	二五五三、二〇〇	一九三一年	二四〇四、九六六	一九三二年	二〇七三、八三三
一九三〇年	二四九三、九九五	一九三一年	二四〇八、七四九	一九三二年	二〇七三、八三三	一九三三年	一九七三、八三三
一九三一年	二〇三七、一七一	一九三二年	一四二五、一三三	一九三三年	一三三六、六六二	一九三四年	九三三、四〇六
一九三二年	一四〇元、六六四	一九三三年	八、二六、〇〇〇	一九三四年	一、四〇、一三〇	一九三五年	七、七、〇〇〇、〇〇〇

第三表 ムールト、エ、モゼル鐵鑛石の消費率

	一九二九年 比率	一九三〇年 比率	一九三一年 比率	一九三二年 比率
フラッス	五九・八	六二・六	六一・八	五九・七
ベルギー	二四・一	二二・七	二六・九	三一・六
ルクセンブルグ	二・三	一・六	一・一	一・一
ザール	九・五	八・〇	七・〇	五・八
ドイツ	四・三	四・一	三・二	一・八
	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

第一表から左記の事情が窺はれるであらう。即ち西部大陸鐵鑛業の事業不振に伴ひ生産高は絶頂年度なりし一九二九年より一九三二年に至るまで連續減少した。而して一九三二年に於ては一九二六年以來始めて一九三三年の産額以下に減少した。一九三二年に於ける生産高は一九三一年に比し二九・六八%、一九三〇年に比し四三・六九%、而して一九一三年に比し二七・二〇%の減少を示して居る。一九三二年に於けるブリエール地方の生産高は一九三〇年の五九・八五%、一九一三年の八五・七五%に相當し、最低減少率を示して居る、尙ほ同様にロンデー地方に於ける生産高は夫々四一・九一%及五三・八六%に相當し、ナンシー地方の生産高は四五・八%及三三・三六%に相當した。

當該年度中各地方に於ける月別生産高は一月より秋期迄は減少し、秋期以後に於ては僅少の回復を示して居る。即ち一九三二年一月の生産高合計は一、三二四、一一七噸なりしも、十月には一、二一一、四九八噸に低減し十二月に至りて一、二二二、七五八噸に増加した。

- 一九三二年ブリエール地方に於ける主なる鑛山の生産高次の如し(括弧内は一九三一年)
- ダメルモン、ドンマリー鑛山會社、一、四二二、〇〇〇(一、四九五、五〇〇)噸
 - マリオン、エ、ドメクール鑛鋼會社 九七九、〇六九(一、〇八三、八一)噸
 - オ、フルノー、ド、ソール、ヂヤン、ラチ會社 七九九、三二六(一、二一一、一〇八)噸
 - ド、ウエンデル會社 七九四、一六二(一、〇六五、四八二)噸
 - ムチエール會社 七七八、九三一(九八三、九五七)噸
 - サアン、ビエルモン鑛山會社 七二七、五一七(一、〇五七、三五八)噸
 - 東北製鐵會社 七〇三、二九八(一、一〇二、〇〇〇)噸
 - ムリエール鑛山會社 六九五、六五五(八七五、一五〇)噸
 - シビル、ド、ヂユドレビル會社 六八四、八八二(八九五、五七六)噸
 - オ、フルノー、エ、フォンドリ、ド、ボン、ア、ムツソン會社 六二五、一五二(九一六、二二九)噸
 - ロンデー製鋼會社 六一二、〇五〇(八四〇、一〇〇)噸
 - デルービル鑛山會社 五五一、〇四〇(八一七、五四七)噸
 - 合計 一二、三四七、二五六噸(一六、九一六、七〇一)噸
- ロンデー地方に於ける主なる産出者は次の如し

ミシビル製鋼會社 二五八、六九一(三四六、八六〇) 吨
 ゴツド、ブランドン山會社 二五二、二六八(四九三、六六五) 吨
 チェールスレー、シンヂケート 二二一、四六〇(五三九、三〇一) 吨
 オ、フルノー、ド、ソール、ジャン、ロチー會社 一八一、八〇九(三〇七、八三四) 吨
 合計 一、四〇五、〇七〇 吨(二、四六二、五五〇 吨)
 ナンシー地方の主なる産出者は次の如し
 シャリトン、コンメントリー、エ、ヌーブ、メーゾン會社 三三〇、六七一(四二二、九八二) 吨
 オ、フルノー、エ、フォンデリー、ド、ボン、ア、ムツソン會社 一三八、一六八(一八四、五三二) 吨
 アールベツド 六四、三五一(七五、六〇二) 吨
 合計 六三九、五四〇 吨(一、〇七八、九五五 吨)

鑛石消費高

當年中山元鑛石ストック高は二、二〇四、九〇〇 吨から二、九二〇、三二〇 吨に増加した。而して後者は二箇月半分の鑛石産出高に相當して居る。近年に於ける鑛石の仕向地は第二表に示す通りであつて尙佛國の消費高並主要輸入國に於ける本鑛石消費高をも併記せり。各國に於ける本鑛石の消費高割合は第三表に百分率を以て示す通り興味ある變動を示せり。

本鑛石の佛國消費高は一九二九年以來大した變動なきもベルギーの消費高は四箇年間に於て二四・一%から三一・六%に著しき増加を示すと同時に一九三二年の消費高は本鑛石全輸出高の七六・五%に相當せり

(一九二九年は五九・九五)一方ルクセンブルグ、ザール及獨逸の本鑛石消費高は除々に減少を示してゐる。鑛産地からルクセンブルグ、ザール及ベルギーに至る鐵道運賃は取引助長の意味を以て引下げられたがベルギー向鑛石發送額の著しき増加はベルギーをして運賃引下の利益を專有せしむるに至つた。

勞働狀態

生産高減少と共に使用鑛夫に於ても一九三〇年の一八、九三三名一九三二年の一五、八七九名から一九三二年に於ては二二、一〇〇名に減少して居る。一九三二年の坑内勞働者數は一九三〇年の六一・六六%に、坑外勞働者數は七二・三六%に減少した。

佛國に於ては炭鑛業其他の基礎工業に於けると同様本鑛業に於ても亦他國人が勞働者の大部分を占めてゐる。一九三二年十二月三十一日現在登録勞働者一、〇二二名中三、三九八名が佛人で七、六二三名が他國人で内伊太利人三、五六二名波蘭人三、四二四名、ユーゴスラビヤ人二五五名を數ふる外其他小數の外國人をも含めり。ナンシー地方に於てのみ佛國人が他國人を凌駕して、全勞働者七九六名中八四名丈けが外人である。佛國に於ては其の他の鑛山業地方に於けると同様近年ムールト、エ、モゼル地方に於ても外國人勞働者の代りに自國民を使用する著しき傾向がある。現在までの處では此の政策は不生得生産縮小に依り妨げられ部分的成果を収めたのみであつた。一九一三年に於ては鑛夫の三一%が佛人で六〇%が伊太利人であつた、然るに一九二五年には波蘭人の移住に依り佛國勞働者は二八%伊國勞働者は五一%に減少した。同年に於ては勞働者の一二%が波蘭人であつたが此の比率は著々と増加し一九三〇年に於ては三七%に増加し佛國勞働者は總人員の二三%伊太利人は三三・五%を算するに過ぎなかつた。一九三二年に至り右三國民勞働者數の

均勢を見る様になつた即ち次の如し。

佛國人三二%、伊國人三二・五%、波蘭人三二%

労働者が事業不振の爲め鑛山から解雇せらるゝ時に於ては外人労働者の方が多く解雇せられた。

ブリエー地方に於ては自國労働者三三六名に對して外人労働者二、三二一名の解雇を見たのである。一九三二年中鐵鑛山に於ては若干賃銀給料の引下げはあつたが然し労働争議は見なかつた。

以上Iron & coal Trades Rev. Dec. 15 1933.

一九三三年十二月及同年中佛蘭西鐵鋼生産高

十二月末現在操業高爐數九〇基(前月より一基減)十二月中鉄鐵生産高五二三、〇〇〇噸(十一月五〇九、〇〇〇噸)内鹽基性鐵三八七、〇〇〇噸、含磷鑄物鉄七三、〇〇〇噸、半含磷鉄一九、〇〇〇噸、ヘマタイト鑄物鉄一五、〇〇〇噸、ベセマー及低磷フオーチ鉄一八、〇〇〇噸、鐵合金及スビーゲル一一、〇〇〇噸。

十二月中鋼生産高四九二、〇〇〇噸(十一月四八八、〇〇〇噸)内四八一、〇〇〇噸は鋼塊、一一、〇〇〇噸は鑄物、之を製法別に擧ぐれば次の如し。

鹽基性轉爐鋼三三三、〇〇〇噸、平爐鋼一四〇、〇〇〇噸、電氣爐鋼一五、〇〇〇噸、酸性轉爐鋼四、〇〇〇噸

全年の生産高次の如し。

鉄	一九三三年	一九三二年
鐵	六、三二八、〇〇〇噸	五、五四九、〇〇〇噸
合計		

鹽基性鐵	四、九六九、〇〇〇噸	四、三七四、〇〇〇噸
含磷鑄物鉄	六六八、〇〇〇噸	六一三、〇〇〇噸
含磷フオーチ鉄	九三、〇〇〇噸	五、〇〇〇噸
半含磷鉄	一九五、〇〇〇噸	八一、〇〇〇噸
ヘマタイト鑄物鉄	二〇〇、〇〇〇噸	一八一、〇〇〇噸
ベセマー及低磷フオーチ鉄	二〇三、〇〇〇噸	一六七、〇〇〇噸
鐵合金及スビーゲル	六、五二〇、〇〇〇噸	一三八、〇〇〇噸
鋼塊及鑄物合計	六、三七五、〇〇〇噸	五、六〇四、〇〇〇噸
鋼塊	一四三、〇〇〇噸	五、四三八、〇〇〇噸
鑄物	四、四三〇、〇〇〇噸	一六六、〇〇〇噸
鹽基性轉爐鋼	一、八五八、〇〇〇噸	三、七四八、〇〇〇噸
平爐鋼	一八〇、〇〇〇噸	一、六四五、〇〇〇噸
電氣爐鋼	五〇、〇〇〇噸	一五一、〇〇〇噸
酸性轉爐鋼		六〇、〇〇〇噸

一九三三年十一月十二月及全年中白耳義の鐵鋼生産高

十一月末現在操業高爐數三三三基及十二月末三三三基(十月末三三三基)十一月鉄鐵生産高二一五、五八〇噸、十二月二一九、九三〇噸、十一月の鋼塊生産高二〇七、七六〇噸、十二月二〇三、七〇〇噸、十一月鋼材生産高一六〇、六三〇噸、十二月一五七、四六〇噸。

全年の鉄鐵生産高二、七四四、五六〇噸(一九三二年二、七八三、五〇〇噸)鋼塊生産高二、六八八、七〇〇噸(一九三二年二、七五八、二八〇噸)鋼材生産高二、〇八七、六四〇噸(一九三二年二、〇五四、四七〇噸)石炭

生産高二五、二七七、六八〇吨（一九三二年二、四一三、五六〇吨） 骸炭生産高四、五四四、八六〇吨（一九三二年四、四七六、〇九〇吨） 特許燃料一、三八三、九九〇吨（一九三二年一、三二〇、七八〇吨）

以上アイアン、エンド、コイル、トレード、レビウ一九三四年二月九日

一九三三年十二月及全年中のルクセンブルク鐵鋼生産高

十二月の鉄鐵生産高一五三、六三五吨（十一月一四三、九七九吨） 鋼塊生産高一四七、〇〇六吨（十一月一三七、二〇七吨） 十二月末操業高爐數二一基（總數四四基） 全年の鉄鐵生産高一、八八七、五三八吨（一九三二年一、九六〇、一九〇吨） 鋼塊生産高一、八四四、八三八吨（一九三二年一、九五五、五七五吨）

一九三三年十二月及全年のザール鐵鋼生産高

十二月中ザール地方の操業高爐數一八基（總數三〇基） 鉄鐵生産高二二九、七〇九吨（十一月一三七、七一七吨） 鋼塊生産高二二九、一七二吨（十一月一四一、八九五吨） 鋼材生産高九七、七四四吨（十一月一〇二、二七五吨） 半製品生産高九、八〇二吨（十一月一〇、八三六吨）

全年の生産高次の如し

鉄鐵	一九三三年	一九三二年
鹽基性	一、五九一、七二五吨	一、三四九、四九三吨
鑄物鉄及直接鑄物	一、四四一、九八三吨	一、二五九、〇九一吨
鋼塊	一四九、七四二吨	九〇、四〇二吨
鹽基性轉爐鋼	一、六七六、二七二吨	一、四六三、四二九吨
	一、二二〇、〇三八吨	一、〇七八、一九三吨

鹽基性平爐鋼及電氣爐鋼	四四一、八五八吨	三七六、二九一吨
鑄物	一四、三七六吨	八、九四五吨
販賣用半製品	一二七、三一〇吨	一二四、三三二吨
材	一、二四五、六一八吨	九九四、四四七吨
軌道材料	一一二、〇四〇吨	八四、三七八吨
大形鋼（高サ八糎以上）	一七三、三二一吨	一二〇、七五八吨
棒及小形鋼	四三二、八五一吨	三五二、七二一吨
フ	一一五、八三一吨	八〇、七九〇吨
線	一六四、三二四吨	一三四、三二五吨
厚板及ユニバーサルフラット	八六、三八一吨	八二、七五六吨
中板、薄板及鉄力板	一一〇、〇〇三吨	九三、〇八一吨
チ	四二、二七三吨	三八、七八一吨
フ	七、四四二吨	六、〇七七吨
其他	一、一五二吨	七八〇吨

一九三三年十二月中及全年の獨逸鐵鋼生産高

十二月末現在操業高爐數四八基（前月末より二基減總數一五〇基） 鉄鐵生産高五三三、九〇三吨（前年十二月三六四、一五九吨） 内三三、〇五五吨はヘマタイト鉄、五七、一三九吨は鑄物鉄、三二〇、九八八吨は鹽基性鉄、一二一、四〇二吨は鐵合金並スピゲル其他。

鋼塊及鑄物の生産高七三〇、五六五吨（前年十二月五〇六、五二三吨） 内二七二、七九三吨は鹽基性轉爐鋼、四二五、七二七吨は鹽基性平爐鋼、三、九〇七吨は酸性平爐鋼、一〇、六四七吨は坩堝及電氣爐鋼、鑄物の内

鍊鐵ブルーム	三、五〇〇噸	五、二〇〇噸
ピレット	四、〇〇〇噸	三、〇〇〇噸
管材	七、七〇〇噸	一〇、三〇〇噸
線材	三三、一〇〇噸	三九、五〇〇噸
シト	一六、七〇〇噸	一九、〇〇〇噸
管	一、二〇〇噸	二、七〇〇噸
ワイヤ	二四、七〇〇噸	三〇、四〇〇噸
合	四、二〇〇噸	六、九〇〇噸
計	五、一〇〇噸	七、八〇〇噸
銑鐵、鐵合金、スポンヂ鐵、屑以外の鐵	一五三、二〇〇噸	二二四、九〇〇噸
銑鐵	二〇二、〇〇〇噸	一二七、七〇〇噸
鐵石	二、二一九、〇〇〇噸	二、八六四、〇〇〇噸
三、輸入	三、七〇〇噸	四六、三〇〇噸
銑鐵	三、七〇〇噸	三、〇〇〇噸
鐵合金	一	三、一〇〇噸
マンガン	五四、七〇〇噸	五九、七〇〇噸
屑	九〇、七〇〇噸	七四、一〇〇噸
バー、形鋼其他	一、四〇〇噸	一〇、一〇〇噸
線材	四、三〇〇噸	四、七〇〇噸
レール	一二、六〇〇噸	一一、三〇〇噸
鉄力板	二六、六〇〇噸	二九、七〇〇噸
厚板	二、一〇〇噸	二、〇〇〇噸
冷間壓延	二、一〇〇噸	二、〇〇〇噸

鑄鐵パイプ	一七、〇〇〇噸	二四、八〇〇噸
鍊鐵パイプ	九、八〇〇噸	九、三〇〇噸
合	二六一、六〇〇噸	二七五、四〇〇噸
計	一六四、五〇〇噸	一六六、〇〇〇噸

一九三三年ルクセンブルクの鐵鑛石生産高は前年の三、二一四、六九三噸に對し三、三六九、八六一噸に達し約四・八%を増加した。

以上アイアン、エンド、コール、トレード、レビウ一九三四年二月二十三日

一九三三年合衆國鐵鑛石生産高

一九三三年の合衆國鐵鑛石生産高は五%以上の満俺を含む鑛石を除き大約一七、五一一、〇〇〇噸に達し前年生産高に比し七八%の増加を示した(合衆國鑛山局發表)尙一九三三年に於ける鑛山からの積送高は概算二四、六〇八、〇〇〇噸に達し前年に比し三六二%を増加した。自一九二八年至一九三二年五箇年間の平均積送高四五、六一六、八〇三噸に比すれば一九三三年の積送高は四六%の減少を示した。昨年の積送高の約八七%はシュビーリオル湖地方から積送されたもので同地方に於ては約一四、五九四、〇〇〇噸の採掘高と二二、五一〇、〇〇〇噸の積送高とを記録し前年の採掘高並積送高に比し七九%と五〇一%との増加を示した。一九三三年に於ける山元一噸當り鑛石價格の平均は二弗五九見當で一九三二年に於ては二弗四二であつた。山元に於ける鑛石のストックは(主としてミシガン及ミネソダ)三八%の減少を示し即ち一九三二年の一七、六〇三、八七三屯から一九三三年には一〇、九四四、〇〇〇噸に減じた。

一九三三年に於けるチエコスロバキヤの鐵鋼生産高は前年に比すれば若干増加したとは云へ尙之を戰前の數字に比すれば鉄鐵に於て六〇%鋼に於て四〇%の減少を示してゐる。今過去五箇年間の生産數字を比較すれば次の如し。

	鉄	鋼塊
一九二九年	一、六四四、五〇〇噸	二、一九三、〇〇〇噸
一九三〇年	一、四三六、八〇〇噸	一、八三五、三〇〇噸
一九三一年	一、一六四、七〇〇噸	一、五二八、三〇〇噸
一九三二年	四五一、〇〇〇噸	六八六、八〇〇噸
一九三三年	四九八、九〇〇噸	七四七、三〇〇噸

尙一九三三年末の操業高爐數は總數二七基の内僅に七基であつた。

以上アイアン、エンド、コール、トレード、レビウ一九三四年三月二日

一九三三年西班牙の鐵鑛石生産、消費、輸出高

近年に於ける世界鉄鐵の一般的生産減少に漏れず西班牙の鉄鐵生産高も亦減少し一九二九年の七四九、〇〇〇噸から一九三二年には二八九、〇〇〇噸に減少したが一九三三年には若干回復して三二五、〇〇〇噸に増加し同時に鐵鑛石の産額並消費高も幾分増進を示した。一九三三年の鑛石産額は一、八三六、〇〇〇噸（一九三二年一、六九九、六五四噸、一九三二年三、一九〇、二〇三噸）に達し一方國內鑛石消費高は六五〇、〇〇〇噸（一九三二年五九三、〇〇〇噸、一九三二年九四五、三三〇噸）に達した。一九三三年産額の約七〇%はピ

スケー灣地方より採掘せられ殘部はサンタンデル、マラガ、アルメリア、及オウイェド地方より産出された。取引不振の爲め一九三三年中閉鎖の止むなきもの或は操短せる多數の鑛山があつた。

鑛石の輸出は一九三二年の一、三〇九、七二六噸から一九三三年には一、三二五、〇〇〇噸に僅少の増加を示したが對英輸出高は減少して僅に八三〇、〇〇〇噸又對獨輸出高も減少して、獨逸の西班牙鑛石月平均輸入高は一九二九年の二五二、〇〇〇噸から一九三三年には三二、五〇〇噸（一九三二年の月平均は三八、〇〇〇噸）に減少した。

一九三三年亞米利加諸製鋼會社の財政結果

最近の「スチール」誌掲載合衆國主要製鋼會社十一社の財政結果は別表の通りであるが右十一社の鋼塊能力は五四、〇三七、〇〇〇噸即ち全國製鋼能力の八〇・三%に相當するものであつて、一九三三年に於ける純缺損合計は五九、六〇五、八六六弗を計上した（前年缺損額一二六、七〇九、四八五弗）右十一社の缺損額より算定すれば一九三三年に於ける合衆國製鋼業全部の缺損額は一九三三年の一五七、八〇〇、〇〇〇弗に對し七四、二〇〇、〇〇〇弗に達す。一九三三年の鋼塊生産高二、八〇〇、〇〇〇噸及一九三二年の一三、三三〇、〇〇〇噸を基礎とし、鋼塊一噸當り缺損の平均は一九三三年約三弗二四、一九三二年二弗六四であつた。

附表、一九三三年合衆國主要製鋼會社損益一覽（星印ハ益、他ハ缺損）

會社名	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	年合計	前年合計	鋼塊年能力
United States Steel Corp.	\$16,730,271	\$8,627,367	\$2,717,014	\$7,945,465	\$36,020,097	\$71,175,704	27,630,000
Bethlehem Steel Corp.	5,769,451	3,312,846	283,097	* 629,671	8,735,723	19,404,431	9,457,000

Republic Steel Corp.	2,453,435	407,451	* 148,239	1,268,472	4,049,253	11,261,191	4,818,000
Jones & Laughlin Steel Corp.	2,060,645	1,682,801	1,143,917	626,418	5,366,997	7,910,149	3,420,000
Youngstown Sheet & Tube Co.	3,473,370	2,207,592	1,177,576	1,484,363	8,342,901	13,272,783	3,240,000
National Steel Corp.	* 280,844	* 1,532,466	* 756,565	* 242,530	* 2,812,406	* 1,652,919	2,292,000
Inland Steel Company.	1,012,053	* 25,760	* 623,612	* 529,373	* 166,693	3,045,628	2,000,000
Gulf States Steel Co.	93,481	18,646	* 166,670	* 138,498	* 138,041	518,315	480,000
Allegheny Steel Co.	131,937	* 282,918	* 152,293	11,257	* 292,017	1,052,080	450,000
Atlantic Steel Co.	—	—	—	—	609,325	575,933	180,000
Scullin Steel Co.	—	—	—	—	* 54,273	156,187	100,000

一九三三年洪牙利の鐵鋼及石炭生産高

一九三三年洪牙利の石炭及褐炭生産高は前年の六、八二六、二五二噸に對し六、七〇七、三〇二噸を算した。鐵鋼の生産高次の如し。

鐵	鐵	石	一九三三年	一九三二年
五〇、〇二〇噸	九三、〇七二噸	二二七、六六二噸	五五、五九〇噸	六六、二八〇噸
二〇九、一五六噸	一八、五〇六噸	一七九、八四〇噸	一六四、一〇二噸	一五、七三八噸

一九三三年印度の鉄鐵輸出高と鐵鋼製品輸入高

一九三三年英領印度の鉄鐵輸出高は三七一、七〇五噸に達し内英國へ八二、八二三噸、日本へ一七九、二〇

六噸、米國へ七一、九五二噸、獨逸へ五、五一三噸、其他の國へ三二、二二二噸を輸出せるが一九三二年の輸出高は二四八、三九六噸、一九三一年は三一八、九九四噸であつた。

鐵鋼製品の輸入高は三一五、三三二噸を算し内一五九、九一八噸は英國より一三五、三二七噸は大陸より一、七九八噸は米國より一八、一八九噸は其他の國より輸入せり。

因に一九三二年の輸入高は三三二、六六〇噸、一九三一年は四三〇、三九五噸であつた。

一九三四年一月ルクセンブルクの鐵鋼生産高

一月中の操業高爐數二二基(總數四六基)鉄鐵生産高一五三、四〇六噸、鋼生産高一五一、二七九噸。

一九三四年一月ザールの鐵鋼生産高

一月中の操業高爐數一九基(總數三〇基)鉄鐵生産高一四一、二四三噸、鋼塊一五四、五五一噸、壓延鋼材一一〇、五三一噸、(一九三三年十二月九七、七四四噸)販賣向半製品九、〇七六噸(前年十二月九、八〇二噸)

一九三四年一月獨逸の鐵鋼生産高

一月末現在操業高爐數五一基(總數一五〇基)前年十二月末現在數に比し二基を増加した。一月の鉄鐵生産高五四三、三三〇噸、内譯次の如し。

へマタイト鉄四一、四八七噸、鑄物鉄三七、四〇四噸、鹽基性鉄三四一、五五八噸、鐵合金及スピーゲル一二二、八八一噸
一月の鋼塊及鑄物生産高八一七、〇八三噸、内譯次の如し。

民國 20 年 21 年
中華民國鋼材輸入額表

年 次	全 輸 入 額		昭和四年ヲ二〇 トシタル指數	日本ヨリノ輸入額 昭和四年ヲ二〇 トシタル指數	全輸入額 日本ヨリノ 輸入額ノ比
	民國 20 年 (昭和6年)	民國 21 年 (昭和7年)			
Ungalvanized					
Angles	5,571.48 23,979.72	1,784.04 14,283.18	五九五、六〇八・五四	一〇〇	一五・九
Bar	13,022.46 153,506.46	8,176.20 127,855.02	四九三、六三六・六二	八三	一九・二
Nails	6,512.58 19,793.88	3,660.84 10,880.40	五三〇、三八四・〇二	八三	一九・二
Pipes and Tubes	5,858.34 22,368.06	3,074.52 9,672.72	四五二、一九六・四二	七六	一三・三
Rails	989.52 16,444.50	4,245.00 30,765.78	三五八、九二二・九〇	六〇	一一・四
Sheets and Plates	4,913.88 41,493.84	3,368.64 39,008.70	(七六)	六〇	一一・四
Tinned Plates	345.48 45,316.86	406.92 38,319.72	(八九)	六〇	一一・四
Galvanized					
Pipes and Tubes	1,022.22 6,113.10	925.02 5,241.30	九四、六〇六・三八	九四	一〇・〇
Sheets	15,121.86 30,606.12	10,434.36 26,529.66	七〇、七〇一・六六	七〇	一〇・〇
Wire and Wire Rope	7,025.40 22,959.78	7,081.32 24,319.38	(六〇)	六〇	一一・四
Bar Cropping and Ends	61,830.42	27,050.28	(七五)	六〇	一一・四
Steel, Bamboo, Spring and Tool	348.54 7,783.68	242.46 4,997.76	(六四)	六〇	一一・四
計	60,731.76 452,196.42	43,399.32 358,923.90	(一三)	六〇	一一・四

本表ニ於ケル細數字ハ全輸入額ヲ太數字ハ日本ヨリノ輸入額ヲ示ス

軌道材料	一九三四年一月	一九三三年一月
ユニバーサルフラット及八種以上形物	五三、七八八	四七、〇七七
バー及小形	五五、六九四	二〇、〇二八
フ	一五七、三〇二	八三、四三九
線	三四、九四一	二三、七八六
厚板(四・七六耗以上)	六二、七二二	五五、〇六四
薄板(三・四・七六耗)	五〇、五五七	一九、五二六
々(三耗未滿)	一二、九八一	七、四四〇
鉄力板	五五、五九二	三八、七六二
チユー	一八、〇九二	一三、九〇四
鐵道車輛材料	三二、二四八	二八、一四九
フオーヂング	六、四七一	四、六八八
其他	一三、八三四	九、三五八
合計	九、八〇九	四、八四〇
販賣向半製品	五六四、〇三一	三五六、〇六一
	五九、五五〇	四二、五九八

以上アイアン、エンド、コイル、トレード、レビウ一九三四年三月十六日

中華民國鋼材輸入額

鹽基性ベセマー鋼二八三、九六四噸、鹽基性平爐鋼四九三、〇八一噸、酸性平爐鋼八、〇四二噸、坩堝及電氣爐鋼一二、四九六噸

一九三四年一月獨逸の壓延鋼材生産高

附表 1

月別	鉄	合	鋼塊及鋼鑄					
			金	普通鋼			合金鋼	
				鋼塊	鑄鋼	計	鋼塊	鑄鋼
日本製鐵株式會社	※ 昭和9年1月 152,280 2月 133,930 3月 152,876 4月 151,251 5月 158,285 計 748,622 596,342	11 82 154 283 298 828	158,442 154,393 168,547 165,948 173,454 820,784	451 679 687 548 481 2,846	158,893 155,572 169,234 166,496 173,935 824,130	1,472 1,487 1,627 1,520 1,402 7,508	—	
其他製鐵會社	※ 昭和9年1月 7,786 2月 7,018 3月 7,735 4月 7,554 5月 7,024 計 37,117 29,331	473 450 437 706 2,037 4,103	115,743 130,623 144,674 136,863 128,181 656,084	4,663 5,409 6,451 6,020 6,114 28,657	120,406 135,532 151,125 142,883 134,295 684,241	3,174 4,015 3,274 5,137 5,235 20,835	587 562 642 627 662 3,080	

備考

1. 本表の數字は概算を示す
2. ※印……本年一月二十九日 日本製鐵株式會社に合同せる會社
3. ※印……同上日本製鐵株式會社に合同せる會社の生産を含まず

日本製鐵株式會社並に其他會社の鐵鋼生産高月別表 (朝鮮を含む) 單位 趙 (鐵山局調に依る)

附表 1

月別	銑鐵	合鐵	鋼塊及鋼鑄物						販賣向半製品				鋼材																	
			普通鋼			合金鋼			鋼片	シート	スケール	合計	普通鋼				鋼材				鍛鋼品	鑄鋼品	合計	合金鋼々材	鋼材總計					
			鋼塊	鑄鋼	計	鋼塊	鑄鋼	計					板			棒鋼	形鋼	軌條類	線材	鋼管						其他	計			
													耗○ 以・ 下七	其他	鉑力板															
日本製鐵株式會社	昭和9年1月	152,280	11	158,442	451	158,893	1,472	—	1,472	160,365	5,994	7,605	—	13,599	2,199	22,473	2,881	24,223	20,906	30,456	10,263	—	585	113,986	632	451	115,061	1,683	116,752	
	2月	133,930	82	154,393	679	155,572	1,487	—	1,487	157,059	6,724	10,202	—	16,926	2,348	17,366	2,357	22,252	17,027	26,750	9,029	—	542	97,671	653	679	99,003	1,343	100,346	
	3月	152,876	154	168,547	687	169,234	1,627	—	1,627	170,861	6,464	8,362	—	14,826	2,068	22,126	3,450	21,003	23,944	34,225	10,507	—	665	117,988	734	687	119,409	1,378	120,787	
	4月	151,251	283	165,948	548	166,496	1,520	—	1,520	168,016	6,833	9,855	—	16,688	1,902	20,634	3,437	22,179	19,266	30,280	9,505	—	583	107,786	599	548	108,933	1,361	110,294	
	5月	158,285	298	173,454	481	173,935	1,402	—	1,402	175,337	7,138	8,776	—	15,914	2,164	25,100	4,692	21,008	25,090	27,432	10,257	—	605	116,348	865	481	117,694	1,545	119,239	
	計	748,622	828	820,784	2,846	824,130	7,508	—	7,508	831,638	33,153	44,800	—	77,953	10,681	107,699	16,817	110,665	106,233	149,143	49,561	—	2,980	553,779	3,483	2,846	560,108	7,310	567,418	
		576,342	598,159			671,273			735,627					643,548																450,666
其他製鐵會社	昭和9年1月	7,786	473	115,743	4,663	120,406	3,174	587	3,761	124,167	521	4,499	—	5,020	19,048	25,320	—	29,575	7,040	—	21,178	7,873	2,571	112,605	4,792	4,663	122,060	2,269	124,329	
	2月	7,018	450	130,623	5,409	135,532	4,015	562	4,577	140,109	304	4,946	—	5,250	23,282	29,717	—	28,401	11,511	—	19,905	11,619	2,288	126,723	4,861	5,409	136,993	2,093	139,086	
	3月	7,735	437	144,674	6,451	151,125	3,274	642	3,916	155,041	944	5,064	—	6,008	21,701	22,953	(不 詳)	33,873	10,834	—	24,717	10,626	2,864	127,567	4,725	6,451	138,743	2,744	141,487	
	4月	7,554	706	136,863	6,020	142,883	5,137	627	5,764	148,647	1,293	4,306	—	5,599	23,552	31,374	—	30,450	10,884	—	20,048	10,708	3,596	130,612	4,641	6,020	141,273	3,094	144,367	
	5月	7,024	2,037	128,181	6,114	134,295	5,235	662	5,897	140,192	94	4,652	—	4,746	16,454	29,113	—	31,445	16,754	—	19,937	10,280	3,074	127,057	4,561	6,114	137,732	3,246	140,978	
	計	37,117	4,103	656,084	28,657	684,241	20,835	3,080	23,915	708,156	3,156	23,467	—	26,623	104,037	138,477	—	153,744	570,023	—	105,785	51,106	14,392	624,564	23,580	28,657	676,801	13,446	690,247	
		27,331	3,343			583,989			605,886					21,397																565,918

備考
 1. 本表の數字は概算を示す
 2. ※印……本年一月二十九日 日本製鐵株式會社に合同せる會社の生産全部を含む
 3. ※印……同上日本製鐵株式會社に合同せる會社の生産を含まず

各國鉄鋼月別生産統計

(單位千吨)

國際聯盟刊行 "Monthly Bulletin of Statistics" に依る 但し日本の分は鐵山局調に依る

附表 2

年次	獨逸		白耳義		加奈陀		西班牙		合衆國		佛蘭西		伊太利		日 本		ルクセンブルグ		波 蘭		英 國		露 西 亞		ザ ー ル		瑞 典		チエツコスロバークヤ		印 度		合 計		
	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	鉄	鋼	
1913年月平均	910	994	207	206	85	88	37	32	2,592	2,564	756	581	37	78	(c)	(a)	212	98	—	—	(e)	869	649	380	430	114	173	61	62	—	—	—	—	6,280	5,976
1920	532	650	93	104	82	93	21	13	3,069	3,461	279	226	7	64	61	70	58	49	4	6	680	768	10	14	54	59	39	42	(e)	61	81	—	—	5,050	5,703
1921	655	772	73	64	50	57	29	31	1,389	1,628	287	258	5	59	55	74	81	64	5	10	221	314	10	15	75	79	26	20	48	76	—	—	3,009	3,521	
1922	766	943	134	130	32	41	17	19	2,271	2,927	440	378	13	87	58	76	140	117	40	84	415	498	16	30	96	109	22	29	28	60	—	—	4,488	5,528	
1923	412	525	179	191	74	75	33	40	3,363	3,682	456	442	20	102	67	80	117	100	43	95	630	718	26	61	77	88	24	26	68	98	—	—	5,595	6,323	
1924	653	820	237	240	50	56	41	45	2,614	3,117	641	556	25	122	69	92	180	157	28	57	619	696	58	117	112	122	43	46	82	113	75	28	5,515	6,384	
1925	841	1,016	212	212	48	64	44	53	3,058	3,737	709	622	40	158	78	108	197	174	26	65	530	625	111	186	121	131	36	43	97	123	75	38	6,210	7,355	
1926	803	1,028	281	278	64	66	41	51	3,277	3,794	786	718	43	157	95	125	213	187	27	66	208	305	189	259	136	145	39	44	91	112	76	44	6,351	7,380	
1927	1,091	1,359	309	307	60	77	49	56	3,036	3,675	775	696	41	133	107	140	228	206	52	104	617	770	254	315	148	158	35	44	105	141	97	49	6,982	8,230	
1928	984	1,205	321	325	88	105	46	65	3,167	4,222	832	792	42	164	128	159	231	214	57	120	560	722	281	354	161	173	33	51	131	164	89	35	7,126	8,870	
1929	1,103	1,354	337	342	91	117	62	84	3,580	4,599	864	808	57	179	130	191	242	225	59	115	643	816	362	407	175	184	41	61	139	183	118	49	7,974	9,714	
1930	808	962	280	280	63	86	50	72	2,659	3,326	836	787	45	148	141	191	206	189	40	103	524	620	417	483	159	161	38	53	120	151	100	52	6,454	7,660	
1931	505	691	266	259	36	57	40	50	1,547	2,133	683	652	42	121	117	153	171	170	29	86	318	438	405	451	126	128	32	46	97	126	91	53	4,480	5,615	
1932	328	479	229	232	12	29	24	41	735	1,128	461	470	38	116	129	193	163	163	17	47	303	445	521	483	112	122	22	45	38	56	77	48	3,182	4,104	
1933	439	632	229	229	19	35	—	—	1,119	1,937	527	544	43	149	169	258	157	154	26	69	349	593	597	571	133	139	27	53	42	62	90	59	3,958	5,519	
1934年 1月	543	817	223	226	31	62	—	—	1,235	2,029	526	518	44	143	199	273	153	151	28	67	448	722	735	691	141	154	36	56	36	48	100	65	(f) 4,470	(f) 6,076	
2月	550	823	211	208	12	59	—	—	1,284	2,260	474	478	39	139	177	284	145	143	26	57	421	719	709	666	138	145	38	65	35	55	93	60	(f) 4,347	(f) 6,202	
3月	650	930	252	257	12	74	—	—	1,646	2,842	526	528	41	162	200	312	158	155	30	69	512	848	818	763	156	160	40	70	53	87	—	—	(f) 5,179	(f) 7,373	
4月	697	977	246	246	28	71	—	—	1,755	2,983	533	502	42	140	198	306	160	157	33	75	504	728	854	783	153	160	39	69	54	91	—	—	(f) 5,383	(f) 7,410	

- 備 考
1. 1913年の獨、佛の生産高は現在領域の分にして鉄鋼には鐵合金を含む
 2. (a)……鑄物を除く。
 - (b)……1932年に於て1932年全國總産額の93.71% 1933年に於て96.57% 1934年に於て98.10%を産したる主要製鋼所の分
 - (c)……日本の鉄鋼は朝鮮、滿洲を含む
 - (d)……鐵合金を含む
 - (e)……概算
 3. 鉄は鉄鋼、鋼は鋼塊及鑄物
 4. 本表の主要國生産高は鉄鋼に於て世界合計の約95% 鋼に於て96%に相當す

昭和八年本邦(内地)鐵鋼材輸出入高調

(單位 噸)

附表 3

品 目		前年月平均	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	上半期計	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	下半期計	年 計	前 年 計
輸	鐵 鋼 材 計	123,535	65,743	56,869	64,167	77,147	160,319	127,335	551,580	154,473	186,438	178,113	158,016	180,186	114,820	972,046	1,523,626	1,482,406
	鐵 鋼 (除滿洲鐵)	10,162	2,501	5,459	11,337	10,711	20,106	27,023	77,137	21,663	19,460	11,447	12,673	20,698	22,394	108,335	185,472	121,948
	合 金 鐵	48	42	27	52	45	72	95	333	32	89	47	8	2	3	211	544	582
	層 及 故	46,590	48,062	50,429	40,775	77,753	130,476	110,045	457,940	96,065	93,713	100,556	89,681	85,942	89,464	555,421	1,012,961	559,080
	シ ー ト バ ー	1,026	2,160	3,997	2,841	3,498	10,379	6,589	29,464	5,562	8,432	4,136	5,547	7,747	4,148	35,572	65,036	12,314
	其 他 ノ 塊 及 錠	1,103	1,127	778	1,514	10,183	7,626	6,751	27,979	6,398	3,357	1,097	212	479	227	11,770	39,749	13,232
	鋼 材 計	18,963	19,048	19,784	32,918	46,294	63,250	48,152	229,447	53,511	29,962	23,778	21,800	21,972	19,386	170,409	399,856	227,558
	丸 角 平	1,312	835	647	1,395	3,377	7,673	7,866	21,793	7,594	4,482	2,345	2,381	1,728	1,291	19,821	41,614	15,739
	テ ィ ア ン グ ル 等	1,916	324	1,753	1,302	3,097	5,994	4,256	16,726	7,272	3,853	3,007	3,321	2,097	2,560	22,110	38,836	22,987
	軌 條 及 繼 目 板	486	52	76	119	67	162	160	636	640	41	623	804	525	725	3,358	3,994	5,832
線 材	2,324	3,700	2,050	3,310	6,898	6,765	4,422	27,145	1,559	1,804	1,780	1,523	2,061	2,920	11,647	38,792	27,890	
非 鍍 金 板	硅 素 鋼 板	206	10	70	71	297	150	237	835	112	30	59	54	154	5	414	1,249	2,475
	薄 板	923	1	84	4	331	445	266	1,131	20	17	109	59	80	72	357	1,488	11,080
鍍 金 板	三 耗 以 下	325	732	566	744	2,104	2,004	2,012	8,162	2,991	501	660	591	399	651	5,793	13,955	3,904
	其 他	412	2,935	2,991	9,115	8,829	9,067	9,304	42,241	11,939	4,021	4,049	4,792	2,322	2,557	29,680	71,921	4,947
鍍 金 板	鍍 力 板	5,289	5,075	4,906	8,412	10,545	11,429	7,496	47,861	5,234	4,845	6,702	5,089	5,299	4,882	32,051	79,912	63,469
	亞 鉛 板 其 他	48	48	67	26	114	86	107	448	189	25	1	103	73	3	394	842	575
線	鍍 金	52	10	21	30	7	16	7	92	8	6	6	32	10	16	78	170	625
	其 他	145	36	34	43	79	96	221	509	160	71	135	87	138	187	778	1,287	1,736
リ ボ ン	368	204	226	298	581	549	558	2,416	471	216	215	242	276	488	1,908	4,324	4,422	
鐵 帶 及 箍	3,971	4,083	5,449	6,724	8,891	16,831	9,450	51,428	13,459	8,553	2,417	1,267	4,923	1,660	32,279	83,707	47,652	
線 索 等	21	6	22	11	17	24	12	92	18	1	30	11	23	15	98	190	251	
筒 及 管	697	591	365	672	430	1,072	811	3,941	780	707	830	893	1,509	675	5,394	9,335	8,367	
其 他	14	8	16	24	11	15	2	76	1	103	5	8	1	6	124	200	173	
釘 類	95	74	122	90	71	113	67	537	104	60	51	44	34	70	363	900	1,136	
建 築 材 料	75	10	10	1	2	—	—	23	2	—	50	8	3	1	64	87	901	
特 殊 鋼	283	314	309	527	546	761	898	3,355	958	626	704	491	317	602	3,698	7,053	3,395	
輸 出	鋼 材 計	10,129	10,001	14,908	16,331	14,940	12,480	22,432	91,092	27,308	24,087	22,968	22,186	25,169	33,105	154,823	245,915	121,554
	條 及 竿	1,676	1,607	2,552	2,686	982	3,451	1,977	13,255	3,548	4,598	5,573	4,312	5,824	8,019	31,874	45,129	20,107
	板	1,074	1,030	435	624	489	1,089	1,408	5,075	1,339	1,999	2,664	3,004	2,401	1,684	13,091	18,166	12,888
	線 及 索	1,000	1,298	790	1,503	2,075	2,437	2,391	10,494	2,469	2,123	1,761	2,419	2,147	2,827	13,746	24,240	12,004
	筒 及 管	1,254	1,073	687	1,684	1,401	2,040	2,320	9,205	1,866	4,705	4,759	2,082	3,089	3,759	20,260	29,465	15,053
其 他	3,542	3,750	9,574	9,142	9,077	1,607	11,973	45,123	15,437	7,473	5,550	8,259	9,588	13,039	59,346	104,469	42,504	
釘 類	1,583	1,243	870	692	916	1,856	2,363	7,940	2,649	3,189	2,661	2,110	2,120	3,777	16,506	24,446	18,998	

昭和八年英國鐵鋼輸出入表

輸 出

單位 英噸

月	1929年				1930年				1931年				1932年				1933年			
	9月	10月	11月	12月	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
7,527	226,606	250,683	257,232	244,991	2,706,668	1,795,426	2,123,816	4,137,931	5,689,379											
9,203	22,236	20,925	34,959	23,968	295,635	297,515	268,287	331,211	335,757											
5,181	9,496	11,279	11,642	12,711	119,671	76,881	78,265	216,444	289,353											
2,137	8,329	8,137	13,412	15,493	104,650	115,346	97,158	215,308	67,629											
5,351	3,336	4,486	2,185	3,432	37,693	35,281	109,764	118,650	47,507											
—	—	—	—	—	37	18,486	24,346	205	2,628											
9,000	1,000	3,000	8,090	3,900	55,276	85,928	148,730	171,673	71,886											
2,906	2,513	2,387	2,795	3,985	28,372	17,706	22,673	21,735	31,008											
200	247	93	16	458	2,472	4,796	21,512	34,761	41,647											
2,843	3,035	3,137	4,581	6,395	41,545	24,747	75,406	90,524	125,205											
175	131	94	7	62	657	828	106	5,928	5,246											
0,085	24,871	28,511	21,308	16,017	229,316	360,325	530,588	566,102	572,505											
4,168	8,980	8,626	7,850	11,324	84,503	377,933	727,018	526,956	418,838											
1,464	9,771	12,171	18,692	15,650	186,054	240,740	329,665	389,906	377,724											
78	—	30	60	7	470	800	10,224	8,125	12,253											
1,843	1,019	1,330	947	1,664	15,395	46,844	120,123	164,511	185,845											
6,015	5,933	4,487	6,936	7,194	77,551	69,970	115,565	121,395	141,363											
220	321	366	595	544	5,104	13,322	32,835	23,943	16,604											
197	111	189	214	231	1,477	1,032	1,942	1,879	2,931											
2	20	46	7	3	123	559	1,405	2,374	3,960											
41	24	56	22	6	498	1,570	6,471	12,414	14,156											
6,510	8,668	9,934	7,362	9,827	78,984	119,302	136,634	162,002	173,116											
1,696	2,341	2,120	2,327	2,297	36,980	75,735	150,446	162,341	196,883											
78	84	67	267	107	1,413	2,773	13,742	21,038	32,091											
1,592	1,243	1,216	883	1,516	15,102	17,374	61,803	60,790	78,435											
833	849	962	1,165	1,284	12,634	16,286	50,859	60,012	72,116											
1,239	1,872	2,454	1,863	1,506	19,185	22,869	61,735	64,485	68,076											
79	50	107	155	57	3,183	6,051	11,354	8,833	8,569											
268	182	271	168	211	2,357	3,581	7,601	11,094	14,578											
299	235	300	355	367	3,193	3,275	11,229	12,304	12,737											
1,847	88,671	96,991	105,339	106,791	1,076,075	1,707,589	2,949,116	3,127,421	2,889,911											
4,020	3,655	4,195	3,806	3,701	42,956	53,249	93,145	108,112	113,574											
品名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1923年合計	1932年合計	1931年合計	1930年合計	1929年合計			
鐵 鑄 石	4	17	141	152	71	67	74	46	15	223	—	40	850	1,802	1,499	4,304	6,586			
層	17,515	25,172	18,835	15,227	19,712	19,467	19,792	—	17,142	33,149	20,465	10,079	237,538	106,999	173,660	179,036	423,950			
銑 鐵	6,601	5,673	9,426	7,139	12,143	7,134	10,354	9,093	8,138	7,559	13,998	10,948	107,986	121,053	190,269	271,187	455,590			
鐵 合 金	275	128	148	199	497	205	657	242	337	691	372	415	4,179	6,692	12,147	46,002	89,527			
半 製 品																				
イ ン ゴ ッ ト	582	77	174	60	149	128	63	93	68	162	493	116	2,165	1,313	1,302	1,096	2,092			
プ ル ー ム、ピ レ ッ ト	357	485	884	458	1,432	1,150	1,025	1,008	2,352	1,464	861	1,223	12,696	7,729	6,141	7,539	13,565			
シ ー ト バ ー	27	2	1	15	30	6	2	34	32	39	14	18	220	194	54	557	1,187			
鋳 力 板 棒	864	1,167	—	784	—	819	831	5	—	4,914	874	1,993	12,251	5,182	1,712	9,583	5,414			
計	1,830	1,731	1,059	1,317	1,611	2,103	1,921	1,140	2,452	6,579	2,242	3,350	27,332	14,418	9,209	18,775	22,258			
棒 竿 其 他																				
(鐵)	509	587	505	400	816	484	680	364	497	558	657	608	6,537	6,902	9,698	18,204	27,148			
(鋼)	6,428	6,814	8,186	8,679	8,125	9,334	8,827	8,095	10,197	11,683	14,851	14,174	114,695	97,292	118,746	217,628	319,572			
フ ー プ 及 ス ト リ ッ プ	2,973	3,510	5,579	2,156	2,444	3,632	3,723	5,763	4,195	4,811	4,477	3,953	47,283	54,720	30,919	42,999	60,051			
厚 板 及 薄 板																				
1/2 in を下らざるもの	9,511	4,914	4,316	5,314	5,660	7,459	8,020	4,603	6,863	8,875	9,547	12,983	88,280	133,941	65,612	130,756	198,613			
1/2 in 未 滿	10,940	13,220	13,362	9,051	10,905	9,815	8,120	11,601	8,579	9,536	10,005	10,641	125,965	119,964	125,546	186,701	286,974			
黒 板	1,583	2,732	2,041	3,701	1,964	1,832	2,117	2,159	3,171	2,183	3,481	2,761	29,459	23,457	15,509	22,346	30,660			
亜 鉛 引 薄 板	20,962	18,675	23,035	18,901	21,099	18,431	20,153	23,985	22,028	41,151	23,461	23,998	275,796	278,318	288,107	431,743	711,770			
鋳 力 板	36,737	36,312	42,773	27,719	45,525	39,476	42,015	36,606	34,040	37,046	40,435	34,515	453,294	463,189	400,317	508,233	579,778			
鐵 道 材 料																				
軌 條 (新)	3,723	1,174	1,568	5,956	14,998	10,155	4,879	5,004	5,270	4,375	2,391	2,034	61,463	49,676	111,453	243,362	334,088			
枕 木 及 繼 目 板	688	625	3,009	292	2,149	789	529	452	249	1,403	2,025	1,161	13,356	27,750	55,046	63,975	51,773			
タ イ ヤ ー 及 車 軸	912	935	1,006	772	1,122	1,013	699	992	1,330	1,552	1,911	1,743	13,987	12,944	14,294	28,997	28,794			
車 輪 及 車 軸	43	233	365	308	433	479	172	194	213	184	648	465	3,737	3,534	7,867	16,903	16,678			
其 他	685	265	438	1,271	2,464	2,630	1,526	1,399	1,324	1,647	2,458	1,458	17,571	11,962	17,220	37,128	55,401			
計	6,051	3,232	6,386	8,599	21,166	15,066	7,805	8,041	8,386	9,161	9,433	6,861	110,114	105,866	205,880	389,465	486,734			
線	4,303	3,121	4,525	3,739	3,763	3,288	3,290	4,722	4,003	4,468	4,525	3,820	47,483	42,688	37,676	54,120	83,033			
ワ イ ヤ ー 製 品	1,929	1,727	1,744	1,600	1,739	1,586	1,703	1,907	1,976	1,851	2,344	1,942	21,981	19,723	21,600	34,421	49,642			
鑄 鐵 管	5,569	7,021	6,074	4,902	7,149	7,492	6,797	7,233	6,986	9,081	10,467	8,040	86,327	65,635	72,776	116,279	136,414			
鍊 鐵 管	18,427	15,912	13,145	16,491	16,770	12,720	14,994	12,467	17,936	18,322	14,799	15,058	186,726	152,547	131,322	230,335	317,677			
釘 及 リ ベ ッ ト	804	757	813	1,154	1,251	1,277	1,083	939	1,215	1,072	951	1,138	12,459	9,394	9,886	14,594	20,444			
ボ ー ル ト、ナ ッ ト	1,074	665	903	1,046	1,282	994	934	715	1,095	1,276	1,393	1,053	12,432	10,908	14,025	26,499	29,344			
特 殊 鋼	155	126	224	279	399	237	232	178	174	250	453	379	3,101	2,436	2,421	3,083	3,853			
鐵 鑄 物	43	78	89	105	98	68	94	86	115	100	104	350	1,344	1,114	2,341	2,277	1,603			
鋼 鑄 物	70	60	108	70	99	111	48	130	74	72	87	102	1,032	724	1,093	2,093	1,504			
ガ ー タ ー、ジ ョ イ ス ト	990	420	688	426	1,369	1,308	1,234	1,245	1,176	1,539	2,647	1,182	14,192	15,859	25,105	52,612	87,656			
△ 鐵 鋼 合 計	166,177	160,791	173,806	148,074	198,351	173,254	175,935	175,766	174,509	226,762	204,856	183,160	2,159,664	1,995,573	2,154,277	3,338,697	4,803,491			
機 械 類	18,822	19,234	22,305	21,088	23,736	23,876	23,767	23,240	24,853	25,142	27									

昭和八年英國鐵鋼輸出入表

附表4 輸 入

品名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1933年 合計	1932年 合計	1931年 合計	1930年 合計	1929年 合計	
鐵 鑄 石	163,583	210,635	218,261	215,510	242,177	214,037	229,023	227,527	226,606	250,683	257,232	244,991	2,706,668	1,795,426	2,123,816	4,137,931	5,689,379	
黃 鐵 鑄	17,875	30,666	24,099	23,648	25,296	16,373	28,778	29,203	22,236	20,925	34,959	23,968	295,635	297,515	268,287	331,211	335,757	
滿 俺 鐵	7,102	4,929	5,982	8,840	11,156	12,690	8,759	15,181	9,496	11,279	11,642	12,711	119,671	76,881	78,265	216,444	289,353	
銑 層	7,025	5,049	7,920	6,805	9,255	4,074	6,608	12,137	8,329	8,137	13,412	15,493	104,650	115,346	97,158	215,308	67,629	
鐵 鑄 物	3,413	4,245	3,862	4,148	4,569	2,034	2,828	5,351	3,336	4,486	2,185	3,432	37,693	35,281	109,764	118,650	47,507	
酸 性	1	10	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	18,486	24,346	205	2,628	
鹽 基 性	5,031	—	1,100	4,200	4,500	4,618	4,685	9,000	1,000	3,000	8,090	3,900	55,276	85,928	148,730	171,673	71,886	
鐵 合 金	1,539	1,467	2,018	2,171	3,122	1,363	2,060	2,906	2,513	2,387	2,795	3,985	28,372	17,706	22,673	21,735	31,008	
半 製 品																		
イ ン ゴ ッ ト	137	147	136	129	183	90	641	200	247	93	16	458	2,472	4,796	21,512	34,761	41,647	
線 材	2,757	2,479	3,198	2,576	3,194	2,883	4,469	2,843	3,035	3,137	4,581	6,395	41,545	24,747	75,406	90,524	125,205	
ビレット、ブルーム																		
(鐵)	79	5	—	27	5	50	72	175	131	94	7	62	657	828	106	5,928	5,246	
(鋼)	17,303	17,598	25,761	14,673	14,759	12,725	16,007	20,085	24,871	28,511	21,308	16,017	229,316	360,325	530,588	566,102	572,505	
シ ー ト バ ー	3,744	9,156	12,195	6,939	5,875	1,550	4,266	4,168	8,980	8,626	7,850	11,324	84,503	377,933	727,018	526,956	418,838	
棒、アングル、其他																		
(鋼)	10,011	17,132	23,196	18,485	19,549	18,983	11,111	11,464	9,771	12,171	18,692	15,650	186,054	240,740	329,665	389,906	377,724	
(ブライツ棒鋼)	3	17	71	86	35	43	40	78	—	30	60	7	470	800	10,224	8,125	12,253	
(鐵)	2,003	1,104	1,325	1,044	828	761	852	1,843	1,019	1,330	947	1,664	15,395	46,844	120,123	164,511	185,845	
ガ ー ダ ー	4,512	6,196	7,210	5,624	10,031	9,654	3,326	6,015	5,933	4,487	6,936	7,194	77,551	69,970	115,565	121,395	141,363	
鐵 道 材 料	268	389	805	487	465	272	321	220	321	366	595	544	5,104	13,322	32,835	23,943	16,604	
其 他 の 製 品																		
特 殊 鋼	54	54	106	40	81	60	105	197	111	189	214	231	1,477	1,032	1,942	1,879	2,931	
鐵 鑄 物	7	13	17	6	1	—	1	2	20	46	7	3	123	559	1,405	2,374	3,960	
鋼 鑄 物	55	66	103	22	56	81	55	41	24	56	22	6	498	1,570	6,471	12,414	14,156	
フープ及ストリップ	7,351	7,433	5,657	2,414	7,436	3,261	3,126	6,510	8,668	9,934	7,362	9,827	78,984	119,302	136,634	162,002	173,116	
厚 板、薄 板	3,216	4,294	4,050	3,382	4,080	4,185	2,987	1,696	2,341	2,120	2,327	2,297	36,980	75,735	150,446	162,341	196,883	
鑄 鐵 管	171	36	47	212	196	43	111	78	84	67	267	107	1,413	2,773	13,742	21,038	32,091	
鍊 鐵 管	1,405	952	1,466	1,013	1,265	1,381	1,226	1,592	1,243	1,216	833	1,516	15,102	17,374	61,803	60,790	78,435	
ワ イ ヤ ー	2,000	996	1,105	604	776	1,020	731	833	849	962	1,165	1,284	12,634	16,286	50,859	60,012	72,116	
ワ イ ヤ ー ネ ー ル	1,531	1,961	1,100	866	1,323	1,403	1,905	1,239	1,872	2,454	1,863	1,506	19,185	22,869	61,735	64,485	68,076	
其他のワイヤー製品	968	562	342	214	474	275	63	79	50	107	155	57	3,183	6,051	11,354	8,833	8,569	
釘、スクリウー	147	142	157	113	248	282	169	268	182	271	168	211	2,357	3,581	7,601	11,094	14,578	
ボルト、ナット等	147	168	296	161	298	242	324	299	235	300	355	367	3,193	3,275	11,229	12,304	12,737	
△ 鐵 鋼 合 計	76,497	83,008	104,883	77,696	94,182	73,093	70,042	91,847	88,671	96,991	105,339	106,791	1,076,075	1,707,589	2,949,116	3,127,421	2,889,911	
機 械	3,507	2,643	2,825	2,979	4,055	3,644	3,540	4,020	3,655	4,195	3,806	3,701	42,956	53,249	93,145	108,112	113,574	

△印 鐵鋼合計中には掲げざる項目の數量を含む (鐵石を除き屑を含む)

輸 出

品名	1月	2月	3月	4月	5月	6月
鐵 鑄 石	4	17	141	152	71	
層	17,515	25,172	18,835	15,227	19,712	19
銑 鐵	6,601	5,673	9,426	7,139	12,143	7
鐵 合 金	275	128	148	199	497	
半 製 品						
イ ン ゴ ッ ト	582	77	174	60	149	
ブルーム、ビレット	357	485	884	458	1,432	1
シ ー ト バ ー	27	2	1	15	30	
鉄 力 板 棒	864	1,167	—	784	—	
計	1,830	1,731	1,059	1,317	1,611	2
棒 竿 其 他						
(鐵)	509	587	505	400	816	
(鋼)	6,428	6,814	8,186	8,679	8,125	9
フープ及ストリップ	2,973	3,510	5,579	2,156	2,444	3
厚 板 及 薄 板						
inを下らざるもの	9,511	4,914	4,316	5,314	5,660	7
in 未 滿	10,940	13,220	13,362	9,051	10,905	9
黒 板	1,583	2,732	2,041	3,701	1,964	1
亞 鉛 引 薄 板	20,962	18,675	23,035	18,901	21,099	18
鉄 力 板	36,737	36,312	42,773	27,719	45,525	39
鐵 道 材 料						
軌 條 (新)	3,723	1,174	1,568	5,956	14,998	10
枕 木 及 繼 目 板	688	625	3,009	292	2,149	
タ イ ヤ ー 及 車 軸	912	935	1,006	772	1,122	1
車 輪 及 車 軸	43	233	365	308	433	
其 他	685	265	438	1,271	2,464	2
計	6,051	3,232	6,386	8,599	21,166	15
線	4,303	3,121	4,525	3,739	3,763	3
ワ イ ヤ ー 製 品	1,929	1,727	1,744	1,600	1,739	1
鑄 鐵 管	5,569	7,021	6,074	4,902	7,149	7
鍊 鐵 管	18,427	15,912	13,145	16,491	16,770	12
釘 及 リ ベ ッ ト	804	757	813	1,154	1,251	1
ボルト、ナット	1,074	665	903	1,046	1,282	
特 殊 鋼	155	126	224	279	399	
鐵 鑄 物	43	78	89	105	98	
鋼 鑄 物	70	60	108	70	99	
ガ ー タ ー、ジ ョ イ ス ト	990	420	688	426	1,369	1
△ 鐵 鋼 合 計	166,177	160,791	173,806	148,074	198,351	173
機 械 類	18,822	19,234	22,305	21,088	23,736	25

昭和八年佛蘭西鐵鋼材輸出入表

單位 噸

出	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1933年合計		1932年合計		1931年合計		1930年合計		1929年合計	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
1,167	10,833	12,268	10,096	14,484	5,248	15,442	7,227	14,968	4,694	14,374	9,971	13,729	12,035	13,826	7,498	14,994	6,454	10,466	91,876	172,418	42,375	197,631	87,933	427,051	159,741	527,065	40,161	561,128
416	90	371	124	594	58	607	64	569	293	453	72	1,073	53	440	65	732	77	1,164	1,352	7,483	1,558	5,610	2,761	11,147	6,042	9,840	15,929	10,279
438	1,006	1,011	433	656	198	814	...	368	52	242	...	653	...	919	86	963	35	451	2,480	7,500	1,459	16,217	1,652	75,182	6,353	68,391	112	40,621
5,049	4,929	126,102	7,205	135,854	5,642	139,494	2,667	128,255	1,447	122,799	2,961	119,238	2,279	114,990	4,424	104,114	3,310	53,735	55,917	1,380,265	88,879	1,282,482	87,904	1,743,743	84,296	1,996,441	46,414	2,078,161
127	333	104	480	208	307	128	284	78	298	91	335	106	248	316	337	95	313	112	3,885	1,624	2,772	1,219	5,034	2,716	6,745	2,590	9,286	4,059
2,338	1,065	10,389	524	12,170	1,261	10,044	808	11,908	309	13,582	674	7,387	941	11,569	17	13,026	831	11,369	7,858	136,476	4,600	118,745	1,434	149,768	2,138	163,673	1,172	208,129
7,939	675	9,610	1,104	9,640	458	9,622	842	8,050	401	9,007	281	9,438	409	9,372	409	8,939	364	13,810	7,507	117,306	5,768	98,682	8,889	113,792	13,689	101,281	6,230	95,495
2,563	2,835	16,711	1,654	17,613	2,300	13,367	1,600	18,352	1,477	13,546	2,609	12,528	2,418	11,304	3,105	10,256	2,234	14,706	30,155	164,142	29,064	138,328	64,345	218,265	13,856	175,128	25,146	171,934
3,603	226	2,875	738	2,893	294	2,516	279	3,635	225	2,965	472	3,386	402	2,564	174	3,364	232	3,909	4,116	38,166	4,284	30,267	9,835	34,314	24,821	25,359	27,379	30,317
7,098	339	8,588	279	7,357	244	5,787	282	6,304	392	4,207	287	5,511	215	4,695	357	4,034	290	1,537	3,693	66,401	3,235	58,828	4,906	62,571	6,279	49,517	4,561	48,482
1,676	79	8,351	31	13,942	67	11,466	18	17,284	5	13,100	21	14,597	129	16,396	19	13,329	28	14,097	515	152,905	2,038	144,457	2,436	279,434	2,155	330,326	6,260	325,643
439	190	491	300	556	95	410	77	508	50	233	87	876	118	974	70	376	29	1,162	1,328	7,166	549	6,721	4,344	16,602	5,764	21,568	1,393	23,852
282	18	225	34	340	41	268	29	305	13	301	26	213	17	275	7	463	4	415	254	3,619	210	2,588	383	3,021	426	4,496	166	5,892
1,850	351	13,285	353	14,897	...	13,881	879	12,201	633	13,739	355	14,445	532	13,822	501	15,029	437	16,156	5,368	154,362	17,762	114,985	5,240	181,784	15,704	236,589	10,435	277,819
9,043	286	12,299	872	11,589	230	11,443	421	6,611	237	7,419	207	6,273	324	5,778	236	9,537	164	9,136	4,763	102,779	10,703	107,314	28,181	180,195	45,719	231,918	36,050	231,934
3,676	236	3,134	177	3,284	127	2,910	141	3,232	134	2,974	88	4,922	83	1,352	96	2,685	102	3,684	1,751	35,774	1,949	32,789	4,579	38,750	4,849	45,594	82	11,694
5,363	803	7,889	941	7,007	807	9,540	565	7,449	742	7,279	625	3,847	841	3,674	893	3,064	624	4,724	9,280	71,857	9,197	48,390	15,203	40,601	21,004	59,718	19,275	71,380
8,793	9,319	25,762	9,380	29,257	10,794	26,564	17,564	26,861	14,322	22,809	9,339	22,782	7,049	26,851	8,698	27,768	10,329	26,356	117,384	319,394	46,695	296,570	58,558	354,029	68,920	315,737	53,419	332,060
5,860	33,613	259,475	34,725	282,341	28,171	274,303	33,747	266,938	25,742	249,120	27,410	241,004	28,093	239,117	26,992	232,767	25,865	186,989	349,482	2,939,637	272,997	2,701,823	390,616	3,932,415	538,501	4,365,231	303,470	4,528,889
5,489	55,254	994,029	32,177	966,277	55,310	974,679	46,269	862,345	67,785	882,544	46,456	899,482	54,289	895,526	26,313	768,140	42,376	1,000,724	560,567	10,985,576	334,928	10,060,866	781,676	12,317,199	1,011,538	14,983,622	1,141,428	16,388,935

昭和八年佛蘭西鐵鋼材輸出入表

附表 5

	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1933年
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
銑 鐵	3,468	16,592	8,309	16,107	7,042	15,167	10,833	12,268	10,096	14,484	5,248	15,442	7,227	14,968	4,694	14,374	9,971	13,729	12,035	13,826	7,498	14,994	6,454	10,466	91,876
鐵 合 金	166	679	137	386	153	416	90	371	124	594	58	607	64	569	293	453	72	1,073	53	440	65	732	77	1,164	1,352
銅 塊	128	890	299	94	242	438	1,006	1,011	433	656	198	814	...	398	52	242	...	653	...	919	86	963	35	451	2,480
半製品及パー	8,223	94,789	6,033	114,847	6,799	126,049	4,929	126,102	7,205	135,854	5,642	139,494	2,667	128,255	1,447	122,799	2,961	119,238	2,279	114,990	4,424	104,114	3,310	53,735	55,917
特 殊 鋼	312	113	385	157	254	127	333	104	480	208	307	128	284	78	298	91	335	106	248	316	337	95	313	112	3,885
線 材	505	10,817	...	11,847	923	12,338	1,065	10,389	524	12,170	1,261	10,044	808	11,908	309	13,582	674	7,387	941	11,569	17	13,026	831	11,369	7,858
フ ー プ	587	11,436	1,064	10,444	913	7,939	675	9,610	1,104	9,640	458	9,622	842	8,050	401	9,007	281	9,438	409	9,372	409	8,939	364	13,810	7,507
厚 板、薄 板	3,701	12,887	3,323	14,310	2,899	12,563	2,835	16,711	1,654	17,613	2,300	13,367	1,600	18,352	1,477	13,546	2,609	12,528	2,418	11,304	3,105	10,256	2,234	14,706	30,155
鉄力板其他	481	2,539	153	3,916	442	3,603	226	2,875	738	2,893	294	2,516	279	3,635	225	2,965	472	3,386	402	2,564	174	3,364	232	3,909	4,116
ワイヤー及 ワイヤー製品	353	4,134	346	7,150	310	7,098	339	8,588	279	7,357	244	5,787	282	6,304	392	4,207	287	5,511	215	4,695	357	4,034	290	1,537	3,693
軌 條	29	10,422	53	8,145	35	11,676	79	8,351	31	13,942	67	11,466	18	17,284	5	13,100	21	14,597	129	16,396	19	13,329	28	14,097	515
車輪、車軸其他	72	252	219	890	22	439	190	491	300	556	95	410	77	508	50	233	87	876	118	974	70	376	29	1,162	1,328
發 條	19	229	26	305	20	282	18	225	34	340	41	268	29	305	13	301	26	213	17	275	7	463	4	415	254
鑄 物	309	7,327	501	7,732	518	11,850	351	13,285	353	14,897	...	13,881	879	12,201	633	13,739	355	14,445	532	13,822	501	15,029	437	16,156	5,368
ジョイスト其他	488	4,022	538	9,630	759	9,043	286	12,299	872	11,589	230	11,443	421	6,611	237	7,419	207	6,273	324	5,778	236	9,537	164	9,136	4,763
ネール其他	145	2,541	165	1,381	256	3,676	236	3,134	177	3,284	127	2,910	141	3,232	134	2,974	88	4,922	83	1,352	96	2,685	102	3,684	1,751
チ ュ ー プ	779	2,427	841	9,593	819	5,363	803	7,889	941	7,007	807	9,540	565	7,449	742	7,279	625	3,847	841	3,674	893	3,064	624	4,724	9,280
屑	7,617	28,420	6,254	27,350	6,719	28,793	9,319	25,762	9,380	29,257	10,794	26,564	17,564	26,861	14,322	22,809	9,339	22,782	7,049	26,851	8,698	27,768	10,329	26,356	117,384
合 計	27,482	210,366	28,646	244,284	29,125	256,860	33,613	259,475	34,725	282,341	28,171	274,303	33,747	266,938	25,742	249,120	27,410	241,004	28,093	239,117	26,992	232,767	25,865	186,939	349,482
鐵 鑛 石	44,948	872,730	39,637	933,614	49,755	935,439	55,254	994,029	32,177	966,277	55,310	974,679	46,269	862,345	67,785	882,544	46,456	899,482	54,289	895,526	26,313	768,140	42,376	1,000,724	560,567

昭和八年白耳義及ルクセンブルグの鐵鋼材輸出入表

(單位 吨)

月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1933年 合計		1932年 合計		1931年 合計		1930年 合計		1929年 合計	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
62	14,887	71	14,926	116	15,291	88	15,971	80	14,970	94	11,770	43	10,594	46	12,599	118	8,690	167	148,520	1,009	164,993	896	178,914	374	168,123	597	177,987	74
321,168	412,019	349,555	505,371	354,510	402,696	275,150	400,352	269,723	395,580	270,995	398,008	287,489	517,478	319,525	400,197	325,564	305,296	266,601	5,223,784	3,587,585	6,736,050	3,490,751	9,528,436	5,467,835	10,294,128	4,062,222	11,375,147	3,790,155
80,485	151,652	55,336	157,197	65,662	150,307	61,929	140,749	60,231	135,847	75,170	134,099	92,868	129,001	99,580	134,894	97,132	148,686	69,025	1,754,726	914,198	1,942,504	980,215	2,153,380	862,549	2,946,643	793,319	3,404,633	738,101
38,463	16,052	41,698	19,909	39,507	19,592	35,235	20,065	27,348	22,227	38,424	22,023	43,599	17,059	42,219	10,029	49,792	16,902	31,809	210,386	473,223	203,090	565,765	244,292	939,958	179,564	711,409	184,081	742,472
—	20,291	1	22,393	1	7,551	—	14,927	300	9,879	—	18,161	—	18,480	—	9,006	220	13,110	853	167,082	1,375	153,636	17,716	242,122	2,894	261,045	188	328,667	427
43,592	821,351	38,045	912,110	32,532	910,256	51,647	832,764	31,954	755,629	31,555	777,150	58,957	710,525	49,096	821,130	60,255	777,365	31,100	9,822,170	498,826	9,481,189	359,718	10,668,445	329,088	12,860,453	509,071	14,057,024	817,953
3,090	10,861	3,303	22,766	2,096	21,600	2,213	2,465	2,878	20,994	3,712	19,732	4,969	14,428	2,255	15,708	3,450	12,025	3,761	215,176	37,618	211,742	36,270	301,494	70,139	399,692	115,411	673,786	121,042
901	337	710	242	1,996	337	1,173	390	2,086	363	2,051	409	1,426	329	1,400	219	1,429	247	2,049	3,765	18,355	3,893	16,606	7,375	27,917	9,284	44,164	7,604	37,927
37,782	1,082	25,405	1,899	21,273	2,127	24,975	1,719	20,036	1,284	24,999	1,703	28,440	1,868	36,157	1,267	31,440	1,098	35,778	18,788	351,709	19,981	554,582	75,432	519,877	123,016	406,451	161,195	494,918
560	148	101	230	595	139	475	175	380	173	279	194	108	144	404	206	98	160	399	2,085	4,172	1,278	4,823	2,232	7,502	3,261	13,275	5,249	5,496
16,805	111	14,333	78	20,424	122	14,398	98	9,983	72	11,305	67	11,611	83	14,874	146	12,734	95	12,230	1,268	170,143	1,410	161,001	1,570	148,748	2,423	146,751	2,963	171,997
5,099	62	1,794	207	6,850	134	3,150	57	1,064	37	808	53	2,106	62	1,351	39	2,391	31	5,836	1,040	37,768	2,552	27,172	11,234	503,682	21,769	575,803	12,657	604,650
3,418	153	5,248	22	7,678	332	4,460	33	3,452	69	3,733	36	5,185	20	1,922	323	3,837	347	2,673	2,908	48,280	1,220	54,496	4,507	109,141	6,956	148,538	3,119	187,764
69,528	177	61,771	209	67,518	227	61,907	456	47,906	216	44,997	248	52,990	195	45,935	108	44,921	409	42,998	2,785	643,619	2,357	519,366	5,447	554,554	9,980	555,919	15,273	579,830
5,288	1,034	4,491	1,416	5,694	1,678	5,581	1,598	5,615	1,363	5,261	1,266	6,666	995	5,463	1,210	5,468	1,350	4,641	15,735	61,376	13,805	66,180	17,527	79,932	21,553	97,803	22,231	97,090
23,999	647	20,353	645	23,444	731	23,053	744	21,472	755	20,384	542	24,086	713	23,778	600	26,804	758	28,500	8,273	283,457	7,314	284,545	9,668	315,196	10,965	339,322	11,585	425,115
41,178	580	45,276	623	48,482	930	51,933	715	39,928	423	35,113	286	46,134	172	43,402	244	45,988	283	38,108	6,648	509,583	6,830	460,959	—	—	1,458	6,584	4,295	35,940
915	616	1,123	369	1,342	560	1,066	534	1,308	906	1,234	1,085	980	893	1,017	886	809	553	1,018	8,571	11,902	7,432	9,286	10,052	12,590	21,177	24,018	18,184	43,365
5,771	279	3,412	338	4,618	314	5,009	344	4,544	315	4,141	340	4,824	358	4,125	387	6,168	347	4,568	4,128	56,047	4,003	60,254	5,390	106,752	7,388	109,444	8,140	121,300
98,232	281	86,041	609	92,596	541	92,174	545	75,660	471	62,287	569	65,913	553	62,270	695	65,080	356	64,076	6,198	925,284	6,517	1,072,715	13,022	1,208,067	17,197	1,270,025	26,388	1,606,039
24,341	7,962	14,077	10,015	16,529	13,128	22,537	13,095	14,077	3,954	26,427	3,468	19,850	6,344	33,101	4,852	22,490	2,193	24,598	99,224	274,154	133,071	121,493	196,442	192,920	74,811	382,996	144,739	310,029
336,747	24,330	287,438	49,668	321,135	42,900	314,104	42,968	250,389	31,395	246,731	29,998	275,278	27,147	277,454	26,890	273,107	20,252	271,233	396,592	3,433,467	423,405	3,449,749	661,392	3,857,017	730,765	4,236,725	1,117,408	4,842,502

昭和八年白耳義及ルクセンブルグの鐵鋼材輸出入表

附表 6

品 目	1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
褐 炭	10,784	22	10,311	100	7,726	62	14,887	71	14,926	116	15,291	88	15,971	80	14,970	94	11,770	43	10,594	46	12,599	118	8,690	
石 炭	420,502	273,748	533,117	273,557	530,474	321,168	412,019	349,555	505,371	354,510	402,696	275,150	400,352	269,723	395,580	270,995	398,008	287,489	517,478	319,525	400,197	325,564	305,296	266
骸 炭	142,582	70,990	157,401	85,790	172,311	80,485	151,652	55,336	157,197	65,662	150,307	61,929	140,749	60,231	135,847	75,170	134,099	92,868	129,001	99,580	134,894	97,132	148,686	69
ブリケット	14,651	41,189	16,014	43,941	15,861	38,463	16,052	41,698	19,909	39,507	19,592	35,235	20,065	27,348	22,227	38,424	22,023	43,599	17,059	42,219	10,029	49,792	16,902	31
滿 俺 鐵 石	16,431	—	7,896	—	8,553	—	20,291	1	22,393	1	7,551	—	14,927	300	9,879	—	18,161	—	18,480	—	9,006	220	13,110	
鐵 鐵 石	725,302	35,947	801,526	34,144	975,248	43,592	821,351	38,045	912,110	32,532	910,256	51,647	832,764	31,954	755,629	31,555	777,150	58,957	710,525	49,096	821,130	60,255	777,365	31
銑 鐵	18,041	2,953	18,937	2,935	17,916	3,090	10,861	3,303	22,766	2,096	21,600	2,213	2,465	2,878	20,994	3,712	19,732	4,969	14,428	2,255	15,708	3,450	12,025	1
鑄 物	303	1,662	300	1,464	289	901	337	710	242	1,996	337	1,173	390	2,086	363	2,051	409	1,426	329	1,400	219	1,429	247	2
ブルームピレット	1,171	29,651	1,452	35,771	2,092	37,782	1,082	25,405	1,899	21,273	2,127	24,975	1,719	20,036	1,284	24,999	1,703	28,440	1,868	36,157	1,267	31,440	1,098	35
特 殊 パ ー	132	492	221	278	160	560	148	101	230	595	139	475	175	380	173	279	194	108	144	404	206	98	160	
フ ー プ	125	13,257	94	18,190	177	16,805	111	14,333	78	20,424	122	14,398	98	9,983	72	11,305	67	11,611	83	14,874	146	12,734	95	13
鐵 道 材 料	95	1,952	49	5,263	203	5,099	62	1,794	207	6,850	134	3,150	57	1,064	37	808	53	2,106	62	1,351	39	2,391	31	5
軌 條	219	3,245	42	3,427	1,311	3,418	153	5,248	22	7,678	332	4,460	33	3,452	69	3,733	36	5,185	20	1,922	323	3,837	347	1
厚 板、薄 板	166	49,983	179	54,165	191	69,528	177	61,771	209	67,518	227	61,907	456	47,906	216	44,997	248	52,990	195	45,935	108	44,921	409	43
鉄 力 板、其 他	1,174	3,991	1,269	3,277	1,383	5,288	1,034	4,491	1,416	5,694	1,678	5,581	1,598	5,615	1,363	5,261	1,266	6,666	995	5,463	1,210	5,468	1,350	4
ワイヤー及 ワイヤー製品	823	22,198	623	24,367	678	23,999	647	20,353	645	23,444	731	23,053	744	21,472	755	20,384	542	24,086	713	23,778	600	26,804	758	28
建 築 用 材	823	38,612	728	35,438	840	41,178	580	45,276	623	48,482	930	51,933	715	39,928	423	35,113	286	46,134	172	43,402	244	45,988	283	33
チ ュ ー プ	634	478	753	636	782	915	616	1,123	369	1,342	560	1,066	534	1,308	906	1,234	1,085	980	893	1,017	886	809	553	1
ネ ー ル、ボ ル ト	395	3,765	308	4,425	353	5,771	279	3,412	338	4,618	314	5,009	344	4,544	315	4,141	340	4,824	358	4,125	387	6,168	347	4
其 他	468	80,130	585	80,812	524	98,232	281	86,041	609	92,596	541	92,174	545	75,660	471	62,287	569	65,913	553	62,270	695	65,080	356	6
屑	10,839	21,910	11,563	34,216	8,811	24,341	7,962	14,077	10,015	16,529	13,128	22,537	13,095	14,077	3,954	26,427	3,468	19,850	6,344	33,101	4,852	22,490	2,193	2
鐵 鋼 合 計	35,408	274,279	37,103	304,664	35,710	336,747	24,330	287,438	49,668	321,135	42,900	314,104	42,968	250,389	31,395	246,731	29,998	275,278	27,147	277,454	26,890	273,107	20,252	27

昭和八年獨逸鐵鋼材輸出入表

單位 吨

出	5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1933年合計		1932年合計		1931年合計		1930年合計		1929年合計	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
5,592	312,860	1,588,464	343,349	1,533,018	419,041	1,661,862	358,054	1,625,016	339,897	1,627,080	420,836	1,708,759	420,176	1,708,975	423,104	1,219,493	4,155,579	18,443,544	4,203,612	18,312,449	5,772,469	23,122,976	6,633,446	24,383,315	6,902,940	26,769,089
277	125,213	247	117,891	209	123,707	144	127,145	306	129,931	224	136,595	159	153,760	215	165,071	227	1,581,663	2,758	1,439,384	8,728	1,796,312	28,963	2,216,532	19,933	2,788,167	29,082
3,445	56,907	382,382	73,383	400,355	90,450	427,582	72,400	506,071	58,491	428,621	61,634	532,881	51,612	479,451	45,010	555,234	717,926	5,381,618	727,092	5,188,733	658,994	6,341,370	424,329	7,970,891	437,556	10,653,287
0,019	1,501	71,325	2,461	55,729	6,710	56,934	4,490	57,178	7,743	78,362	8,809	60,712	9,117	64,098	9,537	74,952	79,062	815,821	78,669	907,148	59,654	899,406	32,490	897,261	22,157	784,523
5,190	5,445	115,377	4,932	113,440	6,417	119,103	5,961	106,950	5,980	112,319	8,251	109,995	8,519	109,051	9,513	111,055	77,826	1,299,619	69,121	1,521,271	84,358	1,952,524	91,493	1,705,443	145,779	1,939,926
2,115	351,170	3,019	380,149	3,139	410,389	4,493	477,057	5,548	412,776	5,401	384,087	6,155	405,158	4,280	368,701	4,825	4,571,641	44,100	3,451,608	20,199	7,070,842	31,327	13,889,867	75,779	16,952,823	115,895
94	12,637	221	10,588	243	13,226	203	8,373	682	11,435	164	18,637	172	7,103	203	8,741	102	131,926	2,321	106,779	1,564	162,361	1,568	335,789	1,696	390,282	1,415
4,769	84,779	42,252	9,656	42,283	51,759	46,045	83,927	30,162	79,923	36,767	73,895	34,656	77,101	11,207	52,906	26,786	870,923	361,375	723,126	366,453	897,770	622,154	1,526,043	623,698	1,250,178	416,386
4,702	66,637	3,836	102,790	1,284	61,847	746	79,871	1,067	42,058	6,208	74,452	1,397	69,085	2,401	67,402	4,604	849,102	33,032	650,789	31,832	706,034	42,718	959,590	42,896	1,170,325	46,781
5,520	3,836	10,403	6,828	9,558	5,690	12,620	7,190	8,493	7,989	11,466	5,160	12,135	5,921	11,913	9,321	7,902	74,732	108,993	62,628	69,942	117,479	178,045	170,376	201,924	175,176	387,756
657	27	892	85	237	53	1,520	50	925	117	148	83	67	70	239	75	163	816	5,754	1,050	6,195	1,232	8,722	1,679	26,033	2,036	45,632
7,900	24,779	13,043	20,526	11,223	17,824	26,033	14,252	20,528	12,727	16,785	35,637	20,697	25,937	19,535	12,588	21,839	347,869	188,770	99,149	295,788	89,757	311,438	161,563	257,601	358,419	237,890
0,835	2,620	10,287	2,428	11,974	3,431	9,989	4,238	11,443	5,330	11,429	4,860	11,176	4,833	12,708	3,799	11,475	36,489	124,094	16,467	134,534	22,829	236,393	46,455	262,193	73,676	310,046
4,082	13,149	6,552	7,367	5,214	4,616	5,194	9,052	9,558	8,985	12,052	4,219	13,881	15,529	22,122	6,673	13,642	99,193	123,163	75,647	74,828	88,524	408,963	106,615	393,014	135,240	467,886
0,451	33,612	38,465	41,299	35,558	35,436	37,433	36,114	41,228	38,326	43,690	35,561	43,923	31,260	51,930	30,212	48,174	393,243	445,637	285,132	654,502	316,513	1,061,882	484,380	1,183,548	674,018	1,352,967
5,395	8,154	19,729	7,699	17,449	8,301	18,190	7,638	10,054	8,624	11,967	9,787	12,387	8,848	10,273	8,176	14,513	96,623	170,003	77,659	325,222	84,330	408,655	75,585	508,691	78,434	686,872
0,148	1,536	10,820	1,465	13,333	1,909	8,594	1,395	11,183	1,746	12,210	1,795	12,655	1,642	10,624	1,495	12,368	19,742	128,491	16,944	81,759	20,047	67,023	24,261	37,285	25,177	30,067
1,931	9,712	16,476	8,906	16,798	8,502	12,454	10,250	13,545	9,285	12,384	8,909	13,676	10,455	12,526	9,872	14,674	108,115	176,280	82,711	181,308	81,604	312,725	92,159	306,915	98,655	456,823
5,501	320	12,934	351	20,940	332	15,985	312	27,366	338	6,514	937	12,337	201	7,125	378	7,408	3,860	152,372	3,526	141,586	6,343	235,924	6,380	274,518	18,226	368,391
1,164	4,958	12,110	4,577	11,964	7,412	9,295	7,310	4,670	6,532	6,642	8,092	8,454	8,333	7,354	6,023	3,148	72,700	91,168	43,554	47,112	60,905	264,993	75,319	301,710	109,544	391,372
2,311	22	2,024	4	2,763	2	2,540	44	2,608	...	4,266	14	3,187	13	1,341	50	1,552	176	28,778	77	34,492	582	47,671	719	60,904	1,078	61,550
8,328	709	8,684	851	7,560	736	8,081	711	10,053	638	7,298	595	7,558	539	7,859	732	8,847	7,873	98,344	7,011	130,713	15,672	241,590	22,491	286,940	31,248	258,066
1,767	280	2,766	185	4,130	183	3,305	123	2,300	434	1,986	561	1,819	421	926	1,478	842	4,107	25,811	1,329	23,121	2,420	56,606	2,766	130,794	4,407	105,093
744	931	1,348	712	985	618	986	631	856	644	1,331	648	317	526	215	666	295	6,621	9,636	5,640	7,175	7,812	26,348	7,064	32,583	7,908	30,866
752	147	913	155	1,004	184	892	172	991	256	810	266	977	221	913	258	1,431	2,210	11,309	1,285	11,118	835	25,520	2,072	40,143	3,276	46,747
4,181	218	4,277	103	4,043	90	3,166	66	3,922	74	4,400	84	3,706	68	4,699	18	5,180	1,625	53,180	1,406	62,996	2,503	82,087	3,518	85,644	3,766	115,867
1,858	36	2,112	5	1,686	40	1,747	15	2,576	7	2,362	22	2,441	9	2,284	4	2,356	313	26,543	400	36,552	598	63,326	468	57,614	617	67,542
7,015	475	7,531	500	7,098	506	7,671	545	7,915	351	7,981	563	8,702	386	8,839	633	1,078	5,544	94,010	3,961	86,898	5,192	129,740	7,931	160,764	11,852	184,572
0,540	105,521	181,366	104,044	183,517	95,865	185,695	100,158	190,217	102,403	175,721	117,193	190,038	115,212	193,425	92,451	185,787	1,281,911	2,062,336	785,576	2,405,841	925,177	4,167,621	1,261,801	4,608,818	1,818,451	5,813,358
1,960	1,241	31,143	1,306	23,559	1,284	23,282	1,129	28,981	1,054	28,760	794	28,647	1,076	19,728	1,345	24,624	14,229	301,178	13,909	404,004	24,310	591,826	45,131	721,865	53,157	636,834

西班牙.....390,900 アルゼリヤ.....173,100 英領アメリカ.....223,700 諸 威.....252,100 ギリシヤ.....79,800 其 他.....残

昭和八年獨逸鐵鋼材輸出入表

附表 7

品名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
石炭	267,182	1,416,394	282,075	1,490,237	303,352	1,567,694	265,653	1,295,592	312,860	1,588,464	343,349	1,533,018	419,041	1,661,862	358,054	1,625,016	339,897	1,627,080	420,836	1,708,759	420,176	1,708,975	423,104	1,219,493
褐炭	121,438	187	123,792	291	137,886	272	119,234	277	125,213	247	117,891	209	123,707	144	127,145	306	129,931	224	136,595	159	153,760	215	165,071	227
焦炭	56,277	488,339	53,115	436,764	53,876	388,663	44,771	333,445	56,907	382,382	73,383	400,355	90,450	427,582	72,400	506,071	58,491	428,621	61,634	532,881	51,612	479,451	45,010	555,234
石炭ブリケット	10,171	82,554	8,788	68,059	5,618	78,689	4,117	90,019	1,501	71,325	2,461	55,729	6,710	56,934	4,490	57,178	7,743	78,362	8,809	60,712	9,117	64,098	9,537	74,952
褐炭ブリケット	5,849	103,106	6,432	119,545	6,242	73,494	4,285	105,190	5,445	115,377	4,932	113,440	6,417	119,103	5,961	106,950	5,980	112,319	8,251	109,995	8,519	109,051	9,513	111,055
鐵鑄石	375,859	1,590	301,265	1,627	377,772	1,868	327,258	2,115	351,170	3,019	380,149	3,139	410,389	4,493	477,057	5,548	412,776	5,401	384,087	6,155	405,158	4,280	368,701	4,825
滿鐵	14,049	122	9,982	45	9,873	71	7,282	94	12,637	221	10,588	243	13,226	203	8,373	682	11,435	164	18,637	172	7,103	203	8,741	102
紫鐵石其他	49,793	20,637	48,543	18,626	92,385	27,183	79,347	24,769	84,779	42,252	9,656	42,283	51,759	46,045	83,927	30,162	79,923	36,767	73,895	34,656	77,101	11,207	52,906	26,786
黃鐵	54,818	4,006	45,340	1,256	104,100	1,525	80,703	4,702	66,637	3,836	102,790	1,284	61,847	746	79,871	1,067	42,058	6,208	74,452	1,397	69,085	2,401	67,402	4,604
銑鐵	7,706	5,253	5,048	5,504	5,723	8,227	4,360	5,520	3,836	10,403	6,828	9,558	5,690	12,620	7,190	8,493	7,989	11,466	5,160	12,135	5,921	11,913	9,321	7,902
鐵合	33	75	31	64	97	187	55	657	27	892	85	237	53	1,520	50	925	117	148	83	67	70	239	75	163
鑄物	27,280	15,049	48,240	8,946	64,460	7,493	43,621	7,900	24,779	13,043	20,526	11,223	17,824	26,033	14,252	20,528	12,727	16,785	35,637	20,697	25,937	19,535	12,588	21,839
ブルム、ピレット	1,002	6,004	863	7,678	1,284	9,093	1,803	10,835	2,620	10,287	2,428	11,974	3,431	9,989	4,238	11,443	5,330	11,429	4,860	11,176	4,833	12,708	3,799	11,475
バー、セーフ	3,457	5,051	9,500	9,948	8,825	5,868	7,821	14,082	13,149	6,552	7,367	5,214	4,616	5,194	9,052	9,558	8,985	12,052	4,219	13,881	15,529	22,122	6,673	13,642
厚板、薄板	22,217	23,601	23,465	21,234	32,421	29,770	33,322	30,451	33,612	38,465	41,299	35,558	35,436	37,433	36,114	41,228	38,326	43,690	35,561	43,923	31,260	51,930	30,212	48,174
力板	7,144	15,975	7,384	11,177	7,282	12,894	7,586	15,395	8,154	19,729	7,699	17,449	8,301	18,190	7,638	10,054	8,624	11,967	9,787	12,387	8,848	10,273	8,176	14,513
ワイヤー	1,801	10,511	1,301	6,442	2,162	9,600	1,496	10,148	1,536	10,820	1,465	13,333	1,909	8,594	1,395	11,183	1,746	12,210	1,795	12,655	1,642	10,624	1,495	12,368
チユープ	6,987	17,217	6,361	16,960	9,578	17,637	9,297	11,931	9,712	16,476	8,906	16,798	8,502	12,454	10,250	13,545	9,285	12,384	8,909	13,676	10,455	12,526	9,872	14,674
軌條及枕木其他	238	11,818	656	6,548	134	7,994	263	15,501	320	12,934	351	20,940	332	15,985	312	27,366	338	6,514	937	12,337	201	7,125	378	7,408
車軸、車輪	4,253	3,441	4,909	4,876	5,704	8,050	4,625	11,164	4,958	12,110	4,577	11,964	7,412	9,295	7,310	4,670	6,532	6,642	8,092	8,454	8,333	7,354	6,023	3,148
フオーデング	...	3,588	...	835	28	1,763	...	2,311	22	2,024	4	2,763	2	2,540	44	4,266	...	4,266	14	3,187	13	1,341	50	1,552
建築用材及ガーター	533	8,380	534	6,433	700	9,263	593	8,328	709	8,684	851	7,560	736	8,081	711	10,053	638	7,298	595	7,558	539	7,859	732	8,847
鐵道材料	156	436	39	3,449	...	2,088	245	1,767	280	2,766	185	4,130	183	3,305	123	2,300	434	1,986	561	1,819	421	926	1,478	841
ボルトリベット	125	585	134	893	282	1,085	705	744	931	1,348	712	985	618	986	681	856	644	1,331	648	317	526	215	666	292
ワイヤー製品	90	963	97	718	232	952	131	752	147	913	155	1,004	184	892	172	991	256	810	266	977	221	913	258	1,431
ネール其他	85	5,537	152	5,207	439	4,865	228	4,181	218	4,277	103	4,043	90	3,166	66	3,922	74	4,400	84	3,706	68	4,699	18	5,186
其他	37	2,457	34	2,435	57	2,228	48	1,858	36	2,112	5	1,686	40	1,747	15	2,576	7	2,362	22	2,441	9	2,284	4	2,351
鐵鋼合計	300	6,965	376	6,926	396	7,461	489	7,015	475	7,531	500	7,098	506	7,671	545	7,915	351	7,981	563	8,702	386	8,839	633	1,071
機械及部分品	83,444	142,906	109,124	125,553	139,817	143,524	116,688	160,540	105,521	181,366	104,044	183,517	95,865	185,695	100,158	190,217	102,403	175,721	117,193	190,038	115,212	193,425	92,451	185,781
	1,067	22,509	1,211	20,671	1,210	26,763	1,320	21,960	1,241	31,143	1,306	23,559	1,284	23,282	1,129	28,981	1,054	28,760	794	28,647	1,076	19,728	1,345	24,621

備考 1933年鐵鑄石輸入先別噸數次の如し

瑞典.....2,256,600

佛國.....1,030,700

西班牙.....390,900

アルゼリヤ.....173,100

英領アメリカ.....223,700

諾威.....252,100

ギリシヤ.....

昭和八年合衆國鐵鋼材輸出入表

附表 8 輸 出

輸 入

品 名	輸 出												1933年					輸 入				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	合計	合計	合計	品 名	1月	2月	3月	
鉄 鐵 及 海 綿 鐵	371	192	105	339	88	94	106	412	152	405	42	448	2,754	2,324	6,719	13,680	46,357	鉄 鐵 及 海 綿 鐵	6,444	8,469		
鐵 合 金	—	—	—	—	1	4	3	3	16	6	6	5	44	33	1,309	6,854	1,574	鐵 合 金 及 ス ピ ー ゲ ル	3,561	875		
層	31,813	38,141	57,522	73,719	89,328	64,831	47,552	70,145	40,536	81,176	85,603	100,983	781,349	227,495	135,902	350,499	557,044	層	212	204		
ブ ル ー ム、ビ レ ッ ト 其 他	91	4	154	245	172	89	149	699	448	846	112	150	3,159	1,627	7,965	17,032	42,690	ブ ル ー ム、ビ レ ッ ト 其 他	3	53		
ス ケ ル プ	157	238	83	512	1,102	2,570	3,568	1,184	4,821	3,763	4,724	532	23,260	25,465	56,496	119,884	130,975	線 材	1,196	918		
線 材	711	2,025	148	1,488	532	1,312	1,038	1,268	428	2,645	2,062	3,210	16,877	14,813	32,074	39,777	42,251	軌 條、 繼 目 板	201	78		
棒	1,138	1,456	1,437	1,734	1,745	2,177	2,098	2,675	1,759	2,654	2,208	3,642	24,723	17,607	46,497	89,574	204,711	建 築 用 形 物	1,673	1,597		
厚 板、 薄 板	3,020	2,632	2,700	1,938	3,275	2,554	3,381	4,260	7,334	8,872	7,338	7,715	54,963	51,029	140,609	247,672	383,152	厚 板、 薄 板	1,277	1,053		
亜 鉛 引 薄 板	2,487	1,573	2,596	2,218	3,092	3,406	3,099	3,169	12,280	9,473	3,270	7,193	53,856	26,655	47,067	93,494	151,510	棒	2,020	2,089		
フ ー プ 其 他	944	1,432	1,266	1,102	1,706	2,134	2,721	1,939	1,729	1,424	1,974	1,871	20,252	17,778	28,233	39,315	70,864	フ ー プ 其 他	1,445	1,751		
鉄 力 板	4,433	2,905	3,394	3,501	4,189	5,651	6,276	7,333	7,490	15,448	15,647	18,971	95,238	39,603	84,549	225,640	258,965	チ ュ ー プ (Wrought)	357	414		
ジ ョ イ ス ト、ガ ー タ ー 其 他	962	1,380	1,561	1,927	2,254	2,238	2,226	3,835	3,800	4,312	2,518	4,070	31,139	32,162	120,891	243,873	400,612	ネ ー ル 其 他	1,027	579		
鋼 軌 條	2,320	759	104	2,032	1,362	524	1,576	2,951	6,277	7,401	7,472	9,102	41,880	11,344	33,418	95,301	146,060	ワ イ ヤ ー 及 ワ イ ヤ ー 製 品	2,289	1,533		
レ ー ル フ ア ス ニ ン グ ス イ ッ チ 其 他	385	156	85	191	171	304	401	1,180	686	2,409	3,437	4,131	13,536	3,742	8,073	19,515	32,597	鑄 鐵 管	54	—		
チ ュ ー プ (Wrought)	2,856	5,945	3,737	4,987	6,868	5,089	5,543	5,748	8,175	12,813	8,371	10,194	80,374	52,125	89,623	170,585	278,279	鉄 力 板	19	20		
マ リ ア プ ル バ イ プ フ ッ チ ン グ ス	112	104	235	127	193	159	212	229	220	453	219	237	2,500	1,677	4,509	10,931	12,534	合 計 (掲 げ ざ る も の を 含 む)	21,892	19,748	2	
素 線	390	500	571	567	889	1,694	1,526	3,320	2,847	3,420	2,870	3,346	21,940	8,384	14,144	26,480	45,505					
棘 線 其 他	1,039	1,887	1,997	1,294	2,884	3,055	2,670	4,059	3,488	2,993	3,581	3,875	32,842	20,038	27,537	45,229	73,103					
ネ ー ル 其 他	816	871	729	651	988	1,543	1,348	1,893	1,449	1,162	1,278	1,486	14,215	11,930	12,655	14,349	23,343					
ホ ー ル ト、リ ベ ッ ト	185	241	312	282	264	262	214	240	327	560	357	441	3,686	2,714	4,856	10,134	16,235					
鑄 鐵 管 其 他	434	395	519	421	878	1,546	1,127	1,081	2,674	779	1,265	475	11,594	8,410	21,059	31,587	46,919					
車 輪 及 車 軸	777	429	250	228	222	285	142	392	288	240	1,208	479	4,940	2,884	6,395	14,968	21,459					
鑄 物 (鐵 及 鋼)	367	127	417	122	145	208	432	586	612	314	1,193	638	5,161	4,870	7,420	15,993	21,800					
フ ォ ー ジ ン グ	203	224	249	283	403	149	214	171	352	331	248	323	3,148	3,689	7,393	8,499	12,070					
合 計 (掲 げ ざ る も の を 含 む)	56,720	63,936	80,567	100,395	123,069	102,581	88,311	119,374	108,799	164,755	157,600	184,585	1,350,692	595,691	965,268	1,985,025	3,037,857					

昭和八年獨佛鋼材品目別生産高

佛 蘭 西

單位 吨

						1933年	1932年	1931年	1930年													1933年	1932年	1931年	1930年
7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	合計	合計													合計	合計	合計	合計
49,121	55,509	59,305	47,102	48,607	59,911	618,822	412,332	770,397	880,134													30,000	31,000	55,000	79,000
36,433	33,945	31,708	50,270	48,491	46,286	421,150	330,899	492,493	902,382													47,000	38,000	74,000	85,000
133,263	158,070	134,870	150,758	139,224	147,620	1,462,497	1,083,088	1,557,542	2,216,405													324,000	231,000	391,000	592,000
33,629	34,487	30,031	33,790	31,995	30,250	368,435	233,356	278,679	363,810													72,000	70,000	116,000	197,000
55,870	58,710	54,742	59,750	62,554	61,021	673,980	577,255	733,902	863,794													26,000	18,000	34,000	53,000
29,768	30,645	28,075	32,124	35,124	41,061	341,825	308,988	430,000	746,946													488,000	510,000	692,010	786,000
9,361	9,925	9,740	11,955	11,866	11,544	119,711	135,533	142,423	163,147													267,000	219,000	329,010	354,000
46,589	46,913	49,625	52,091	54,999	52,887	547,240	432,126	526,134	767,313													139,000	145,000	175,000	185,000
19,404	21,499	18,702	17,954	19,157	17,214	207,277	141,134	149,035	126,496													237,000	205,000	209,000	234,000
26,716	32,615	30,982	33,014	31,416	29,987	376,051	262,738	404,602	633,635													60,000	51,000	52,000	73,000
7,549	8,509	9,251	9,054	6,944	7,660	83,199	75,046	105,566	144,296													159,000	154,000	147,000	207,000
11,475	11,901	11,466	11,370	12,547	12,888	136,890	108,766	155,646	188,467													129,000	114,000	152,000	191,000
9,336	8,583	9,478	8,360	11,798	11,412	106,156	85,409	114,485	155,198													1,503,000	1,375,000	1,926,000	2,301,000
468,514	511,311	477,975	517,592	514,722	529,741	5,463,233	4,186,670	5,860,904	8,152,025													113,000	72,000	90,000	89,000
39,690	45,318	45,607	48,487	55,878	46,744	543,138	319,309	722,866	919,805													652,000	568,000	569,000	707,000
																						240,000	226,000	314,000	376,000
																						33,000	43,000	60,000	82,000
																						353,000	355,000	412,000	385,000
																						422,000	418,000	396,000	388,000
																						371,000	356,000	342,000	338,000
																						4,519,000	4,070,000	5,470,000	6,587,000
																						104,000	79,000	91,000	93,000
																						111,000	105,000	97,000	108,000
																						96,000	92,000	94,000	81,000
																						1,128,000	994,000	1,329,000	1,571,000

昭和八年獨佛鋼材品目別生産高

附表 9 獨 逸

品 目	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1933年 合計	1932年 合計	1931年 合計	1930年 合計
軌 道 材 料	48,117	47,651	60,147	41,603	46,307	56,455	49,121	55,509	59,305	47,102	48,607	59,911	618,822	412,332	770,397	880,134
平鋼及八種以上形物	20,209	17,437	31,090	34,967	37,210	33,362	36,433	33,945	31,708	50,270	48,491	46,286	421,150	330,899	492,493	902,382
棒 鋼 及 小 形	82,595	77,626	100,267	91,741	110,098	117,828	133,263	158,070	134,870	150,758	139,224	147,620	1,462,497	1,083,088	1,557,542	2,216,405
フ ー プ	23,942	20,539	27,043	29,080	35,357	36,046	33,629	34,487	30,031	33,790	31,995	30,250	368,435	233,356	278,679	363,810
線 材	54,980	45,006	62,503	48,423	56,667	52,720	55,870	58,710	54,742	59,750	62,554	61,021	673,980	577,255	733,902	863,794
鋼板 4.76 耗 以上	19,270	18,468	22,558	23,675	32,560	29,016	29,768	30,645	28,075	32,124	35,124	41,061	341,825	308,988	430,000	746,948
薄 板 3—4.76 耗	7,454	7,889	9,214	9,673	11,803	9,431	9,361	9,925	9,740	11,955	11,866	11,544	119,711	135,533	142,423	163,147
薄 板 3 耗 未 滿	38,578	32,466	41,471	38,748	46,414	44,068	46,589	46,913	49,625	52,091	54,999	52,887	547,240	432,126	526,134	767,313
鋳 力 板	13,904	13,333	17,508	14,578	16,773	17,257	19,404	21,499	18,702	17,954	19,157	17,214	207,277	141,134	149,035	126,496
チ ュ ー プ	27,742	18,252	32,014	34,896	38,974	35,436	26,716	32,615	30,982	33,014	31,416	29,987	376,051	262,738	404,602	633,635
鐵道車輛材料	4,667	5,442	5,812	6,283	6,972	5,684	7,549	8,509	9,251	9,054	6,944	7,660	83,199	75,046	105,566	144,296
フオーチング	8,995	8,928	11,055	9,902	11,326	11,645	11,475	11,901	11,466	11,370	12,547	12,888	136,890	108,766	155,646	188,467
其他ノ製品	4,822	4,994	10,020	7,094	9,663	10,261	9,336	8,583	9,478	8,360	11,798	11,412	106,156	85,409	114,485	155,198
合 計	355,275	318,031	430,702	393,663	460,124	459,209	468,514	511,311	477,975	517,592	514,722	529,741	5,463,233	4,186,670	5,860,904	8,152,025
販賣向半製品	42,186	39,039	43,242	43,260	41,418	45,681	39,690	45,318	45,607	48,487	55,878	46,744	543,138	319,309	722,866	919,805

佛 蘭 西

品 名	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
タ イ ヤ ー	2,000	2,000	3,000	3,000	2,000	3,000
車軸其他のフオーチング	3,000	3,000	4,000	3,000	4,000	4,000
軌 條	21,000	26,000	36,000	28,000	30,000	29,000
枕 木	5,000	5,000	8,000	6,000	10,000	8,000
軌 條 附 屬 品	2,000	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000
ヂ ヨ イ ス ト 其 他	38,000	36,000	38,000	42,000	54,000	55,000
線 材	21,000	21,000	21,000	22,000	25,000	19,000
ワ イ ヤ ー	12,000	13,000	12,000	11,000	12,000	11,000
フ ー プ 其 他	21,000	19,000	23,000	19,000	18,000	23,000
管 材	3,000	4,000	6,000	5,000	5,000	4,000
チ ュ ー プ	14,000	12,000	13,000	13,000	17,000	15,000
特 殊 棒 鋼	12,000	10,000	11,000	9,000	11,000	10,000
市 場 向 棒 鋼	122,000	121,000	140,000	134,000	140,000	147,000
鋳 力 板	7,000	8,000	10,000	10,000	10,000	10,000
中 板 及 薄 板	50,000	52,000	59,000	53,000	56,000	56,000
厚 板	18,000	20,000	23,000	21,000	22,000	20,000
平 鋼	2,000	2,000	3,000	4,000	4,000	2,000
合 計	353,000	355,000	412,000	385,000	422,000	418,000
販賣向半製品	104,000	79,000	91,000	93,000	111,000	105,000

附表 10 世界主要國鐵鑛石需要調

(資料 Iron & Coal Trades Review)

(單位千噸)

		1929 年	1930 年	1931 年	1932 年
英 國	產 額	13,426	11,813	7,748	7,446
	輸 入	5,780	4,204	2,124	1,795
	輸 出	7	4	1	2
	差引需要	19,199	16,013	9,871	9,239
米 國	產 額	74,196	59,343	32,162	10,031
	輸 入	3,190	2,820	1,489	592
	輸 出	1,325	764	443	200
	差引需要	76,061	61,399	33,208	10,423
獨 逸	產 額	6,374	5,741	2,621	1,340
	輸 入	16,953	13,890	7,071	3,452
	輸 出	116	76	31	20
	差引需要	23,211	19,555	9,661	4,772
佛 國	產 額	50,731	48,571	38,526	27,761
	輸 入	1,141	1,012	782	335
	輸 出	16,404	14,984	12,317	10,061
	差引需要	35,468	34,481	26,991	18,035
白 耳 義 及 ル ク セ ン プ ル グ	產 額	7,727	6,785	4,891	3,416
	輸 入	14,057	12,860	10,668	9,481
	輸 出	818	509	329	360
	差引需要	20,966	19,136	15,230	12,537
西 班 牙	產 額	6,547	5,517	3,127	1,700
	輸 入	—	—	—	—
	輸 出	5,595	3,724	1,873	1,310
	差引需要	952	1,793	1,254	390
日 本 (編 譯 者 含 入)	產 額	1,518	1,711	1,548	1,582
	輸 入	1,984	2,001	1,553	1,482
	輸 出	—	—	—	—
	差引需要	3,502	3,712	3,101	3,064
世 界 產 額		199,143	177,812	119,894	86,364(概算)

産額 (単位英屯)

(鐵鑛石を含む)の世界産額を示し英國帝國
ものである—The Iron & Coal Trades

國 別	1931年	1932年
ルゼリア	1,000,896	459,560
義領コンゴ	19,000	—
チブト	—	25
牙領モロッコ(輸出)	492,743	168,478
ユニス	435,000	206,000
馬	223,218	185,248
キシコ	*	*
衆國	31,412,916	9,872,350
ラチル(見積)	30,000	30,000
利	701,000	168,420
那	2,206,800	*
本	*	*
鮮	157,000	*
ルコ	492	*
帝國外の合計	107,000,000	64,000,000
世界合計	118,000,000	75,000,000

意

印不詳

印次の如く含マンガン鐵鑛石を含む

1931年マンガン12%未満 2,533,395屯

12~30% 46,505屯

印此の外に次の如く

鑄鑛用に使用されざる沼鐵鑛其他の産額あり

1931年 10,381屯

1932年 9,533屯

印次の如き含マンガン鐵鑛石の積送高を含む

5~10% 10~35%

1931年 217,352屯 64,062屯

1932年 9,799屯 15,635屯

附表 11 世界鐵鑛石產額 (單位英屯)

次表は1931年及1932年に於ける鐵鑛石(含マンガン鐵鑛石を含む)の世界產額を示し英國帝國學會發表自1930年至1932年統計要覽より轉載せるものである—The Iron & Coal Trades Rev. December 8, 1933.

國 別	1931年	1932年	國 別	1931年	1932年
英 本 國 †	7,625,800	7,328,190	ア ル セ リ ア	1,000,896	459,560
北 ロ ー デ シ ア	759	711	白 耳 義 領 コ ン ゴ ー	19,000	—
南 ロ ー デ シ ア	526	—	エ チ オ プ ト	—	25
南 西 ア フ リ カ	21,863	—	西 班 牙 領 モ ロ ッ コ (輸 出)	492,743	168,478
南 阿 聯 邦	15,203	31,196	チ ュ ニ ス	435,000	206,000
ニ ュ ー フ ァ ウ ン ド ラ ン ド	537,210	317,858	玖 馬	223,218	185,248
印 度	1,624,883	1,760,501	メ キ シ コ	*	*
非 馬 來 聯 邦	691,986	688,176	合 衆 國 †	31,412,916	9,872,350
濠 洲	297,651	543,160	ブ ラ ジ ル (見 積)	30,000	30,000
ニ ュ ー ジ ラ ン ド	6,920	—	智 利	701,000	168,420
以上英帝國合計	10,800,000	10,700,000	支 那	2,206,800	*
澳 地 利	503,859	301,951	日 本	*	*
白 耳 義	123,833	*	朝 鮮	157,000	*
チ エ コ ス ロ バ ー キ ア	1,215,572	*	ト ル コ	492	*
佛 蘭 西	38,171,666	27,322,882	英帝國外の合計	107,000,000	64,000,000
獨 乙 †	2,579,900	1,318,600	世 界 合 計	118,000,000	75,000,000
ギ リ シ ャ	232,289	*			
ハ ン ガ リ ー	82,706	52,029	注 意		
伊 太 利	565,876	420,321	* 印 不 詳		
ル ク セ ン ブ ル グ	4,689,671	3,161,879	† 印 次の如く含マンガン鐵鑛石を含む		
ノ ー ル ウ ェ ー	565,807	368,002	1931年マンガン12%未満	2,533,395 屯	
波 蘭	280,000	75,655	12~30%	46,505 屯	
ル ー マ ニ ア	60,929	88,592	‡ 印 此の外に次の如く		
露 西 亞	10,444,600	*	鑛鑛用に使用されざる沼鐵鑛其他の產額あり		
西 班 牙	3,139,818	1,672,810	1931年	10,381 屯	
瑞 典	6,959,193	3,148,465	1932年	9,533 屯	
瑞 西 (輸出)	33,698	11,675	‖ 印 次の如き含マンガン鐵鑛石の積送高を含む		
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア	131,009	26,215	5~10%	10~35%	
			1931年	217,352 屯	64,062 屯
			1932年	9,799 屯	15,635 屯

世界の石炭産額

次表は 1931 年及 1932 年に於ける世界國別石炭産額（無煙、瀝青炭、褐炭、亞炭）を示し英國帝室學會發表
統計要覽から多少省略して轉載せるものである — Iron & Coal Trades Review, November 24, 1933.

附表 12

（單位 英 屯）

國 別	1931年	1932年	國 別	1931年	1932年	國 別	1931年	1932年
英 本 國：— 無 煙 炭 瀝 青 炭	5,829,175 213,629,776	6,616,972 202,116,168	チエコスロバキア：— 瀝 青 炭 褐 炭	12,895,773 17,648,430 11,187,485	13,034,000 16,792,000 10,273,195	露 西 亞 ユーゴスラビア：— 瀝 青 炭 褐 炭	56,804,500 426,740 3,465,459	64,770,000 3,480,533 1,097,503
愛 蘭 自 由 國：— 無 煙 炭 半 瀝 青 炭	73,393 18,347	* *	ザ ー ル 地 方 佛 蘭 西：— 瀝 青 炭	50,256,326 1,023,591	45,535,513 975,695	ア ル ベ リ ア 白 耳 義 領 コ ン ゴ ー モ ロ ッ コ (佛 領)	25,188 84,359	24,584 17,000
ニ ゲ リ ア 南 ロ ー デ シ ア 南 阿 聯 邦 加 奈 陀：— 瀝 青 炭 亞 瀝 青 炭	327,681 577,983 10,709,114 7,911,929 420,842 2,598,668	252,485 431,183 9,764,425 6,885,816 500,805 3,080,710	獨 逸：— 瀝 青 炭 褐 炭	116,766,357 131,205,263	103,086,309 120,709,596	グ リ ー ン ラ ン ド メ キ シ コ 合 衆 國：— 無 煙 炭 瀝 青 炭 及 亞 炭	5,574 4,600 770,504 53,255,046 341,151,246	14,724 * 642,314 44,500,000 272,917,000
英 領 ボ ル ネ オ：— 北 ボ ル ネ オ 州 サ ラ ワ ー ク 馬 來 聯 邦 印 度：— ゴ ン ド ワ ナ 炭 田 タ ー チ ア リ ー 炭 田	28,926 18,213 402,355 21,331,872 384,563	— * 277,848 20,153,387	ハ ン ガ リ ー：— 瀝 青 炭 褐 炭 亞 炭	764,150 5,650,352 364,451	880,674 5,395,064 442,726	ブ ラ デ ル 智 利 コ ロ ン ビ ア (見 積) ペ ル ー ヴ ェ ネ ジ ュ エ ラ †	400,000 1,090,100 200,000 176,000 3,000	400,000 1,068,100 200,000 * *
濠 洲：— 瀝 青 炭 亞 炭	8,401,260 2,194,453	† 8,153,505 *	伊 太 利：— 無 煙 炭 瀝 青 炭 褐 炭	15,331 216,640 358,730	47,004 204,390 370,107	支 那 § 臺 灣 佛 領 印 度 支 那：— 無 煙 炭 瀝 青 炭 褐 炭	27,245,000 1,334,000 1,647,000 30,000 22,000	* * 1,642,000 23,000 23,000
新 西 蘭：— 瀝 青 炭 褐 炭 亞 炭	979,636 1,069,749 108,371	1,842,022	和 蘭：— 瀝 青 炭 褐 炭	12,697,631 120,269	12,554,978 122,115	日 本：— 半 無 煙 炭 及 瀝 青 炭 褐 炭	27,545,251 115,881	25,669,802 *
以上 英 帝 國 合 計	277,000,000	262,000,000	波 蘭：— 瀝 青 炭 褐 炭	37,660,667 38,800	28,379,163 32,900	樺 太 朝 鮮 蘭 領 東 印 度 比 律 賓 諸 島 ト ル コ：— 瀝 青 炭 亞 炭	627,886 904,000 1,382,223 18,668 1,549,230 7,651	* * 1,033,639 * 1,494,741 13,345
澳 地 利：— 瀝 青 炭 褐 炭	224,541 2,934,978	217,819 3,055,021	ポ リ チ ュ ガ ル：— 無 煙 炭 瀝 青 炭 褐 炭	223,475 * *	187,632 49,753 16,043	英 帝 國 外 の 諸 國 合 計	960,000,000	850,000,000
白 耳 義：— 無 煙 炭 及 半 無 煙 炭 瀝 青 炭	5,865,653 20,749,689	21,075,313	ル ー マ ニ ア：— 瀝 青 炭 亞 炭	282,005 1,606,088	1,625,000	世 界 合 計	1,240,000,000	1,110,000,000
ブ ル ガ リ ア：— 無 煙 炭 瀝 青 炭 亞 炭	6,117 78,161 1,414,217	* * *	西 班 牙：— 無 煙 炭 瀝 青 炭 褐 炭	516,402 6,462,526 336,073	606,571 6,120,702 338,159			
			スビツベルゲン及 ベアアイランド 瑞 典	239,267 337,777	250,000 327,816			

註 * 不 詳
† ヴィクトリアの産額 (1931 年は 571,342 屯) を除く
‡ 政府所有炭山の産額を除く
§ 内約 3,000,000 屯は無煙炭 300,000 屯は亞炭

世界のマンガン及びニッケル産額

次表は自1930年至1932年世界主要國生産國別マンガン及ニッケルの産額を示し英國帝室學會發表自1930年至1932年統計要覽より轉載せるものである—The Iron & Coal Trades Rev. Dec', 1933.

附表 13

(單位 英 屯)

國 別	マ ン ガ ン						國 別	ニ ッ ケ ル		
	1930 年		1931 年		1932 年			1930 年	1931 年	1932 年
	鐵石産額	マンガン含有 見 積 額	鐵石産額	マンガン含有 見 積 額	鐵石産額	マンガン含有 見 積 額		産 額 (金屬量)	産 額 (金屬量)	産 額 (金屬量)
ゴールド・コースト (輸出)	417,490	217,000	247,191	128,000	50,689	26,000	加 奈 陀	46,325	29,315	13,539
北 ロ ー デ シ ア	873	430	1,467	700	—	—	印 度 (精錬作業中副産物として得られ たスパイスのニッケル含有量)	951	804	713
南 阿 聯 邦	144,994	66,700	100,290	47,157	—	—	濠 洲	118	cwt. 1	cwt. 11
加 奈 陀	244	*	104	*	—	—	以上英帝國合計	47,400	30,100	14,300
印 度	829,946	415,000	537,844	269,000	212,604	106,000	ギ リ シ ャ	—	638	*
非 馬 來 聯 邦	20,696	*	8,683	*	9,278	*	ノ ー ル ウ ェ ー	862	523	959
濠 洲	125	*	13	*	106	*	合 衆 國	275	333	174
以上英帝國合計	1,410,000		900,000		270,000		ニ ュ ー 、 カ レ ド ニ ア	4,800	3,800	2,600
澳 地 利	*	25,176	*	11,298	*	6,480	世 界 合 計	53,300	35,400	18,600
チエコスロバキア	83,874	14,845	82,558	14,262	60,778	10,758				
ハンガリー	8,946	3,600	1,114	450	1,473	590				
伊 太 利	10,465	3,659	6,320	2,242	372	120				
ル ー マ ニ ア	32,998	13,800	18,490	7,800	*	*				
露 西 亞	1,543,363	*	*	*	*	*				
西 班 牙	16,553	5,000	17,633	5,400	1,594	500				
瑞 典	8,542	2,911	8,232	2,633	4,655	1,600				
エ ヂ プ ト	119,297	38,200	100,174	32,100	322	203				
佛 領 モ ロ ッ コ	15,907	*	11,320	*	4,000	*				
キ ュ ー バ	977	390	6,491	2,600	2,113	850				
ポ ー ト ・ リ コ (輸出)	2,536	1,250	2,374	1,166	2,302	1,102				
ブ ラ ジ ル	159,478	75,000	142,731	67,000	19,979	9,500				
智 利	6,040	2,847	377	170	441	200				
支 那	70,700	35,000	24,000	12,000	*	*				
蘭 領 東 印 度	16,426	8,500	14,311	7,700	8,156	4,400				
合 衆 國	67,035	30,300	39,242	16,000	17,777	8,000				
合衆國積送高 (10-30%以下の マンガンを含む 鐵石を除く)	77,417		64,062		15,635					

* 印 不 詳

昭和七年中鐵鋼材用途別品目別販賣數量調表

備考 本表壓延鋼材販賣總數量 2,185,363 噸ハ同年中同鋼材需要總數量 1,946,405 噸ニ對シ約 112%ニ相當ス

附表 14 (壓延鋼材)

品目	用途	鐵道	土木建築	造船	機械	石油	鑛山	其他	合計
		(電線ヲ含ム)	鐵骨構造		鐵工業	瓦斯			
軌條及附屬品	45封度以上	125,109	622	589	119	2	713	4,648	131,802
	45封度未滿	1,626	12,479	175	106	98	2,093	2,236	18,813
	繼目板	5,485	2,484	23	14	4	97	410	8,517
	其他	2,415	750	123	6	2	151	796	4,243
	計	134,635	16,335	910	245	106	3,054	8,090	163,375
棒	丸鋼	19,422	291,837	16,551	55,766	3,628	8,128	25,102	420,434
	角鋼	6,511	10,638	3,345	18,954	431	2,398	5,583	47,860
	平鋼	8,294	30,067	7,312	202,344	1,837	5,598	11,066	266,518
	其他	971	2,780	542	72,182	213	916	1,672	79,276
	計	35,198	335,322	27,750	349,246	6,109	17,040	43,423	814,088
形	山形	20,175	110,577	27,283	32,677	343	4,297	10,052	205,604
	溝形	3,699	21,505	7,693	7,844	187	1,526	4,997	47,451
	工形	4,215	33,393	6,992	7,415	263	2,539	3,832	58,649
	Z形	49	479	467	71	—	—	14	1,080
	其他	295	1,267	1,061	2,988	42	74	2,629	8,356
計	28,433	167,221	43,496	50,995	835	8,436	21,724	321,140	
板 <small>(厚サ凡モノ)</small>	番物	2,786	6,269	2,101	15,493	1,817	1,604	125,455	155,525
	電氣鐵板	136	298	131	8,692	1	241	1,061	10,560
	其他ノ鋼板	15,254	83,070	76,667	55,348	11,564	5,594	55,081	302,578
	計	18,176	89,637	78,899	79,533	13,382	7,439	181,597	468,663
ワイヤロッド	890	853	4	78,223	7	2	55,865	135,844	
筒及管	2,424	11,114	7,721	5,779	34,521	2,045	29,510	93,114	
其他	12,488	384	456	97,615	5,271	235	72,690	189,139	
合計	232,244	620,866	159,236	661,636	60,231	38,251	412,899	2,185,363	

(銑鐵及屑鐵鋼)

品目	用途	製鋼	鑄物	伸鐵 (スクラップ ローリング)	其他	合計
銑鐵	鐵	1,567,481	548,912	—	4,734	2,121,127
銑鑄物	屑	67,233	10,808	—	9,445	87,486
鋼	屑	657,713	18,329	15,971	32,174	724,187

割合表

(%)ナリ
(%)ナリ

	山	其	他	合	計
	0.5	3.5		100.0	
	1.8	1.1		100.0	6.0
	1.1	11.9	0.5	100.0	0.9
	5.5	4.8	0.1	100.0	0.4
	0.3	18.8	0.2	100.0	0.2
	3.6	4.9	1.9	100.0	7.5
	1.9	8.0			
	1.9	5.9	6.1	100.0	19.2
	21.2	11.7	1.3	100.0	2.2
	5.0	4.1	2.7	100.0	12.2
	2.1	14.6	0.4	100.0	3.6
	1.2	2.4	5.3	100.0	37.2
	2.1	44.5	10.5		
	2.1	5.0	2.5	100.0	9.4
	11.2	10.6	1.2	100.0	2.2
	3.2	4.0	0.9	100.0	2.7
	4.3	6.5	1.3	100.0	
	6.6	31.5	0.7	100.0	0.4
	0.9	0.2	6.7	100.0	14.7
	2.6	22.0	5.3		
	1.0	80.7	30.4	100.0	7.1
	4.2	10.1	0.3	100.0	0.5
	2.3	0.7	18.2	100.0	13.9
	1.9	14.6	38.7	100.0	21.5
	1.6	19.5	44.0		
		41.1	13.5	100.0	6.2
	2.2	31.7	7.2	100.0	4.3
	5.4				
	0.1	38.4	17.6	100.0	8.6
	0.6				
	1.7	18.9	100.0	100.0	100.0
	100.0				

昭和七年中鐵鋼材用途別品目別販賣數量割合表

各欄内左上方ノ數字ハ品目別合計數量ニ對スル各種用途ノ割合(%)ナリ
備考 右同 右下方ノ數字ハ用途別合計數量ニ對スル各鋼材ノ割合(%)ナリ

附表 15

(壓 延 鋼 材)

品 目		用 途		鐵 道 (電線ヲ含ム)	土木建築 鐵骨構造	造 船	機 械 鐵 工 業	石 瓦 水	油 斯 道	鐵 山	其 他	合 計
		左	右									
軌條及 附屬品	45封度以上	94.9	53.9	0.5	0.1	0.5	0.1			0.5	3.5	100.0
	45封度未滿	8.6	0.7	66.4	0.6	0.9	0.6	0.5	0.2	11.1	1.1	100.0
	繼目板	64.4	2.4	29.2	0.2	0.3	0.2			1.1	4.8	100.0
	其他	56.9	1.0	17.7	0.1	2.9	0.1			3.6	18.8	100.0
	計	82.4	58.0	10.0	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	1.9	4.9	100.0
棒	丸鋼	4.6	8.4	69.4	13.3	4.0	8.4	0.9	6.0	1.9	5.9	100.0
	角鋼	13.6	2.8	22.2	39.6	7.0	2.9	0.9	0.7	5.0	11.7	100.0
	平鋼	3.1	3.6	11.3	75.9	2.7	4.6	0.8	3.2	2.1	4.1	100.0
	其他	1.2	0.4	3.5	91.0	0.7	0.3	0.3	0.4	1.2	2.1	100.0
	計	4.3	15.2	41.2	42.9	3.4	17.4	10.9	0.8	2.1	5.3	100.0
形	山形	9.8	8.7	53.8	15.9	13.3	4.9	0.1	0.6	2.1	5.0	100.0
	溝形	7.7	1.6	45.4	16.5	16.2	1.2	0.4	0.3	3.2	10.6	100.0
	工形	7.2	1.8	56.9	12.7	11.9	4.4	0.5	0.4	4.3	6.5	100.0
	Z形	4.5		44.4	6.6	43.2	0.3				1.3	100.0
	其他	3.5	0.1	15.2	35.7	12.7	0.7	0.5	0.1	0.9	31.5	100.0
計	8.9	12.2	52.1	15.9	13.5	27.3	7.7	0.3	1.4	2.6	100.0	
板 (七寸ル 以上ノ鐵)	番物	1.8	1.2	4.0	10.0	1.3	2.3	1.2	3.0	1.0	80.7	100.0
	電氣鐵板	1.3	0.1	2.8	82.3	1.2	1.3			2.3	10.1	100.0
	其他ノ鋼板	5.0	6.5	27.5	18.3	25.3	48.1	3.8	19.2	1.9	18.2	100.0
	計	3.9	7.8	19.1	17.0	16.8	49.5	2.9	22.2	1.6	38.7	100.0
ワイヤロッド	0.7	0.4	0.6	57.6			11.8				41.1	100.0
筒及管	2.6	1.0	11.9	6.2	8.3	4.9	0.9	37.1	57.3	2.2	31.7	100.0
其他	6.6	5.4	0.2	51.6	0.3	0.3	14.8	2.8	8.8	0.1	38.4	100.0
合計	10.6	100.0	28.4	30.3	7.3	100.0	100.0	2.8	100.0	1.7	18.9	100.0

14.5
380

昭和九年八月十五日印刷
昭和九年八月二十日發行

編輯人兼 發行人 三宅 運 秀

東京市杉並區高圓寺七丁目一〇〇一番地

印刷人 北川 武之 輔

東京市京橋區銀座四丁目四番地

印刷所 株式會社 細川 活版所

東京市京橋區木挽町七丁目五番地拾貳

發行所 日本製鐵株式會社

終

